



「共に生きる豊かな福祉社会」をめざして

# 朝日の社会福祉

2006年度（平成18年度）事業報告



社会福祉法人

朝日新聞厚生文化事業団

## はじめに

---

景気が着実に回復するなか、その背後では、格差社会のひずみが高齢者や障害者、母子家庭、低所得世帯など「社会的弱者」の暮らしを直撃しています。生活保護世帯は、経済的に自立が難しい高齢世帯や母子家庭、中高年失業者らの増加によって、これまで最多の100万世帯を超えました。また、都市と地方の格差は、経済だけでなく教育や福祉の分野にも広がっています。財政破綻した北海道夕張市では、学校や保育所の統廃合、公共施設や病院の縮小が進み、子どもたちやお年寄りの日々の生活に大きな影響がおよんでいます。

一方、高齢者の暮らしを支える介護保険の改定は、医療保険改革と相まって負担増を強いることになり、施設や病院から退所を余儀なくされる高齢者を出現させました。障害者自立支援法で実施された福祉サービス制度は、原則1割の自己負担に耐えられない障害者の利用中止や回数減が相次ぎ、法律施行から1年もたたずに政府が補正予算で負担軽減を図らざるをえない事態も引き起こしました。

こうした中で、朝日新聞社の社会福祉事業の実践組織として活動している朝日新聞厚生文化事業団は、社会的ニーズの高い事業をはじめ、災害など予期せぬ事態への対応などに取り組みました。主催や後援、協力の形で2006年度に実施した事業は、子ども、障害者、高齢者の福祉、福祉啓発の活動など約300に上りました。

当事業団の福祉活動は、1923（大正12）年9月の関東大震災の被災者救援に始まりました。以来、80余年にわたり時代の要請に応える幅広い福祉事業に取り組み、「共に生きる豊かな福祉社会」の実現をめざして参りました。社会福祉を取り巻く環境が大きく変わり、新たな「社会的弱者」が出現する中で、これまで築き上げてきた信頼と実績をもとに、今後も先駆的な事業をはじめ皆様の期待に応える活動に着実な歩みを進めて参ります。

日ごろからの皆様のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げ、2006年度の事業報告をさせていただきます。

朝日新聞厚生文化事業団

## 目次

はじめに .....	1
子どもの福祉 .....	6
シンポジウム「児童虐待防止最前線 2006～希望の光をみつめて～」(東京) .....	6
子育て支援専門職の勉強会「ペアレンティングを支援する会」(大阪) .....	6
2006年度「朝日夏季保育大学」(諏訪) .....	7
高校生のためのワークショップ～健康で活力ある社会をめざして～(大阪) .....	8
講演会「地域の中で子どもたちは 今」(大阪) .....	8
朝日キャンプ .....	8
その他のキャンプ事業 .....	10
「街の学校」(大阪) .....	11
情報交流会「公教育以外の子ども・青年の居場所」(名古屋) .....	11
交通遺児招待事業(東京) .....	12
障害者の福祉 .....	13
「ジョブコーチ・ネットワーク(JC-NET)」 .....	13
自閉症カンファレンスNIPPON～TEACCHモデルに学ぶ実践研究会(東京) .....	14
自閉症を正しく理解すること～自閉症の支援で最も大切なこと～(京都) .....	15
第27回障害者歩くスキーの集い(札幌) .....	16
視力障害の大学生のための「聖明・朝日盲大学生奨学金」 .....	17
第25回肢体不自由児・者の美術展(東京) .....	17
高次脳機能障害関連事業(大阪) .....	17
「わかってほしいこころの病をもって生きるしんどさを」(大阪) .....	18
精神障害者ホームヘルパーフォローアップ研修会(大阪・名古屋) .....	18
全国精神障害者地域生活支援協議会 東海・甲信ブロック研修会(名古屋) .....	19
第44回心身障害問題を考える集い(名古屋) .....	19
愛知県障害児療育談話会(名古屋) .....	19
知的障害者支援者養成講座(名古屋) .....	19
東海北陸車いす・市民交流集会(富山) .....	20
第18回九州車いすツインバスケットボール選手権大会(大村) .....	20
第27回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会(宮崎) .....	20
高齢者の福祉 .....	22

座談会「認知症と明るく生きる」(東京)	22
映画「明日の記憶」上映と認知症セミナー(大阪)	22
朝日福祉ふれあいサロン「親の介護・自分の老後」(大阪)	23
第6回「懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう」(大阪)	23
朝日福祉講演会「高齢者虐待を未然に防ぐために」(松江)	23
朝日高齢者福祉セミナー(名古屋)	24
第1回いきいきアロハ・フラフェスティバル(大阪)	24
<b>福祉教育・福祉啓発推進</b>	<b>25</b>
第2回自殺防止事業「絶望から生へ生きづらさを生きぬく」(福岡)	25
第23回「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」(東京)	25
連続講座「NPOマネジメントセミナー」(東京)	27
第25回名古屋市手話通訳問題研修会(名古屋)	27
第36回朗読録音奉仕者感謝の集い(東京)	27
「心の輪を広げる体験作文」「障害者の日のポスター」(東京)	27
全国グループホームスタッフネットワーク「京都会議」	28
近畿グループホームスタッフ研修会(大阪)	28
西日本グループホームスタッフ研修会(福岡)	28
東海グループホームスタッフ研修会(名古屋)	29
<b>医療と公衆衛生</b>	<b>30</b>
第58回「保健文化賞」	30
小児がん街頭キャンペーン(名古屋)	30
アサヒベビー相談室(大阪・大津)	30
アサヒベビー相談室(名古屋)	31
カトレヤ・マタニティースクール(名古屋)	31
生活習慣病市民公開講座(北九州)	31
<b>チャリティー事業</b>	<b>33</b>
朝日チャリティー美術展	33
第56回「メサイア演奏会」(東京)	34
親子で楽しむクリスマスコンサート(東京)	34
第50回「上野学園慈善演奏会」(東京)	35
第43回宇井あきらとレ・ザマン・ド・ラ・シャンソンコンサート(東京)	35

杵勝会歳末チャリティー演奏会（東京） .....	35
スリーデーマーチ・チャリティーウオーク（武蔵野・東松山） .....	35
朝日新聞チャリティーコンサート（大阪・西宮） .....	36
百貨店協賛チャリティー.....	37
西陣呉美の市（京都） .....	37
第48回「各派合同三曲演奏会」（大阪） .....	37
歳末チャリティーカレンダー展（大阪） .....	37
協賛能（大阪） .....	38
第52回朝日推薦演奏会（大阪） .....	38
第54回「洋舞合同祭」（大阪） .....	39
辻久子クリスマスコンサート（大阪） .....	39
若駒となかま達のコンサート（大阪） .....	40
第53回各流合同茶会（大阪） .....	40
第37回チャリティー朝日大茶会（福岡） .....	40
52回歳末チャリティー朝日茶会（名古屋） .....	41
チャリティー朝日邦楽会（名古屋） .....	42
<b>その他の事業</b> .....	<b>43</b>
朝日社会福祉賞（東京） .....	43
西部朝日福祉助成金（九州・沖縄・山口） .....	43
川島成道福祉施設等訪問プログラム「生命（いのち）の輝き」 .....	44
ジャワ地震救援募金.....	45
ホームページの活用.....	45
朝日福祉ガイドにDVDビデオ登場.....	46
<b>おもな後援・協賛・協力事業一覧表</b> .....	<b>47</b>
<b>チャリティー美術展に出展いただいた皆様</b> .....	<b>58</b>
<b>ご寄付をいただいた皆様</b> .....	<b>67</b>
<b>朝日福祉ガイドブック・DVD・ビデオ案内</b> .....	<b>76</b>
<b>朝日新聞厚生文化事業団のあゆみ</b> .....	<b>79</b>
<b>収支計算報告書</b> .....	<b>81</b>
<b>理事・評議員名簿</b> .....	<b>82</b>
<b>〈お問い合わせ先〉</b> .....	<b>83</b>

## 子どもの福祉

### シンポジウム「児童虐待防止最前線2006～希望の光をみつめて～」（東京）

1月8日、東京・築地の浜離宮朝日ホールで「児童虐待防止最前線～希望の光をみつめて」を開催しました（東京都社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団と共催）＝写真。

第1部では茨城県高萩市長の草間吉夫さんが基調講演を行いました。2歳から18歳までを施設で過ごした草間さんはご自身の生い立ちを基に、児童虐待に携わる関係者、子どもたちへのメッセージを語りました。

第2部では「虐待を受けた子どもたちの自立」をテーマに草間さん、憩いの家の元寮母・三好洋子さん、八王子市こども家庭部子ども家庭支援センター相談員・大神田恵子さんによるシンポジウムを行いました。

虐待を受けた子どもたちにとっての自立とは何か。自立にむけて子どもたちにどのような支援が必要なのかについて、意見の交換がされました。司会は朝日新聞鹿児島総局次長の久保真紀さんで、約200人が参加しました。

児童養護施設で生活をする子どもは現在3万人を超え、そのうち7割は被虐待体験を持つと言われていています。そしてこの子どもたちの高校進学率は、02年段階で82.8%と、全国平均の97.0%と比較して明らかに低い状況にあり、大学進学率はわずか約8%に過ぎません。また、就職をしても長く続かず、家庭にも帰れず行き場を失う子どもがたくさんいるのが現状です。04年に改正された児童虐待防止法では、国および地方自治体の責務として「児童虐待を受けた者の自立の支援のための施策を講じなければならない」（同法第十三条の二）とされましたが、その効果が十分にあがっているとは言えません。そのような中で、このシンポジウムは被虐待児の自立支援の現場の専門家であり、当事者である3人のシンポジストによる「現場の声」を聞く貴重な機会となりました。

草間さんは、自立を「日常的な自立」「経済的な自立」「精神的な自立」と3つに分け、それぞれに合った支援をしていくことが必要であると訴えました。また、被虐待児には信頼できる人との出会いや、多くの失敗をし、それを乗り越える体験が必要との意見が出され、さらに進学のための奨学金制度の充実、子どもの意見表明の機会の拡充、施設と研究機関との連携による課題研究の必要性など多岐にわたる意見が出されました。

### 子育て支援専門職の勉強会「ペアレンティングを支援する会」（大阪）

大阪府の児童虐待防止協会と当事業団主催で、02年度から、保育士や保健師、家庭児童相談員など子育て支援の現場の専門職と大学の研究者など約40人が集う勉強会をしてきました。06年度は、豪州の前向き子育て支援プログラム「トリプルP」の理論と実践にむけての研修会を下記の通り3回実施しました。各回とも15～30人の参加があり、「トリプル





P」の理論から実践について理解を深めました（会場はすべて北区中之島の朝日新聞大阪本社）。

6月25日「ワークショップ：トリプルPについて学ぶ」（松本有貴講師：トリプルPトレーナー）、10月21日「摂津市における親支援プログラムについて」（白山真知子講師：摂津市家庭児童相談室）、07年2月10日「和歌山のトリプルPの実践から学ぶ」（家本めぐみ講師：NPO法人トリプルPジャパンの関西地区担当）。

## 2006年度「朝日夏季保育大学」(諏訪)

53回目をむかえた朝日夏季保育大学を8月4、5日、長野県諏訪市で開催しました（朝日新聞社と共催、長野県、諏訪市、全国社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会、長野朝日放送後援、大同生命厚生事業団協賛）＝写真。

全国の保育士をはじめ幼稚園教諭など、子どもと関わる様々な人を対象に行っている朝日夏季保育大学は、今年度も保育に欠かすことができない絵本の魅力や今まさに深刻さを増している食の問題、そして日々の実践に生かせる実技体験など、盛りだくさんの内容でした。

今年も遠方からもご参加をいただき、佐賀県から地元長野県に至るまで550人が参加しました。

また、7月末の豪雨災害のつめあとの残る中、諏訪市役所の皆さんをはじめ、多くの地域の方のご協力をいただきました。



テーマと講師は次の通りです。(敬称略)

8月4日

「ことばっておもしろい」

工藤 直子（詩人・童話作家）

「元気な心と体は食育の実践から～おいしい記憶の種をまこう」

吉田 隆子（子どもの森理事長・日本大学短期大学部食物栄養学科教授）

8月5日

「見た目依存の時代と子ども～人はキレイでなければならないの？」

石井 政之（ジャーナリスト・ユニークフェイス代表）

「保育園時代に身につけたい生活技術」

谷田貝 公昭（目白大学大学院教授）

「絵本で遊ぼう～幸せのおすそわけ」

藤本 ともひこ（絵本・童話作家）

## 高校生のためのワークショップ～健康で活力ある社会をめざして～（大阪）

高校生たちが自分の健康や将来の自分たちの人生をどのようにデザインするのかを考えるワークショップ（大阪 YMCA、大阪府地域福祉推進財団と共催）を開催。7月26、27日の1泊2日、大阪府泉南市・里山自然学校「紀泉わいわい村」での体験学習と、8月4日、北区中之島の朝日新聞大阪本社で行われた、健康講座の2回シリーズに16人の高校生と8人のシニアが参加しました。茅葺きの木造家で、かまどを使った自炊、五右衛門風呂の入浴など高校生にとってはめずらしいものばかり。慣れない手つきでゴボウをササガキにする高校生にシニアが手を添えて教える場面も。ひたむきに作業に取り組む高校生の姿を見て、それまで抱いていた高校生のイメージを払拭したシニアは「若い人を見直しました」と語りました。また、高校生は行動的で若々しいシニアを見て、自分の高齢者観を変えたようです。

## 講演会「地域の中で子どもたちは 今」（大阪）

地域の中で、子どもたちの安全をどう守ればよいのかを考える講演会を、10月7日、07年2月10日の2回、大阪府中央区の府立青少年会館と市立中央青年センターで開催、各回とも50人が参加しました（大阪府青少年活動財団、大阪少年補導協会と共催）。

第1回は明貝一平・大阪府田尻町地域コーディネーターが同町の取り組みを紹介。子どもの登下校時間に、地域の大人が犬の散歩や庭の水まきなどで外に出る「14000のアイ運動」や、子どもたちが「こども110番の家」を回る「こども110番ウオークラリー」など、地域の中で顔見知りのおじさん、おばさんを一人でも多く作ることが防犯につながると語りました。続いて、斎藤利江子・朝日新聞社会部記者が「取材を通して見た子どもの安全」と題し、広島女児殺害事件などの取材や読者の投書を通じ、子どもの安全をどう守るかということの難しさを述べ、犯罪に至る前の過程での予防の重要性を挙げました。

第2回は子どもの「地域安全マップ」などさまざまな防犯対策についてのアイデアをもつ横矢真里・子どもの危険回避研究所長を講師に迎えました。横矢さんは犯罪の予防策として、子どもの危険回避能力を高めることと、起こりにくい環境づくりが大切と説きながらも、しかし人を信じられなくするような教育はよくないと付け加えました。

## 朝日キャンプ

朝日キャンプは1953（昭和28）年、児童福祉法施行5周年を記念して朝日新聞大阪厚生文化事業団（現大阪事務所）が青少年の共同生活とレクリエーションの総合的なキャンプ施設「アサヒ生駒山キャンプセンター」を開設したのをきっかけに始まり、その後、東京、西部、名古屋の各厚生文化事業団で開催され、06年度は名古屋で主催事業として実施しました。

今年度も障害のある子どもや不登校の子どもなど、さまざまな子どもたちに成長の場を提供しようと、障害のある子とない子が一緒に楽しむ「障害児・健常児合同キャンプ」、高機能自閉症や注意欠陥多動性障害（ADHD）の子どもたちが自信をつける「川のほとりキャンプ」、不登校の子どもが心のエネルギーをたくわえていく「仲間キャンプ」を開催し、小学3年から中学3年まで145人の子どもたちが参加しました。

### ◆川のほとりキャンプ

春休み川のほとりキャンプ（春日井市）



3月30日から2泊3日、愛知県の春日井市少年自然の家で小学4年から中学3年までの高機能自閉症、ADHD、学習障害などの子ども21人が参加しました。

初日は開村式のあと、グループごとにサラダやカレーライスを作りました。夜はキャンプファイアーを行い、初日の緊張をほぐしました。2日目はグループごとに隣の植物園に出かけたり、アスレチックを楽しみました。午後は運動会で綱引きをしたり、宝探しで夕食の鍋に入れる食材を探し、夕食作りをしました。3日目は屋外ステージでスタンプ大会を開き、子どもたちは劇やクイズ、歌などを自由に発表しました。

5月の保護者への報告会では、助言者として参加した小倉正義さんが「子どもたち一人ひとりの個性が輝いているところ、子どもたち同士のつながりができてくること、学生の成長につながる点が良かった」とコメントしました。

#### 夏休み川のほとりキャンプ（中津川市・乙女溪谷）

8月8日から3泊4日、中津川市加子母の乙女溪谷キャンプ場で、小学4年から中学3年までの高機能自閉症、ADHD、学習障害などの子どもたち33人が参加しました。

初日は時間に追われることなくカレーライスを作り、夜はグループごとに過ごしました。2日目は川でペットボトルいかだや水鉄砲など楽しみました。午後はキャンプ場の小川でマスつかみをして、子どもたちは「捕まえたよー！」と大喜びでした。夜のキャンプファイアーは「炎の舞踏会」として、歌ったり、踊ったりして楽しみました。3日目も天候に恵まれ、川で遊んだり、ドラム缶風呂に入ったりしました。

キャンプ後、中3の男子の保護者から「名前をたくさん呼んでいただき、皆さんに受け止め、認められた経験が大きな自信となり、新しいことに取り組む意欲へと力強く導いていってくれます。ありがとうございました」と感想が寄せられました。

#### ◆健常児・障害児合同キャンプ（乙女溪谷）

8月15日から3泊4日、乙女溪谷キャンプ場で障害のある子どもとない子ども40人が参加しました。グループは障害のある子ども2人とない子ども3人と大学生1人で構成しました。

初日は、炊事場やかまどの使い方をゲーム形式で学び、夜はキャンプファイアーを楽しみました。2日目は川へ行き、飛び込みやスイカ割り、流しそうめんなどをしました=写真。うどん作りをしたグループもありました。3日目は雨のため川には行けませんでした。バンガロー内でカードゲームをしたり、絵を描いたりしました。夜はグループごとに歌やクイズなどの出し物を行いました。



このキャンプは人と人のかかわりが多いのが特色です。障害のある子どももいない子どももかかわり合いながら刺激を受け、その体験を通して人との関係を学びます。参加した小学生の女の子のお母さんから「娘は障害のある子どもについていろんな感情をもったようです。もまれあいながら理解が生まれてくるのがこのキャンプの良さですね」と感想をいただきました。

## ◆仲間キャンプ

学校に行っていない子どもや不登校の経験がある子どもたちに、6月から12月まで月1回、気持ちが安らぐ空間を提供し、大学生のキャンプカウンセラーたちが子どもの気持ちに寄り添って支援することがこのキャンプのねらいです。06年度の登録児は36人、行事に1回以上参加した子どもは26人。親の交流会（グループカウンセリング）は2回持ちました。

各行事の日程、場所、参加人数は次の通りです。

- ◇6月25日 遊ぼうパーク 20人 東海市しあわせ村
- ◇7月23日 デイキャンプ 14人 名古屋・白川公園、朝日ホール  
(親の交流会11人)
- ◇8月22～24日 2泊キャンプ 14人 乙女溪谷キャンプ場
- ◇9月24日 デイキャンプ 19人 あいち健康の森  
(親の交流会12人)
- ◇10月28～29日 1泊キャンプ 15人 愛知県美浜少年自然の家
- ◇12月23日 クリスマス会 19人 名古屋市名東生涯学習センター

小学生の男子のお母さんからは「今も学校には行ってないけれど、ホッとできる場があったて助かりました」と評価をいただきました。

全体運営にあたって、加子母森林組合、城山病院など多くの方からご支援をいただきました。仲間キャンプでは愛知学院大学教授の江口昇勇さんに7、8、9月の行事に参加いただき、保護者のグループカウンセリングと、学生への指導をしていただきました。合同キャンプでは岡崎女子短期大学助教授の服部次郎さん、川のほとりキャンプでは、心理療育研究所トマニ教室所長の繁昌成明さんからご指導をいただきました。

アサヒキャンプカウンセラーは総勢34人。愛知県内の大学などで教育、心理、福祉を学ぶ学生が大半で、年間を通じて学習会を重ねています。

このキャンプは、07年度からアサヒキャンプカウンセラーOBや事業団OBを中心に立ち上げたNPO法人「アサヒキャンプ名古屋」が主催し、当事業団は後援をする予定です。

## その他のキャンプ事業

### 東京（武尊牧場キャンプ場ほか）

東京事務所管内の「朝日キャンプ」は、04年度から朝日キャンプリーダーの卒業生で組織される「NPO法人朝日キャンプ」（首都圏の学生ら約40人が在籍）に引き継がれ、当事業団の後援で開催されています。

06年度は群馬県片品村で開催している夏の3キャンプに加え、新たに千葉県・鋸南町の元名ビーチホテルを利用し、2泊3日の臨海キャンプを実施しました。また、11月11日から1泊2日で横浜市・こどもの国で「秋キャンプ」を開催しました。キャンプの詳細は「特定非営利活動法人朝日キャンプ」のホームページ (<http://www.asahicamp.org/>) をご覧ください。

## 大阪（大阪府立少年自然の家ほか）

大阪事務所で51年の歴史をもつ「アサヒキャンプ」事業を03年に終了。その翌年、アサヒキャンプの卒業生と在籍する学生ボランティアが自主組織「アサヒキャンプカウンセラーズ」を設立。06年の夏、在籍する21人のキャンプリーダーたちは「障害児ファミリーキャンプ」（大阪府貝塚市の府立少年自然の家）、小・中学生キャンプ「朽木で過ごす夏休み」「朽木・針畑で過ごす2006」の3つの主催キャンプほか、8月に沖縄・渡嘉敷島で「フレンドシップキャンプ」=写真=など、12のキャンプの運営に参加しました。また、06年9月、NPO法人を取得しました。



## 「街の学校」（大阪）

奈良 NPO センター（仲川順子代表）が、子どもも大人も学びたいことを学べる市民参加の「街の学校」奈良サマーセミナーを8月5、6日、奈良市水門町の旧東大寺学園で開催しました（当事業団後援、助成）。10教室に分かれ、計34講座を提供。5日は、「パントマイムに挑戦」「手作り万華鏡講座」「いろんなロープワーク体験」「東大寺・朝のおつとめ体験」「世界の女性とティータイム」「昆虫博士と絵手紙を描こう」=写真=など。



6日は、「大仏様のつくり方講座」「和太鼓体験ワークショップ」「石ころアート体験」「奈良公園の音集めワークショップ」「英語で国際理解教育」「親子科学実験室」「手作りおもちゃ講座」ほか。入場無料（一部有料）。300人が参加しました。

## 情報交流会「公教育以外の子ども・青年の居場所」（名古屋）

6月4日、東海地方を中心に公教育以外に子どもの居場所としてフリースクールやフリースペースなどを開いている15団体が中区の朝日ホールで活動報告をしました。4月の名古屋市内の入所施設で問題があったことが報道されたことで、関心が高まり、不登校の子どもの居場所を探す親やスクールカウンセラーなど教育関係者、団体関係者ら約120人が参加しました。参加団体は次のとおりでした。

アイチサドベリースクール（豊橋市）、クツナ池の原センター（田原市）、青少年自立援助センター北斗寮（蒲郡市）、ふりーすぺーすゴロねの会（豊田市）、オアシス（日進市）、見晴台学園、名古屋エスクール、赤門学習塾、フリースペース日和、まなび場、アサヒキャンプ（以上、名古屋市）、西濃学園（岐阜県揖斐川町）、寺子屋塾（四日市市）、自立と共生をめざす会もやい（一宮市）、なでしこの会（阿久比町）。

## 交通遺児招待事業（東京）

国立科学博物館（上野）で開催された2つの展覧会に、交通遺児とその家族らのべ600人を朝日新聞社と朝日新聞厚生文化事業団が共同で招待しました。

日本の南極観測50周年を記念して開催された「ふしぎ大陸南極展2006」（朝日新聞社、



国立科学博物館、国立極地研究所主催）＝写真＝と、イギリスの大英博物館で開催され人気を呼んだ特別展「ミイラと古代エジプト展」（国立科学博物館、大英博物館、朝日新聞社、テレビ朝日主催）です。

会期終了後、「恐竜の化石、南極の氷を見て感激しました」など、子どもたちから絵や感動をつづったたくさんのお便りが届きました。



# 障害者の福祉

## 「ジョブコーチ・ネットワーク（JC-NET）」

「障害者自立支援法」の制定に伴い、「障害者の雇用」あるいは「就労支援」に対してますます社会の関心が高まり注目が集まっています。その中で、知的障害や発達障害、高次脳機能障害や精神障害の人たちと企業の双方をサポートする役割を担うジョブコーチと呼ばれる支援者のネットワークを04年度に創設し、スタートした「JC-NET」は、05年度にNPO法人を取得、当事業団は同法人との共催で今年度もさまざまな事業を展開しました。

### 1. JC-NET ウェブページ (<http://www.jc-net.jp/>)

ホーム（ウェブ）ページを利用した会員制の情報交換、交流の場です。会員は約250人です。会費は年6000円。全国各地でジョブコーチあるいは障害者雇用に関係する業務を行っている人たちに活用されています。07年度からは、このウェブページの運営をNPO法人JC-NETに移管します。

### 2. ジョブコーチ・ネットワーク（JC-NET）フォーラム 福岡

ジョブコーチに関する情報提供による質的な向上と、JC-NET普及のために地方で開催する「ジョブコーチ・ネットワークフォーラム」を福岡で開催しました。

と き 6月26日 10:00～16:00

ところ 福岡・大博多ホール

参加者 約400人 参加費 3000円

内 容 講演「地域に根ざした就労支援とジョブコーチの役割」小川浩・大妻女子大学、同「就労移行支援事業はどのように運営すべきか」志賀利一・電機神奈川福祉センター、シンポジウム「企業と障害者をむすぶ就労支援～福岡における就労支援の展開～」仲原善信・福岡市保健福祉局、石村一枝・石村萬盛堂、石井浩明・福岡市障がい者就労支援センター、松本玲子・福岡ジョブサポート（敬称略）

### 3. JC-NET（ジョブコーチ・ネットワーク）会議

全国のジョブコーチが集う国内最大の会議で、ジョブコーチが進む方向性を示す講演、ワークショップ、実践発表など、前年に続いて内容の充実した熱気あふれる2日間の会議となりました＝写真。



と き

3月10日 13:00～17:00

3月11日 9:30～16:00

ところ 上智大学 四谷キャンパス10号館講堂

参加者 約500人 参加費 10000円（JC-NET会員は8000円）

内 容 10日：キーノート・スピーチ「就労支援のいま、ジョブコーチのこれから」小川浩・大妻女子大学、ワークショップ①「就労支援の地域ネットワークをつくる」松本玲子・福岡ジョブサポートほか②「企業の障害者雇用担当と就労支援を語ろう」志賀利一・電機神奈川福祉センターほか③「企業に対するプレゼンテーション～東京スタイル」堀江美里・中野区障害者福祉事業団ほか

11日：実践発表分科会（各分科会4人のスピーカーが発表）①「精神障害分野の就労支援」②「知的障害分野の就労支援」③「分野を超えた就労支援」、シンポジウム「障害者自立支援法の下、就労移行支援事業のあり方を考える」関口彰・高浜市役所福祉部、高井敏子・加古川はぐるま福祉会、志賀利一・電機神奈川福祉センター、小川浩・大妻女子大学。

この他に、日ごろの実践をポスターで紹介するポスターセッションに、全国から20の発表がありました。

#### 4. NPO法人JC-NET

06年3月、東京都からNPO法人の認証を受けたJC-NETは、厚生労働省の「第1号および第2号職場適応援助者養成研修」の認定を受けた1週間に及ぶ「JC-NETジョブコーチ養成研修」を東京と横浜で計2回、地方各地での「ジョブコーチ養成セミナー」や、上にもご紹介したように当事業団との共催、共同の各種事業を積極的に展開しました。

### 自閉症カンファレンスNIPPON～TEACCHモデルに学ぶ実践研究会（東京）

国内最大級の自閉症会議として定着

国内では自閉症の専門会議として最多の参加者を集める「自閉症カンファレンスNIPPON2006」を8月26、27日、西早稲田の早稲田大学で開催しました＝写真（自閉症カンファレンスNIPPON実行委員会と主催、厚生労働省・文部科学省・



日本自閉症協会・テレビ朝日福祉文化事業団・全日本手をつなぐ育成会・日本知的障害者福祉協会後援)。

全国から約1000人の参加者を集め、5回目を迎えた今回も、米国・ノースカロライナ大学TEACCH（ティーチ）部の最高責任者ゲーリー・メジボフ教授が超多忙なスケジュールを調整して駆けつけました。また、今回は自閉症の人たちへの総合的な支援や研究において世界の最先端をいく英国自閉症協会（NAS）ディレクターのリチャード・ミルズさん



にもお越しいただきました。このカンファレンスは、全国の教師・専門家・親など多くの関係者から、自閉症関連の催しとして最も内容のある大きなイベントとして認識されています。

### 自閉症支援の最先端

この「自閉症カンファレンスNIPPON」は、自閉症の人たちの総合的な支援システムとして世界で最も有効性が認められ、各国で導入されているTEACCHプログラムをモデルにした日本国内での実践の数々を報告・交換するための会議です。今回は「自閉症支援の新しいトレンド」をテーマに、TEACCH、NASと世界最先端のプログラムを有する両者の話を聞くことができました。

メジボフ教授の講義は、TEACCHプログラムのコアバリュー（真髄）に今一度たち返り、もっとも基本的な「自閉症の障害理解」のための心構えや姿勢を再確認することから始まり、基本的な事項を押さえることから最先端の支援が生まれるということを示す内容でした。「自閉症の人たちを正しく理解すること」という精神を改めて学ぶことができました。

ミルズさんがディレクターを務めるNASは、1962年に自閉症の子どもを持つ親のグループが設立したのが起源となり、現在では診断、教育、保護などのサービス提供施設に加えて、早期療育、議会対策、PR活動、交流活動、援助付き雇用支援、医学的・心理学的臨床サービス、出版、研究活動、親への支援と、さまざまな支援の推進役となっています。NASはこのように自閉症に関する世界最大規模の組織であるだけでなく、TEACCHプログラムの精神と同じく「自閉症の人たちを正しく理解すること」を大前提に、多くの、そして細やかな支援がなされており、その細部に渡る興味深いお話をうかがうことができました。

### 今後も社会的役割の一端を

国の制度として「発達障害者支援センター」が全国に整備され始め、05年4月からは「発達障害者支援法」、また06年4月からは「障害者自立支援法」の施行と、わが国では自閉症の人たちへの支援にもかかわる法律が次々と登場しています。その中であって、この「自閉症カンファレンスNIPPON」の果たす役割を今一度見つめ直し、自閉症の人たちを取り巻く状況が少しでも改善されるよう取り組む必要があります。

4月中旬の朝日新聞とダイレクトメールなどを通じて募集を始めるこのカンファレンスには、毎年多くの参加申し込みがあり、その責任の重さを実感しています。川崎医療福祉大学教授の佐々木正美さんを中心に集まる実行委員会が企画・準備を進め、運営をするこのカンファレンスが「自閉症を正しく理解する」支援者の輪をさらに広げ、社会の移り変わりの中で責任を果たせるよう、これからも向上を目指します。

開催中の2日間は、今回も趣旨に賛同した延べ100人を超える数多くの若いボランティアスタッフによって滞りのない運営が実現されました。彼ら、彼女らもまた、次世代を担えるように大きく育ってくれることも、このカンファレンスの大きな目的のひとつです。

## 自閉症を正しく理解すること～自閉症の支援で最も大切なこと～（京都）

### 日本自閉症協会との共催でゲーリー・メジボフ教授講演会で650人が参加

8月26、27日に開催した「自閉症カンファレンス NIPPON 2006」のために来日した米国ノースカロライナ大学TEACCH部部長ゲーリー・メジボフ教授の講演会を8月29日、昨年度までの熊本、長野に引き続いて京都で開催しました（日本自閉症協会と共催、厚生労働省・文部科学省・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会

後援、日本自閉症協会京都府支部協力)。

### 平日に650人の参加者

04年度に熊本、翌年度は長野で、それぞれ500人を集めて開催した同講演会。06年度は自閉症協会京都府支部からの要請によって、京都市で開催することになりました。平日にもかかわらず650人にのぼる参加があり、メジボフ教授の講義に熱心に耳を傾けました。

### 自閉症の人たちへの支援の基本

講演テーマは「自閉症を正しく理解すること」と「自閉症の支援で最も大切なこと」。発生の原因もいまだ特定できず理解の難しい自閉症。教育現場、専門家や親にさえいまだ誤解されていることが多く、そのことがご本人たちの生活するうえでの困難をさらに増やし、複雑にしています。「自閉症は脳の障害 (damage) ではなくて脳の働き方の違い (difference) なのです」と説明するメジボフ教授は「その違いを正しく理解することが大切」と訴えます。今回の講演会はもっとも重要な自閉症の正しい理解と、それをもとにした自閉症の人たちへの支援の具体的な方法の基本の解説でした。

### 地方からの発信

京都は、親の会である日本自閉症協会京都府支部と地元の専門家がよい協力関係にあり、親と専門家の協働のモデルとも言える地域です。京都市では、域内の自閉症支援のためにTEACCHプログラムを参考にすることを正式に掲げ、導入しています。この講演会は京都が行政をも含めた自閉症支援の、いわば全国モデルとしての新たな歩みを始めた記念すべきものと言えます。首都圏ではなく地方から発信するこうした活動が、やがて全国へと波及する日がくるよう、ひとつずつ積み重ねていくことが必要であると再確認しました。

と き 8月29日 10:00~16:00

ところ 京都・シルクホール (京都産業会館8F)

参加者 約650人 参加費 3000円

講 師 ゲーリー・メジボフ (ノースカロライナ大学TEACCH部部长)

内 容 講演『自閉症の人たちを正しく理解すること~TEACCHプログラムの真髄』

講演『構造化された指導』

講演『自閉症の支援で最も大切なこと』

## 第27回障害者歩くスキーの集い (札幌)



07年1月14日、障害のあるなしに関係なくスキーを楽しむ「第27回障害者歩くスキーの集い」を朝日新聞北海道支社と共催で開催しました。会場となった札幌滝野すずらん丘陵公園には、伴送者を含め、総勢196人が集い、1キロ、3キロ、5キロ、7キロの各コースにわかれて、自分にあったペースで歩くスキーを楽しみました=写真。

当日、トリノパラリンピックのバイアスロンで金メダルを獲得し、06年度朝日スポーツ賞を受賞した井口 (旧姓小林) 深雪選手からメッセージが届き会場を沸かせました。また、

大会を支えるボランティアも年々増えており、今後の大会の発展的運営が期待されています。

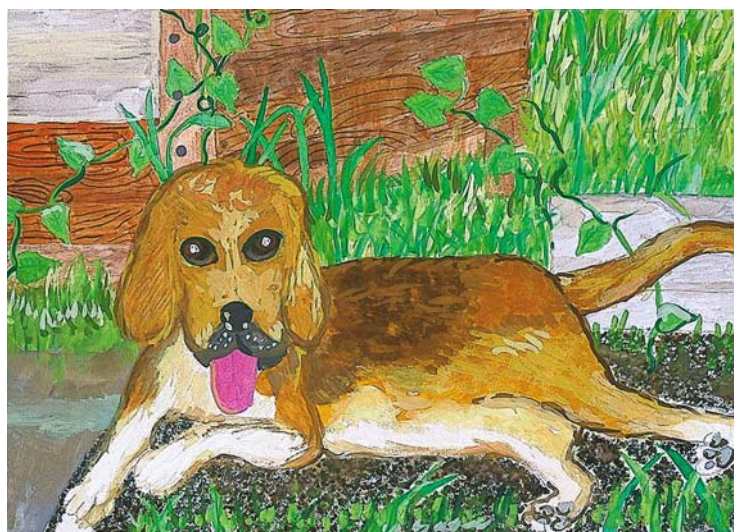
## 視力障害の大学生のための「聖明・朝日盲大学生奨学金」

視力に障害がありながら音楽や福祉などさまざまな分野で学問を究めたいと大学へ進学する学生のため、1969年に聖明福祉協会と朝日新聞厚生文化事業団の協力により発足した奨学金制度です。

書類審査を通過した新奨学生、恵泉女学園大学の石浦智美さんには、7月1日、東京のホテルグランドヒル市ヶ谷で行われた貸与式で目録が渡されました。奨学生には月額3万円の奨学金が支給されます。これまでに179人の方々がこの制度を利用しています。

## 第25回肢体不自由児・者の美術展（東京）

全国の肢体不自由児・者から絵画や書、コンピューターアートなどを公募し、入賞作品を展示する「第25回肢体不自由児・者の美術展」が、12月7～10日まで、豊島区の東京芸術劇場展示ギャラリーで開催されました。日本肢体不自由児協会主催、厚生労働省、文部科学省などと後援。



今年度は、全国から873点の応募があり、その中から入賞作品120点（特賞、優秀賞、佳作、努力賞）が選ばれました。主な入賞者は次の通りです。

厚生労働大臣賞  
＝鬼頭泰子さん  
（長野県松本市）、  
石川路子さん（東京  
都・障害者生き  
がいの場）、文部



科学大臣奨励賞＝新穂美幸さん（鹿児島県立出水養護学校小学部6年）、荒木数馬さん（青森県立青森第一高等養護学校3年）、朝日新聞厚生文化事業団賞＝尻無濱望さん（鹿児島県立出水養護学校高等部3年）＝写真上、中村ひとみさん（岩手県立盲学校小学部5年）＝写真下

## 高次脳機能障害関連事業（大阪）

事故や病気により後天的に脳損傷を受け、記憶障害や注意障害、社会的行動障害を生じ、日常生活や社会生活が困難になる高次脳機能障害については01年、国はそのケアに着手。04年4月に診断基準を発表、その後支援モデル事業が始まり、06年の障害者自立支援法施行では高次脳機能障害は精神障害に分類されることになりました。しかし福祉や医療の現場では、障害に対する理解が十分ではなく受け入れ体制も立ち遅れている状態です。

そのようななか当事業団は、頭部外傷や病気による後遺症をもつ「若者と家族の会」（大久保光人代表）の「オーストラリア交流の旅」を後援、同旅行の報告会（共催、大阪難病研究財団助成）、堺脳損傷協会（納谷敦夫代表）主催の「高次脳機能障害のリハビリと就労支援」、「高次脳機能障害者の就労一日英の比較」を後援するなど、高次脳機能障害者の地域生活支援の普及啓発に取り組んでいます。また当事業団職員が、国内でも先駆的な取り組みをしている名古屋市総合リハビリテーションセンターを訪ね、医療から訓練指導、社会復帰までの総合的な一貫したサービスの充実ぶりを視察しました。

#### 脳損傷オーストラリア交流の旅

「脳損傷者の地域リハビリが進んだオーストラリアを見てみたい」との思いから、頭部外傷や病気による後遺症をもつ「若者と家族の会」が企画、障害者とその家族ら22人が、6月5日から11日までの5泊7日、オーストラリアのブリスベン、ゴールドコースト、シドニーの各市を訪れました。全豪の脳損傷協会会長とクインズランド州の会長を兼任するジョン・ディキンソンさんが一行を出迎え、同州の取り組みについて1時間のスピーチをしました。早くから脳損傷の地域リハビリに取り組んできた同州では、医療と行政、当事者、関連機関が組織化され、脳損傷者の生活・社会支援に大きな成果をあげています。「障害者になると元には戻れないが、第2の人生の扉を開くことができる」という同氏の言葉が印象的でした。その後、希望者でゴールドコーストの脳損傷デイケアセンターと軽度から重度まで3つのグループホームを見学しました。一行はコアラの保護区でコアラに触れるなど初秋でまだ暖かいオーストラリアを満喫しました。

#### 「わかってほしいこころの病をもって生きるしんどさを」（大阪）

07年2月4日、大阪市北区中之島の中央公会堂で新機軸の取り組み「わかってほしい 心の病をもって生きるしんどさを」を開催しました（精神障害と社会を考える啓発事業実行委員会と共催、大同生命厚生事業団、大阪府、大阪市ほか後援）。

精神の病は誰もがかかる可能性のある病気ですが、理解はまだ進んでいません。一般の方に病院や施設ではなく街で普通に生活する精神障害者の姿を知ってもらおうと生活を寸劇で表現したり、当事者の一人語りのビデオ映像を流したりしました。また支援者や当事者のトークのほか、絵や詩の展示、ピアノ演奏のミニコンサートなども取り入れました。

会場では大阪市精神障害者支援職員連絡協議会によるコーヒー、ジュースの販売、授産製品の販売、幻聴・幻覚体験（バーチャルハルシネーション）もありました。参加者は252人ありました。

#### 精神障害者ホームヘルパーフォローアップ研修会（大阪・名古屋）

02年度に制度化された「精神障害者ホームヘルプ事業」にあわせて、当事業団では5年間にわたり、精神障害者のホームヘルパーを養成するための研修会を開催してきましたが、06年度は実際に精神障害者を支援しているヘルパーを対象にフォローアップ研修会として、8月19日に名古屋・朝日ホール、翌20日に大阪市心の健康センター研修室で実施しました。名古屋は18人、大阪は65人のヘルパーが参加し、「障害者自立支援法とホームヘルパーサービス」「精神障害者ホームヘルプサービスの現状」をテーマに講演をはじめ、分科会、シンポジウムの研修を行い、修了者には修了証書を発行しました。

4月からスタートした障害者自立支援法によって、精神障害者の地域生活は今まで以上に困



難な状況になろうとしている中、利用者の心に添う援助、利用者のかけがえのない生活をどのように作り上げるか、パネリストと共に課題、疑問、悩みを取り上げ討論されました。

#### **全国精神障害者地域生活支援協議会 東海・甲信ブロック研修会（名古屋）**

障害者自立支援法が施行されたのに合わせて「私たちの地元はどうなるの！？国・自治体とどう取り組むか」（全国精神障害者地域生活支援協議会主催、当事業団後援）が10月28日、中区の朝日ホールで開かれ、80人の参加がありました。障害者自立支援法の福祉サービスについて基本的な理解をもとにサービスの展望と問題点を明らかにし、地域の住民とともに地域生活支援を充実するよう議論を深めました。

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課の小西香奈江さんより「精神保健福祉施策の課題と現状」の行政報告があり、▽地域で精神障害者を支えるための社会資源、支援体制が不十分▽障害種別ごとに大きな福祉サービスの格差▽公費財源の配分は精神障害者分野で医療の偏り▽理解不足と根強い偏見などの課題が指摘されました。その後パネルディスカッションで「地元での行政報告」、シンポジウム「私たちの暮らしはどうなるの？」があり、現場の現状とこれからの活動などの討論をしました。

#### **第44回心身障害問題を考える集い（名古屋）**

第44回「心身障害問題を考える集い」（あさみどりの会と共催）が6月17日、中区の朝日ホールで開かれ、約120人が参加しました。日本社会事業大学学長の大橋謙策さんが「福祉制度改革と地域福祉」のテーマで話しました。その後、あさみどりの会理事長の島崎春樹さんと大橋謙策さんの対談で、障害者自立支援法は障害者の生活に何をもたらすのかを具体的に話し合いました。

#### **愛知県障害児療育談話会（名古屋）**

第88回愛知県障害児療育談話会が2月24日、中区の朝日ホールで開かれ約100人が参加しました。（愛知県障害児療育談話会協議会主催、当事業団後援）

愛知県内の障害児の医療、教育、福祉などに関わる各種の施設（肢体不自由児施設、医療機関、養護学校、通園施設、保健所、保育園など）の職員が集まり、研修および意見交換を交わし、職員の能力や質の向上を図りました。青い鳥学園精神科の水野智之さんから「児童精神科の現状と課題」、青い鳥学園長の吉橋裕治さんから「これまでの肢体不自由児施設と医療型支援施設としての今後のあり方」の講演がありました。

#### **知的障害者支援者養成講座（名古屋）**

「ふつうに暮らせるための自立支援を考える」をテーマに、知的障害とふれあい支援する「知的障害者支援者養成講座」（名古屋手をつなぐ育成会主催、当事業団後援）が3月18日、24日の2日間、熱田区の名古屋手をつなぐ育成会福祉会館で開かれ、ボランティアに関心のある学生、中高年者ら57人が参加しました。

「知的ハンディのある人への理解と権利擁護」と「知的障害者福祉にかける」の講演で障害者と支援者との相互関係の大切さや、自立支援の推進と権利擁護の確立などを訴えました。また障害者と保護者の体験談や小グループに分かれての施設体験も行われました。

## 東海北陸車いす・市民交流集会（富山）

「地域へ行こう」をテーマに「第17回東海北陸車いす・市民交流集会」（自立生活支援センター富山主催、当事業団後援）が10月14、15日、富山県総合福祉会館（サンシップとやま）で開かれ、2日間で約200人が参加しました。車いすを使用する障害者と一般市民が互いに理解を深め、障害者が自立して地域で暮らすためにどうしたらよいかを話し合いました。

1日目は大阪・自立生活夢宙センター代表の平下耕三さんの「地域生活を楽しむ」の講演をはじめ、シンポジウムでは「地域へ行こう」のテーマで施設を出て生活している代表者や施設から出て生活することを望んでいる代表者などの討論があり、その後オリエンテーションや交流会などをしました。

2日目は「地方の交通バリアフリーのあり方」「就労」「自立支援法と生活」の三つの分科会を開催。「地方交通」では駅やバスを利用する時の不便さをどう伝えるかなどの意見交換が行われました。また富山市都市整備部長を招き、低床車両の採用などの配慮を聞きました。「就労」では仕事するまでの行動を含めた話題、「自立支援法と生活」では「就労機会を整備するところまで行ってない。個人では限界があり全体としての働きが必要」などの発言がありました。

## 第18回九州車いすツインバスケットボール選手権大会（大村）

九州、沖縄から12チームが参加して第18回九州車いすツインバスケットボール選手権大会（九州車椅子バスケットボール連盟と共催）が、6月17、18日、大村市の市体育文化センターで開かれました＝写真。



ツインバスケットボールは日本で考案された競技で、上半身に障害のある人も参加できるのが特徴です。選手は障害の程度によってシュートの方法が違うことで存在感を発揮でき、達成感を感じることができます。大会では低いゴール近くでひじを使ってシュートを防御する選手に、コートそばの仲間たちは大きな声援と拍手を送っていました。

決勝戦は常勝「太陽の家ブレイカーズ」（大分）と遠来の「沖縄フェニックス」。「沖縄フェニックス」は最後まで

追撃の手をゆるめず迫りましたが、51対49の大接戦の末「太陽の家ブレイカーズ」が逃げ切り、5年連続12回目の優勝を果たしました。

## 第27回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会（宮崎）

第27回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会（九州車椅子バスケットボール連盟と共催）が12月2、3日、宮崎市の市総合体育館をメイン会場に開かれました＝次ページ写真。





大会には九州・沖縄の各県から16チームが参加し、白熱した試合をくり広げました。準決勝の「太陽の家スパーズ」(05年優勝)と「福岡Limitz」(04年優勝)は51-48の大接戦で、激しいぶつかり合い、華麗なシュートや正確なパスには歓声や拍手が巻き起こりました。

九州車椅子バスケット連盟では全国に先がけ障害のない人の登録を受け付け、近年では小学校の授業に取り入れられたり大学でサークルが結成されたりしており、車いすバスケットボールの裾野の広がりが感じられます。

昨年と同じ顔合わせとなった決勝戦では、雪辱を期した「沖縄シーサー」(沖縄)でしたが、41-58で「太陽の家スパーズ」(大分)の厚い壁にはばまれ優勝を逃しました。両チームは07年5月、東京で開催された内閣総理大臣杯争奪第36回日本車いすバスケットボール選手権大会に九州代表として出場しました。

# 高齢者の福祉

## 座談会「認知症と明るく生きる」(東京)

認知症は誰もがかかりうる病気ですが、その原因や治療方法、ケアの方法が確立していないこともあり、正しい理解が進んでいない状況にあります。また、認知症の高齢者は、病気であることが理解されないために、その行動が誤解を生み、高齢者虐待の被害者になるケースも後をたちません。

長崎県在住の太田正博さんは、50代前半で認知症を発症しましたが、告知を受け、医療と福祉サービスの両面から支えられ、「認知症を語る会」をつくり、当事者の立場から認知症を広く知って欲しいと九州を中心に実名で講演活動を行っています。05年秋、朝日新聞生活面に太田さんの活動を紹介する記事が掲載されたところ、読者から大きな反響を呼びました。



そこで、4月23日、中央区の浜離宮朝日ホールで、「認知症と明るく生きる」と題したセミナーを開催しました(テレビ朝日福祉文化事業団と共催)＝写真。認知症の本人、家族、医療・福祉関係者ら約250人が参加しました。太田さんと支える医師菅崎弘之さん、作業療法士の上村真紀さん、そして朝日新聞生活グループで先の記事を執筆した生井久美子さんをコーディネーター役に、認知症の人を支えていくには何が必要かについて、それぞれの立場から座談会形式で語り合いました。「できないことを数えるより、できることを生かしてどう支えてもらえるかが大事」と語る太田さんの姿に、認知症に苦しむ本人、家族は大いに励まされ、医療・福祉関係者の皆さんからは、「これからの支援を考えるヒントをたくさんもらいました」などの感想が寄せられました。

## 映画「明日の記憶」上映と認知症セミナー(大阪)

現在170万人と見込まれる認知症高齢者は、2030年には350万人に達すると推計されています。そうした認知症に対する理解を深め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを考える企画で、若年性認知症をテーマにした「明日の記憶」(渡辺謙主演)上映などを4月24日、北区の市中央公会堂で開催しました(大阪府地域福祉推進財団＝ファイナンス財団との共催)。抽選で選ばれた500組約1000人が参加し、第2部の対談「認知症の理解」では、若年認知症家族会関東部会「彩星(ほし)の会」などの患者家族らが、認知症の知識や認知症の妻をかかえた自身の看護体験などを紹介し、「本人が病気に気づき、だれよりも苦しく悲しい」状況に追い込まれていることや、誤解も生んでいる「何もかも分らなくなる」わけではないことなどが指摘されました。

## 朝日福祉ふれあいサロン「親の介護・自分の老後」(大阪)

年老いた親や伴侶の介護、自らの老後の問題を考える6回シリーズの講座です=写真。

94年に開催して以来13年目を迎えました。定員90人に対し、108人の申し込みがありました。参加費6000円(6回分)で、テーマ、講師は次の通り。



4月 2日 賢い患者になりましょう。「あなたがいのちの主人公」

辻本 好子・NPOささえあい医療人権センターCOML(コムル)理事長

5月14日 「南の島のスローライフ」

松村 賢治・大阪南太平洋協会理事長

6月 4日 健康で楽しいシニアライフー「熟年よ大志を抱け」

中島 克和・NPO大阪シニア創造学院学院長

7月 2日 「食と美肌」=写真。

石井 正光・大阪市立大学医学部皮膚科教授

8月 6日 「老いにかかわる 人にかかわる」

中村 大蔵・特別養護老人ホーム「園田苑」施設長

9月 3日 「年齢は関係ないよ、いきいきと生きるには」

福田 弘子・富田林市福祉公社・基幹型在宅介護支援センター・ケアマネジャー

## 第6回「懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう」(大阪)

♪僕らはみんな生きている～ 生きているから歌うんだ～♪ 子ども時代を思い出させてくれる童謡・唱歌。10月2日、会場の大阪ガスビル3階ホールで集いを開催しました(大阪ガスいきいき市民推進室、高齢者外出介助の会、当事業団共催)=写真。300人を超える中高年の方々が参加され、日本童謡・唱歌響会会長の麻生夏代さんの歌唱指導で「手のひらに太陽を」「赤とんぼ」「小さい秋みつた」などの唱歌を全員で合唱しました。



らに太陽を」「赤とんぼ」「小さい秋みつた」などの唱歌を全員で合唱しました。

1部は「さあ！みんなで歌いましょう」、2部には若手マリンバ演奏家による「イキイキコンサート」もありました。

## 朝日福祉講演会「高齢者虐待を未然に防ぐために」(松江)

9月23日、松江市の市総合福祉センターで「高齢者虐待を考える」と題して開催(島根県社会福祉協議会、大同生命厚生事業団後援)。松江市内や米子市、鳥取市、大田市などから



市民や福祉関係者ら約70人の参加がありました。

講師の津村智恵子・甲南女子大学教授は配偶者、息子・娘が介護をめぐり殺人事件の加害者となるなどの事例を紹介。また、高齢者単独世帯の増加に伴い、「もっと近所で助け合える状況をつくるべきだ」と訴えました＝写真。

また福田弘子・東京都渋谷区高齢者ケアセンター相談員は「福祉関係者が虐待の危険性を認識していながら防ぎきれていない例が約1割ある」と自らの経験から指摘。家族や地域、行政などで「多くの方が協力してくれる環境づくりが大事」と訴えました。



### 朝日高齢者福祉セミナー（名古屋）

誰もが暮らしやすい社会をめざし、毎年開催されている「朝日高齢者福祉セミナー」（愛知高齢者福祉研究会と共催）が6月11日、中区の朝日ホールで開かれ、学生、高齢者、福祉関係者ら約200人が聴講しました。今年のテーマは「21世紀の高齢者福祉を考える～高齢者の主体性と自立」。基調講演では日本福祉大学社会福祉学部の石川満教授が「介護保険と地域包括支援センターについて」と題し、全国の地域包括支援センターの設置状況の紹介や、現在の地域包括支援センターが予防給付に忙殺されている現状について話しました。

シンポジウム「高齢者の主体性が生かされる介護とは」では、介護現場の最前線で働くケアマネージャー、ホームヘルパーをパネリストに迎え、介護保険法の改正、被保険者の年齢引き上げ、高齢者と障害者の介護の一元化が08年度までの課題となり、見直しが検討されている中での具体的な介護と支援を紹介しました。

### 第1回いきいきアロハ・フラフェスティバル（大阪）



中・高年がいきいきと安価で気軽にフラダンスが披露できる場として、当事業団は、関西に拠点を置く21団体による実行委員会と共同で、7月30日、北区の市立いきいきエイジングセンターで発表会を開催しました（いきいきアロハ・フラフェスティバル実行委員会と共催、大阪市老人クラブ連合会後援）＝写真。18チームが1部と2部に分かれて出演。ほとんどが女性のなか、半年前に入り、月1回の稽古で挑戦するという男性も数人いて、会場からも温かい拍手を受けていました。最後は会場に集まった約300人が立ち上がって手をつないで歌うなど、終始なごやかに会は進められました。

# 福祉教育・福祉啓発推進

## 第2回自殺防止事業「絶望から生へー生きづらさを生きぬく」(福岡)

05年の自殺者は前年より227人増えて8年連続で3万人を超えました。若年層や働き盛り世代では死因別で病気や事故を上回っています。06年6月には「自殺対策基本法」が制定されました。事業主には心の健康を保つための措置をとることを求め、各機関や団体が密接に連携することの必要性を謳っています。もはや、自殺は本人の“個人的な問題”ではなく、社会全体で解決していくべき課題と認識されています。自殺の原因はいろいろと分析されていますが、リストラや倒産など不況を背景にした閉塞感や、高齢化社会への不安ととまどい、不気味な若者のネット自殺など、時代の息苦しさが指摘されています。

昨年に引き続き、9月3日福岡市の都久志会館でシンポジウムを開催し、約300人が参加しました(福岡いのちの電話、朝日新聞社と共催、厚生労働省・九州朝日放送・福岡県など後援、大同生命厚生事業団ほか協賛)。

第1部ではジャーナリストの江川紹子さんが「生きるということ」と題した講演を行いました。坂本弁護士事件を通してオウム真理教団との関わりと、教祖の四女の後見人を引き受ける経緯を紹介、新聞配達をしながら大学に行きたいとの願いを実現できる様にしたいと語りました。また「最近の調査では、小・中学校生の何割かは”死んだ人は生き返る””と”思っているおり、死に対する概念がない。この様な状況をどう捉えたらいいのか」など問題提起しました。

第2部では林幹男(福岡いのちの電話理事長)さんをコーディネーターに、渡辺正幸(ピリープ主宰・元タレント)さんと井上久美子(リメンバー福岡自死遺族の集い代表)さんをパネリストに迎えてのパネルディスカッションを行いました＝**写真**。つらい話でも明るく話したいと渡辺さんは言い、自殺未遂者の悲惨さと「うつ」の苦しみ、それを克服して生きる喜びを見いだした話に思わず涙した人もいました。井上さんは、遺された人たちのつらさや遺族をどう支えていくのかを支援者の立場から静かに語りかけました。意見交換のあと林さんが①他者との関係性の中で生きているという実感をどのように持てるか②自分の問題としてお互いがうまく理解しあえる社会が必要で、想像力が大切であること③頭で考えるだけではなく、われわれが日常生活の中で実行していく勇気がいると総括しました。



## 第23回「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」(東京)

手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進をはかるため1984年から開催している「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」は23回目を迎えました。

8月26日に千代田区の有楽町朝日ホールで行われた本選では、原稿審査とビデオ審査で選ばれた10人が手話と音声と同時に使ったスピーチで競いました(全日本ろうあ連盟、朝日新聞社と共催。厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、日本手話通訳士協



会後援。NEC協賛。東京都聴覚障害者連盟協力)。今回からステージのスクリーンに手話の様子を投影し、細かい表情まで見られるようにしました=写真。また、毎年、手話で高校生を励まされている秋篠宮妃殿下は、ご懐妊のためご臨席されませんでした。



全国の手話を学ぶ高校生101人の応募者の中で頂点に立ったのは、兵庫県・武庫川女子大学附属高校3年の鷺尾美佳さん。鷺尾さんはスピーチの中で「聴

覚障害の父親がいる家庭で育つ中で、相手の目を見つめ、心から語り合えば気持ちは通じ合うことを学んだ」と語り、見事に優勝をしました。2位は香川県立高松南高校3年の山下尊子さん。「両親がろうあ者と知ると可哀想と言われることが多い。ろうあ者を主人公にしたテレビドラマは表面的な取り上げ方でろうあ者が理解されていない」と発表しました。

また、高校の人権問題研究部に所属し、手話勉強会や聴覚に障害のある高校生との交流の中で多くのことを学び「将来は手話通訳士を目指す」という広島県立廿日市西高校3年の竹本加奈さんが3位に入賞しました。



菱山南帆子さん（東京都・和光高校2年）と岩野光さん（大分県・楊志館高校3年）には奨励賞が贈られました。

以上の入賞者には主催者から賞状とトロフィー、協賛のNECからノートパソコンやファクシミリなどの賞品、また参加者全員に参加賞として今回のコンテストの録画テープと記念品が贈られました。

今年の特別プログラムはアメリカ手話講師のティッサ・ペイリスさん。聴覚障害者のための総合大学でアメリカ手話、文化研究について外国人留学生を指導し、現在は日本でアメリカ手話を教えているティッサさんに外国の手話や文化などについて講演していただきました。

審査員は小椋英子（日本手話通訳士協会会長）、青木建（厚生労働省障害保健福祉部地域生



活支援室情報支援専門官)、倉方厚子(東京都聴覚障害者連盟理事長)、久松三二(全日本ろうあ連盟本部事務所長)、坂上讓二(全日本ろうあ連盟理事)、河谷史夫(朝日新聞論説委員)のみなさん。

### 連続講座「NPO マネジメントセミナー」(東京)

3月14日と24日、中央区の朝日新聞東京本社研修室で、「朝日福祉NPOマネジメントセミナー」を開催しました=写真。2日間のべ25人が参加しました。



1回目は、東京ボランティア市民活動センターの熊谷紀良さんが飛躍するNPOの人的資源管理論をテーマに講演しました。後半は、いくつかの相談事例をもとにつくりあげたケースをもとに各グループに分かれて問題解決法を話し合いました。

2回目は、仲間とともにNPOを設立し、現役のケアマネージャーでもある服部メディカル研究所所長の服部万里子さんが講師をつとめ、介護保険法改正などの外的な環境に負けない経営をしていくために、どう事業戦略を考えていけばよいのかについて講義しました。

### 第25回名古屋市手話通訳問題研修会(名古屋)

よりよい手話通訳制度を目指して「第25回名古屋市手話通訳問題研修会」が、7月1日、中区の朝日ホールで開かれました(名古屋市聴覚障害者協議会主催、当事業団後援)。

今回は「名古屋市手話通訳制度を知ろう」をテーマに名古屋市障害福祉部の西智之さんが講演しました。聴覚障害者と手話を学ぶボランティア約100人の参加者も3グループに分かれ、今の制度をもっと使いやすくするための方法を話し合いました。分りやすいリーフレットや申込書の作成をはじめ緊急時の対応、休日の利用などさまざまな要望や意見が出され、独り暮らしや高齢者も一人でも多くの方が手話通訳制度を利用できるよう情報提供を徹底させようと訴えました。

### 第36回朗読録音奉仕者感謝の集い(東京)

視力障害者のための録音図書づくりに貢献した各地のボランティアを表彰する「第36回朗読録音奉仕者感謝の集い」(日本盲人福祉委員会、鉄道弘済会主催、厚生労働省、文部科学省などと後援)が9月28日、千代田区の弘済会館で行われ、表彰式がありました。今年受賞された方々は次の通りです(敬称略)。

▽厚生労働大臣賞 工藤久美子(北海道)

▽朗読 大塚綾子(北海道)、星野耀子(宮城)、川上洋子(栃木)、若林冴子(神奈川)、杉本恭子(静岡)、湯谷和枝(鳥取)、藤渡由久子(福岡)

### 「心の輪を広げる体験作文」「障害者の日のポスター」(東京)

障害のある人となない人がお互いに理解を深めるために公募された「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」(内閣府主催、当事業団後援)の入賞者が決まり、12月6日、千代田区の有楽町朝日ホールで開かれた「障害者週間の集い」で表彰されました。各部門の最優秀賞は次のみなさんです。(敬称略)

【作文】佐賀大学文化教育学部附属小1年・山口颯仁、松山市立南中学2年・堂本歩、群馬県立安中実業高校2年・松島秀行

【ポスター】神戸市立六甲アイランド小6年・水木彩乃=写真、東京都八王子市第四中学2年・榊原千聖



## 全国グループホームスタッフネットワーク「京都会議」

07年3月10、11日、京都市左京区の京都教育文化センターで、05年度に引き続き2回目の全国グループホームスタッフネットワーク「京都会議」を開催しました（京都会議実行委員会主催、全国グループホーム・ネットワーク共催、大同生命厚生事業団ほかと後援）。

全国からグループホームの世話人や施設職員、学生ら約100人が参加。10日はNHKの「ご近所の底力」でおなじみの木原孝久・住民流福祉総合研究所所長が「チャリティーからフェアネスへ～当事者側から福祉を作り直そう」のテーマで基調講演、後藤玲子・立命館大学大学院教授の講義「くらしと正義」、北野誠一・東洋大学ライフデザイン学部教授と現場支援者とのトークセッションがありました。11日は「生活保護」「消費者被害」「後見支援」「防災」「上手なコミュニケーション」「一人暮らし」などをテーマにした6分科会と、玉木幸則・NPO法人メインストリーム協会副代表（兵庫県西宮市）をコーディネーターに、障害のある人たちによる「私たちに本当に必要なこと」の提言があり、体験した話に参加者たちは熱心に耳を傾けました。

## 近畿グループホームスタッフ研修会（大阪）

近畿地域のグループホームのスタッフの交流と情報交換を目的に1998年から続き、06年度の会員は115人。毎月1回の例会では「日常金銭管理について」「障害をもつ人のための防災講座」などの講義のほか「世話人・利用者110番」で困っていることをみんなで話し合い解決策を考えました。また、1泊2日で親睦も兼ね滋賀県のグループホーム見学会も実施しました（当事業団後援）。

## 西日本グループホームスタッフ研修会（福岡）

第6回研修会を07年3月25日、福岡市で開き、九州・山口地区のスタッフ30人が参加しました（当事業団後援）。基調講演は「小規模多機能ケアと地域密着型の実践を通して」のテーマで、グループホーム「みちくさ」管理者の小椋繁雄さんが話しました。講演後、認知症高齢者と障害者の介助スタッフに分かれ、「今後は一体どうなるの？グループホーム」のテーマで分科会が行われました。参加者からは「基調講演は私とは分野の違う高齢者グループホームがテーマでしたが、違うからこそ学ぶ視点がありました。地域に根づくためには、世話人として何をすべきかを考えたい」「分科会ではどの施設も悩みは同じで、手さぐりの中でよりよい介護を目指していることが分かりました」「単体だけでは地域に理解してもらえないので、早速地域の他のグループホームに声をかけていきたい」などの感想が聞かれました。

## 東海グループホームスタッフ研修会（名古屋）

障害のある人や認知症の高齢者を支援しているグループホームスタッフを中心に「東海グループホームスタッフ研修会」が5月27日、9月9日、11月11日、07年2月24日の計4回、中区の朝日ホールで開催されました（当事業団後援）。

9月には、「どうなる・どうする？大地震！ホームでの防災対策って」のテーマでホームにいるときに大地震や火事になったら、スタッフはまず何をしなくてはならないか、日ごろ何を心がければよいかなど、防災対策について議論を深めました。また2月にはグループホームの障害種別を超えたネットワークづくりを目指し、小グループに分かれて分科会形式の情報交換をしました。

# 医療と公衆衛生

---

## 第58回「保健文化賞」

保健衛生の向上や福祉分野に貢献した団体、個人に贈られる第58回「保健文化賞」（第一生命保険相互会社主催、厚生労働省などと後援）の贈呈式が10月4日、東京都港区のホテルで行われました。

水戸市が開設する市休日夜間緊急診療所へ30年以上に渡って医師を派遣してきた水戸市医師会、北海道・十勝地域で精神障害者の社会復帰に必要な住まいや働く場など生活支援のネットワーク作りに取り組んできた帯広ケア・センター所長の門屋充郎さんなど11団体と5個人に賞金（団体各300万円、個人各150万円）と朝日新聞厚生文化事業団賞などが贈られました。この賞は1949年に制定されて以来、地域に密着し、健康と暮らしを支える実的な活動を対象として、団体については5年以上の活動実績があり、個人については活動年数が10年以上で将来も着実な活動が期待できることを重視して選考されています。第一生命保険相互会社が、厚生労働省、当事業団などの協力で年度賞として設定したもので、民間制定の表彰事業として今日までの実績は最も定評のあるものです。

## 小児がん街頭キャンペーン（名古屋）

がん征圧月間の9月3日、小児がんの早期発見を訴えるキャンペーンが、中区の松坂屋本店北館前で開かれました（がんの子供を守る会東海支部主催、当事業団後援）。

白血病や脳腫瘍、悪性リンパ腫など不治の病といわれた小児がんは、早期発見と医療技術の進歩で7割以上が治癒するようになりました。しかし「治る病気」になったとはいえ、再発や後遺症、退院後の進学や結婚の不安に悩むケースが多く、また、子どもを亡くした親への心のケアが大きな課題になっています。キャンペーンでは、患者や家族を支え、小児がんにかかわってきた守る会の会員がチラシを配り、早期発見と家族への理解を訴えました。治療方法や療養生活についての相談に三菱名古屋病院医師の岩間正文さんが助言しました。

## アサヒベビー相談室（大阪・大津）

「アサヒベビー相談室」（当事業団主催）は、大阪市、高槻市、大津市の3カ所の百貨店で開催、買い物がてら気軽に利用できる無料相談室としてお母さんたちに親しまれています。近鉄百貨店阿倍野店（1957年開設）は、大阪市立大学の小児科医師をはじめ、歯科医師や保育士たちが、それぞれの専門の立場から育児に悩むお母さんの相談にのっています。広い休憩コーナーもあり、憩いの場として賑わっています。近鉄百貨店では06年度も9月に親子参加のイベントを企画。絵本の読み聞かせや、パネルシアター、歌遊びなどで親子一緒に楽しい時間を過ごしました。簡単なおもちゃの作り方を紹介するコーナーでは、孫に教えたからと熱心に教わるおじいさんの姿も見られました。西武百貨店高槻店（1974年開設）は毎週木曜日、小児科医師が交代で相談にあたり、常連のお客さんに頼りにされています。西武百貨店大津店（04年開設）は、第1・第3日曜に専門相談員が、子育ての先輩の立場からアドバイスし、親しみやすいと好評です。

各相談室の利用者数は次の通り。

近鉄阿倍野店 722人 ミニ講演会 271人  
西武高槻店 342人  
西武大津店 69人

### アサヒベビー相談室（名古屋）

「アサヒベビー相談室」は、中区の松坂屋本店ベビー休憩室で年間を通して毎週土曜日に開催しました（当事業団主催、松坂屋後援）。有吉允子・済衆館病院小児科医長と岩間正文・名古屋三菱病院小児科医師が隔週で相談にあたり、体重の増減、便秘や下痢、アレルギーや発疹、夜泣き、卒乳の時期など発育からしつけまで、さまざまな「育児なんでも相談」が寄せられました。「子育ては疲れませんか?」「頑張ってますね」という先生からの励ましに安心した様子で「また、相談にきます」と再来する母親も多く見られます。秋と春の特別シリーズには、長坂法子・小児歯科院長、平田国夫・眼科医院長、横尾和久・愛知医科大学形成外科教授が加わりました。あごの悩みには、治療の必要性や方法などの質問に、パソコン画面でわかりやすく症状の説明がありました。明治乳業（後援）の栄養士による離乳食や栄養相談、身長体重測定も含め年間約1000件の利用がありました。

「のびのびくらぶ」は年6回（月1回・第3水曜日）開催、0～3歳児の親子37組が松坂屋友の会文化教室のリトミック室に集いました。三輪哲・メルヘンハウス代表が絵本の読み聞かせをし、「子どもが好きな本が一番」と絵本選びについて助言しました。長坂正人・長坂子どもクリニック院長は「お母さんは名医さん」と題して発熱時の家庭での対応や夜間・休日の小児救急電話相談事業について話しました。白石公二・子どもの創作工房「地木遊人」代表は、木や森の中での遊びを紹介、手作りの木のおもちゃの温もりを味わいました。丹羽允子・元こまどり幼稚園長は、園児とのふれあいの中から「子どもの成長と接し方」について話しました。折り紙やゲームを親子で楽しみ、最終回を締めくくりました。回を重ねるごとに親しくなった母親たちが互いの経験や悩みを話し合う姿が見られ、仲間づくりの場として好評を得ています。

### カトレヤ・マタニティースクール（名古屋）

産前産後の健康管理や心構えなどを学ぶ「マタニティースクール」が、中区の松坂屋友の会文化教室で開かれました（当事業団主催、松坂屋協賛）。

初めての出産を安心して迎えるため、笠岡直子さん（笠岡母乳育児相談所長）が出産までの呼吸法をはじめ、体重管理や運動不足を解消するヨガを取り入れた妊婦体操、実物大の人形を使いお風呂の入れ方を練習する沐浴（もくよく）体験などを指導しました。年々夫婦での参加が多く、妊娠中の体調の不安や出産後の夫の理解を深めました。また、抱き方、産着の着せ方などの練習を通して父親になる実感を楽しんでいる姿が見られました。3回を1シリーズ（月1回）で年3回。45組が参加しました。

### 生活習慣病市民公開講座（北九州）

最新の医療技術や健康情報を提供することで、地域住民の福祉の向上に寄与するという趣旨で「生活習慣病市民公開講座」を開催しました（財団法人平成紫川会、北九州市と共催）。第1回は5月の「憂うつな気分とのつきあい方」でスタート、07年3月の「おくすりと上

手につきあう方法」まで計6回の講座を開きました。最新の医療情報が聞けるため、多くの市民が参加し熱心に耳を傾けていました。

**【講座の紹介】**

5月27日「憂うつな気分とのつきあい方」

小倉記念病院 三木浩司精神科部長 (北九州市男女共同参画センター)

6月24日「大切な人が突然倒れた時、あなたは何かができますか？」

同病院 中島研救急部部長 (アジア太平洋インポートマート)

9月 9日「脳卒中治療の新時代」

同病院 中原一郎脳神経外科部長 (北九州芸術劇場)

9月30日「大切な人が突然倒れた時、あなたは何かができますか？」

同病院 中島研救急部部長 (アジア太平洋インポートマート)

11月11日「狭心症と心筋梗塞の最新治療と予防」

同病院 延吉正清院長 (北九州芸術劇場)

07年3月10日「おくすりと上手につきあう方法」

同病院 増田和久薬剤部部長 (アジア太平洋インポートマート)



# チャリティー事業

## 朝日チャリティー美術展

全国の美術家や各界著名人から寄贈いただいた作品を販売し、収益を社会福祉事業に充てる「朝日チャリティー美術展」（朝日新聞社と共催）を山口県・宇部、福岡、名古屋、大阪、北九州、東京の全国6会場で開催しました。

今回も文化勲章受章者や重要無形文化財（人間国宝）を含む画家、工芸・彫塑家、書家、宗教家、茶・華道家、各界著名人ら合計約4400人の方々にご協力いただきました。寄贈いただいた作品は日本画、洋画、版画、工芸、彫塑、書、色紙など約6500点にのぼりました。なお、今回から当事業団のホームページにチャリティー美術展専用のページを設け、一部作品や寄贈者名を紹介しました。

「西部展」には約800人から2000点を超える作品を寄贈いただき、山口県の宇部井筒屋（11月1日）を皮切りに、福岡天神・大丸（12月1日～4日）と小倉井筒屋（07年1月20、21日）＝写真の3会場で開催しました。なお、34回にわたって開催してきまし



た「西部展」は、事業の見直しにより今回で一旦終了し、新たな形で開催する予定です。

名古屋市のスカイル8階丸栄催事場で12月14日から16日まで開催した「名古屋展」は、1206人から寄贈いただいた1522点を即売しました。

1926（大正15）年、名士、大家書画展覧即売会の名称で始まり、創設80周年を迎えた「大阪展」は、12月26日から29日まで、大阪・なんば高島屋で開催しました。昨年より開催日を一日延ばしこともあり、1200人多い約4200人が来場。特設した人間



国宝コーナーに意欲的な作品が寄贈されるなど、話題を呼ぶ展覧会となりました。総数1180人の各界各分野の作家、名士から、1460点の作品をいただき、入札と即売に分けて販売し、収益は前年を上回りました。

「東京展」は3月2日から5日まで東京・松屋銀座で開催しました＝写真。前期の絵画初日には朝早くから約200人の美術ファンが列を

作り、後期の工芸や書、版画の初日も普段は手に入りにくい名品を求める人々で会場は熱気に包まれました。日本画家の平山郁夫さんや洋画家の中根寛さん、工芸家で人間国宝の井上萬二さんら約1200人から寄贈された1500点はほぼ完売。終了後のアンケートには「毎年楽しみにしている。少しでも社会福祉の役に立つことができれば嬉しい」といった感想が寄せられました。

(作品を寄贈いただいた方々のお名前は58ページから掲載しました)

## 第56回「メサイア演奏会」(東京)

戦後間もない1951年に東京芸術大学の協力で始まったチャリティーコンサート「芸大メサイア」(朝日新聞社と共催、東京芸術大学音楽学部協力)は56回目を迎えました。今回の指揮者は、昨年に続き高関健さんが務め、東京芸術大学音楽学部管弦楽研究部の皆さんの演奏のもと、12月12日、東京文化会館大ホールで開催されました。

若き声楽家の登竜門といわれるソリストには、厳しい学内オーディションで松原典子さん(ソプラノ)、相田麻純さん(アルト)、西岡慎介さん(テノール)、駒田敏章さん、岡昭宏さん(バス)の5人の大学院生が選ばれ、みずみずしい歌声を披露しました。また、芸大メサイアならではの総勢170人の声楽科学生によるダイナミックな歌声がホールいっぱいに響き渡り、1800人余の聴衆からは、盛んな拍手が送られました。

東京芸術大学はコンサートを福祉教育の一環としてとらえ、オーケストラの教授陣を含め、無償で出演して下さっています。また、10年ほど前からは、美術学部の先生にはポスターやチラシ製作でご協力いただいています。今回は学長の宮田亮平先生が自らの鍛金(たんきん)作品と題字とともに斬新なポスター=写真=をデザイン、学内外で話題を呼びました。



## 親子で楽しむクリスマスコンサート(東京)



今年で6回目になる「親子で楽しむクリスマスコンサート」を12月23日、千代田区の有楽町朝日ホールで開催しました。

出演は、シンガー・ソングライターで絵本作家の中川ひろたかさん=写真、スーパーデュオグループのケロポンズ、創作あそび作家の谷口國博さんらの豪華メンバーでした。

コンサートは歌あり、笑いあり、遊び歌あり、絵本や詩の朗読あり、ダンスありのバラ

エティーにとんだ内容で、舞台と客席が一体となって、子どもと大人約650人が一緒に楽しんでました。

このクリスマスコンサートは発売のお知らせから1週間でチケットが売り切れ。毎年恒例の歳末の催しとして定着しています。

### 第50回「上野学園慈善演奏会」(東京)

12月16日、台東区の上野学園・石橋メモリアルホールで、歳末助け合い慈善演奏会が開かれました(当事業団後援)。

今年は、「弦楽アンサンブルの愉しみ」と題し、モーツアルト、ハルヴェルセン、シベリウスらの楽曲が演奏されました。曲は、佐藤まどかさん他、すべて上野学園講師よって演奏され、アンコールでは、クリスマスにちなんだ曲目も演奏されるなど、会場は大いに盛り上がりました。

本年は50回目の節目にあたることもあり、これまでの長年にわたるご支援、ご協力に対し当事業団から感謝状を贈呈しました。

### 第43回宇井あきらとレ・ザマン・ド・ラ・シャンソンコンサート(東京)

12月8日、千代田区のイイノホールで、作曲家で歌手の宇井あきらさんが主宰するシャンソン演奏グループ「レ・ザマン・ド・ラ・シャンソン」(シャンソンの恋人たち)によるコンサートが開かれ、メンバーのみなさんがシャンソンのヒット曲を熱唱しました。

構成は宇井あきらさん、演奏は森若三栄子グループ、司会を宇野ゆう子さん、伏見淑子さんが担当。会場は幅広い年代のシャンソンファンで満員となりました。

### 杵勝会歳末チャリティー演奏会(東京)

12月21日、千代田区の有楽町朝日ホールで伝統古典長唄の演奏家集団「杵勝会」(杵屋勝三郎会長)が主宰する演奏会が開かれました(後援)。演奏会には家元の杵屋勝三郎さんをはじめ、長唄杵勝会の約90人が参加。「舌出三番叟」「五条橋」「老松」「官女」「廓丹前」など長唄古典12曲を演奏しました。

### スリーデーマーチ・チャリティーウオーク(武蔵野・東松山)

第11回東京国際スリーデーマーチ(武蔵野市、日本ウオーキング協会、朝日新聞社など主催)が5月3日から5日まで開催され=写真、当事業団も朝日新聞社のテントへ出展しました。3日間の延べ参加者数は5万8204人に達しました。

会場で呼びかけた福祉募金と、多摩東部朝日会にご協力いただいた味噌汁配布のチャリティーイベントには合計で7万1681円が寄せられました。



また埼玉県東松山市を中心に開かれた第29回日本スリーデーマーチ(日本ウオーキング協会、埼玉県、東松山市、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社主催)にも出展。11月3日か



らの3日間に延べ8万5025人が参加、ASA松山西部、高坂の方々等のご協力もあり、合計で9万3248円が寄せられました。

## 朝日新聞チャリティーコンサート（大阪・西宮）

今年度は、7コンサートを開催しました（11月23日は北区中之島のフェスティバルホール、その他は兵庫県西宮市民会館）。総入場者数は8908人。7会場に設置された募金は、入場料とは別に皆様からいただき、総額166万292円になりました。ありがとうございました。

日程	名称	出演者	主な曲目	入場者数
4月8日（土） 午後6時半開演	出口美保子魅惑のシャンソン	出口美保子（ボーカル） 坂尾彰彦（ボーカル） 立津宏祠（ピアノ伴奏）	千の風になって、黄昏のビギン、愛のわかれ、パリの屋根の下ほか	1057人
5月7日（日） 午後1時半開演	近藤嘉宏ピアノ名曲ベスト2006	近藤嘉宏	ピアノ・ソナタ第8番、幻想即興曲、革命、英雄ほか	1172人
7月2日（日） 午後1時半開演	田中勉&友輝子名曲プロムナード	田中勉 田中友輝子 阪本朋子	四つのアヴェ・マリア（グノー、シューベルト、カッチーニ、マスカーニ）ほか	872人
7月15日（土）午後2時開演	稲庭達華麗なるバイオリン名曲集	稲庭達（バイオリン）	愛の悲しみ、ベートーヴェン＝ソナタ「春」ほか	829人
9月17日（日）午後1時半開演	六車智香 ソプラノ名曲の花束	六車智香（ソプラノ）	波浮の港、宵待草、城ヶ島の雨、曼珠沙華、里の秋ほか	1320人
11月23日（祝） 午後6時開演	近藤嘉宏 ショパンとベートーヴェンのタベ	近藤嘉宏（ピアノ）	ショパン＝別れの曲、ベートーヴェン＝熱情ほか	2543人
07年3月21日（祝）午後2時開演	本田路津子 輝かしい生命の讃歌	本田路津子（歌&ギター） 岩永恭子（フルート） 佐藤洋子（ピアノ）	秋でもないのに、耳をすましてごらん、一人の手、アメイジング・グレイスほか	1115人

コンサートのなかで特に話題を呼んだのは、3月21日、「本田路津子 輝かしい生命の讃歌」に出演した本田路津子さん。1970年代フォークソング全盛期に、「秋でもないのに」「一人の小さな手」など澄み切った美声で多くのファンを魅了しNHKの紅白歌合戦に2回出場した実力派。その後渡米した本田さんは88年から歌手活動を再開、今回出演していただくことになりました。紙面で募集したところ応募はがきが殺到し、急きよ4月にも追加公演を催すことになりました。

本田さんの今も変わらぬ美声に、聴衆の1100人は、歌に合わせて口ずさむなど、それぞれのなつかしい思い出に浸っているようでした。



## 百貨店協賛チャリティー

大阪、京都、兵庫、和歌山4府県内の15の百貨店が、朝日新聞の歳末チャリティーに協賛、12月中に「チャリティーデー」を設け、当日の売り上げの一部を寄せられました。参加店は次のとおり。

【大阪、兵庫】高島屋大阪店、近鉄百貨店阿倍野店、京阪百貨店守口店、大丸心斎橋店、同梅田店、同神戸店、阪神百貨店、そごう心斎橋本店

【京都】四条河原町阪急、藤井大丸百貨店、近鉄百貨店京都店（現在閉店）、ジェイアール京都伊勢丹、大丸京都店、高島屋京都店

【和歌山】和歌山近鉄百貨店

## 西陣呉美の市（京都）

10月20～22日、西陣製品織元の商品をチャリティー販売する53回目の催し（西陣織会館、西陣工業組合の共催。当事業団ほか後援）。帯、きもの、ネクタイなどを「産地ならではの良品をより安く」をモットーに販売。収益の一部として10万円の寄付がありました。

## 第48回「各派合同三曲演奏会」（大阪）

11月23日、大阪市北区のフェスティバルホールで開催しました＝写真。箏、三絃、尺八の第一線で活躍中の各派の協力で18社中、600人が出演しました。出演社中と曲目は次の通りです（敬称略、出演順）。



須山知行・中島警子社中「夢殿」▽菊塚春秋会「秋の言葉」▽大阪正絃社「遙かなりみちのく路」▽遊琴会「希の曲」▽菊田歌謳雄社中「千種の花」▽八千代会「合奏曲 六段」▽菊井箏楽社「春草」▽中扇喜琇鳳社中「大内山」▽博籥民恵社中「京友禅」▽都山流尺八楽会大阪府支部「湖上の月」▽箏曲和光会・琴古流玉川社「金剛石」▽中村双葉社中「天空の扉」▽渦川淑子社中「春の曲」▽菊武潔社中「嵯峨の秋」▽酒井典彦社中「四季 春」▽箏曲榮琴会「時鳥の曲」▽中里絃恵社中「京人形」▽新都山流大阪府支部「本曲 初霜」

## 歳末チャリティーカレンダー展（大阪）

14回目を迎える歳末恒例のカレンダー展を12月4～16日、北区の朝日新聞大阪本社アサコムホールで開催。全国の企業、団体などから寄贈を受けた約100種類のカレンダーを500～2500円でチャリティー販売されました。売り上げの一部（108万9260円）が当事業団に寄せられました。ご寄贈いただいた企業、団体は次の通りです。（敬称略）

朝日放送（大阪）、アステラス製薬（東京）、石橋 三夫（横浜）、FM802（大阪）、NTTデータ（東京）、NPOアニマルレフュージ関西（大阪・能勢）、いかりスーパーマーケット（西宮）、王子製紙（東京）、大阪ウォーターフロント開発「海遊館」（大阪）、大阪ガス（大阪）、オーストリア航空（東京）、片山治之（大阪・豊能）、関西エアポートエージェンシー（泉佐野）、関西電力（大阪）、ガンバ大阪（吹田）、紀伊國屋書店（東京）、キヤノン（東

京)、近鉄ステーションサービス (大阪)、栗田工業 (東京)、京阪エージェンシー (大阪)、京阪電気鉄道 (大阪)、コダック (東京)、大韓航空 (大阪)、サントリーミュージアム天保山 (大阪)、ジェーシービー (東京)、ジェイティービー (大阪)、塩野義製薬 (大阪)、清水建設 (東京)、住友化学 (東京)、住友商事 (東京)、住友生命保険相互会社 (東京)、西武造園 (大阪)、積水化学工業 (東京)、積水ハウス (大阪)、全日本空輸 (豊中)、ソフトバンクテレコム (大阪)、ダイキン工業 (大阪)、大正製薬 (東京)、大同生命保険 (大阪)、大日本インキ化学工業 (東京)、大和ハウス工業 (東京)、高木 唯可 (大津)、チャコット (大阪)、辻 慶樹 (明石)、津田駒工業 (金沢)、テルモ (東京)、電通 (大阪)、東芝エージェンシー (東京)、東方出版 (大阪)、東洋インキ製造 (大阪)、東洋紙業 (大阪)、東洋紡 (大阪)、登龍館 (大阪)、東レフィルム加工 (大阪)、凸版印刷 (東京)、ニコン (東京)、日本国際連合協会関西本部 (大阪)、日本たばこ産業 (大阪)、日本中国水墨交流協会 (東京)、日本学生航空連盟、ネピアトレーディング (大阪)、パイオニア (東京)、白鶴酒造 (神戸)、浜縮緬工業協同組合 (長浜)、阪急交通社 (大阪)、日立ハイプラン (東京)、福島工業 (大阪)、フジキン (大阪)、富士フィルム (東京)、古野電気 (西宮)、文藝春秋 (東京)、ベネッセコーポレーション (大阪)、堀場製作所 (京都)、松下電器産業 (東京)、松下電工 (門真)、マリー・ローランサン美術館 (東京)、ミサワホーム (東京)、ミズノ (大阪)、三越日本橋本店 (東京)、ヤマハ発動機 (磐田)、ユニオンサービス (名古屋)、稜 いっぺい (大阪)、ルフトハンザ・ドイツ航空会社 (大阪)

## 協賛能 (大阪)

12月23日、在阪神の能楽師が一堂に会し、共演する歳末助け合いの「協賛能」です。観世、喜多、宝生、金剛、金春の5流と、狂言の大蔵流が出演。収益金59万9880円が寄付されました。

## 第52回朝日推薦演奏会 (大阪)

12月3日、北区のザ・シンフォニーホールで第52回朝日推薦演奏会を開きました=写真。出演者は関西を中心に活躍している演奏家が推薦する新進・中堅の演奏家たちで、今回は中学生、高校生、大学生、一般の総勢24人が登壇。ソロの声楽や演奏のほか、アンサンブルやマリリンバ・デュオなどバラエティーに富んだ内容で、質の高い演奏に、約600人の聴衆からは力強い拍手が送られました。出演者は次の通りです。



ピアノ=鬼頭緑、城沙織、竹内恵美、中山和子、西村静香、樋上愛加、藤原愛香、三村祥子  
▽バイオリン=植田梨沙、趙映李▽声楽=西原綾子、南奈緒、山口知子、山本欽也▽フルート=宇田有美子、宇都宮信子▽マリリンバ=千頭加奈子、西垣良美、松尾桜▽五重奏=中間仁

美（オーボエ）、山内かおり（クラリネット）、南由佳（ファゴット）、橋本久美子（ホルン）、安達真季（ピアノ）

【推薦委員】赤松二郎、池田洋子、井上圭子、岩崎勇、岩淵龍太郎、岡田晴美、片岡みどり、金澤和孝、木川田誠、酒井睦雄、芝令子、瀬野光子、曾根亮一、田原祥一郎、辻久子、土田晴子、東儀幸、永井和子、服部久美子、深美裕子、宮本慶子、山上明美（50音順、敬称略）

（2007年2月、推薦委員の木川田誠先生が永眠されました。心よりご冥福をお祈りするとともに、長年のご協力に深く感謝いたします）

## 第54回「洋舞合同祭」（大阪）



関西洋舞界を代表するモダンダンスとクラシックバレエの祭典「第54回洋舞合同祭」を12月23日から4日間、北区のフェスティバルホールで開催しました＝写真。児童、大人の部に19団体の計29チームが出演して日頃の練習の成果を披露し、約6100人の観客を魅了しました。

田村弘子バレエ研究所は40回の記念出演となり、当事業団の山崎正弘・大阪事務所長から表彰状と記念品（チェコ製のクリスタル花瓶）が贈られました。出演団体は次の通りです。（順不同）

【23日】高田由紀子バレエ学園、同ジュニアバレエ団、江川バレエスクール、江口乙矢・須美子・満典舞踊研究所、同舞踊団、法村友井バレエ学校、同ジュニアバレエ団

【24日】波多野澄子バレエ研究所、北本バレエ研究所、同バレエ団、畑節子バレエ学院、同ジュニアバレエ、貝谷バレエ團関西研究所

【25日】大阪バレエアカデミー、同バレエカンパニー、本田道子バレエスクール、同バレエ団、田村弘子バレエ研究所、渡バレエ団

【26日】山本小糸バレエスクール、エコール・ド・ダンス・オオサワ、宝塚音楽学校附属宝塚コドモアテネ、西野バレエ学園、岡本バレエ団、佐々木美智子バレエ団、スズキ・バレエアート・スタジオ

（2006年4月、田村弘子先生（田村弘子バレエ研究所）が永眠されました。心よりご冥福をお祈りするとともに、長年のご協力に深く感謝いたします）

## 辻久子クリスマスコンサート（大阪）

12月16日、北区のフェスティバルホールで辻久子クリスマスコンサートが2年ぶりに開催されました（大阪コンサート協会主催、当事業団後援）。

辻久子さん（バイオリン）のほか、竹内素子さん（ピアノ）、辻久子弦楽塾生たち（特別参加）が出演。朝日放送の乾隆介さんの司会で進行、収益の一部が寄託されました。



同コンサートは1969年から朝日チャリティーとして04年まで毎年開催され、寄付金額の累計は今回で800万円を超えました。このためコンサートの幕間に、山崎大阪事務所長から辻久子さんに感謝状と記念品（フランス、ドーム社の花瓶）を贈呈、長年の厚意に謝意を表しました＝写真。



### 若駒となかま達のコンサート（大阪）

12月23日、北区のリサイタルホールで、民族アンサンブル若駒（桜田舟完代表）主催の「若駒となかま達のコンサート」が開かれました（当事業団後援）。今回で7回目。第1部「狂言3部作」で、「ずっこけ狂言ばなし・どろピカぼん」（原作／狂言「柿山伏」や「神鳴（かみなり）」「二人袴（ばかま）」（翻案・演出／松本則子、舞台美術／円齋）を上演。第2部では知的や聴覚に障害のある子どもたちが荒馬太鼓、八丈島太鼓など、練習を重ねた太鼓の腕前を披露。収益の一部が寄託されました。

### 第53回各流合同茶会（大阪）

茶道3千家の宗匠をはじめ各流の宗匠の協力で行われる「各流合同茶会」（当事業団主催）は、例年、3月に開催していましたが、中央区の大阪美術倶楽部の改修工事が浮上したのに伴い、年末の12月16、17日、同会場で開催しました＝写真。



関西一円から、2日間にわたり延べ4943人の来場者が訪れ、自流はもとより他流の席で作法やお茶を堪能しました。

以下は懸釜担当の宗匠。〔 〕内は流派。  
（敬称略・順不同）

【16日】〔表千家〕＝靱よし子 〔裏千家〕＝八木宗俊 〔武者小路千家〕＝芳野宗春、三宅守真 〔宗徧流〕＝佐々木宗節 〔一茶菴〕＝佃一祐

【17日】〔表千家〕＝表千家大阪青年部 〔裏千家〕＝矢野宗菁 〔藪内流〕＝福田竹有 〔松尾流〕＝上西宗慶 〔庸軒流〕＝柿本梅軒 〔松風清社〕＝泉谷光峰

<協賛宗匠>

〔表千家〕＝木村哲郎、森泰輔 〔裏千家〕＝杉本宗璋、杉本宗鴻、中尾宗勢

〔武者小路千家〕＝木津宗詮、佐伯江南斎 〔藪内流〕＝藪内流大阪支部五葉会

〔古石州〕＝本庄扇宗 〔遠州流茶道〕＝茶道遠州会大阪支部

〔花月菴〕＝花月菴流大阪支部 〔習軒流〕＝坂田柏苑

### 第37回チャリティー朝日大茶会（福岡）

福岡市内の茶道7流派と共催する「第37回 朝日大茶会」を4月1、2日、博多の総鎮守として知られる櫛田神社やJR博多駅周辺の計6会場に7つの茶席を設け、開催しました。当初会場に予定していたお寺が「福岡県西方沖地震」の影響で使用できなくなり、急遽会場



を変更するなどのハプニングもありましたが、会場周辺は和服姿の女性が行きかい優雅な雰囲気醸し出していました。

茶席券はどの茶席でも使用できる3枚綴り券や会記の引換券も付いているため、2日間で約2500人の人たちが日ごろ拝見する機会が少ない他流派の作法を見学し、お点前やお茶を堪能していました。

茶会終了後、茶会実行委員会から「社会福祉のために役立ててほしい」と茶席券売上金の一部が当事業団に寄託されました。

なお、37回にわたって開催してきた朝日大茶会ですが、事業などの見直しにより今回で終了しました。07年3月12日に「感謝のつどい」を開催し、各流派の方々に当事業団の坂東理事長より感謝状を手渡しました＝**写真**。



参加した流派と会場（順不同）

▽表千家同友会＝ホテルクリオコート／聚美苑・光雲の間

▽宗徧流福岡支部＝ホテルクリオコート／聚美苑・古今の間

▽茶道裏千家淡交会博多支部＝櫛田神社

▽不白流白和会福岡県支部＝妙楽寺

▽茶道南坊流南坊会＝櫛田神社

▽藤蔭流（煎茶）＝宝聚庵

▽光風流福岡支部（煎茶）＝祥勝院

## 5 2 回歳末チャリティー朝日茶会（名古屋）

「第52回歳末チャリティー朝日茶会」が12月10日、中区の名古屋美術倶楽部で開かれました（名古屋美術倶楽部協賛）。前日の予報では雨が心配されましたが、当日は大変暖かい天気恵まれ、約700人が訪れました。

茶席は2席設けられ、残月の間では、松尾、遠州、宗徧、尾州久田の4流が、葵の間では表千家、志野、久田、裏千家の4流が交代でお手前を披露しました。

毎年協力していただいた表千家の大野洗宗氏が8月、健康上の理由で今回より辞退の申し入れがあり、06年度より8流派13人で運営されています。

＜歳末茶会の協力宗匠＞（敬称略）

〔松尾〕＝松尾宗典、尾関宗般〔遠州〕＝水谷美那子〔宗徧〕＝寺尾宗康〔尾州久田〕＝下村瑞晃〔表千家〕＝谷口宗清、柴田昭和、棚橋昭雄〔志野〕＝蜂谷宗玄、綱島章〔久田〕加藤久岳〔裏千家〕＝庄司宗文、森宗美

## チャリティー朝日邦楽会（名古屋）

名古屋で活躍中、あるいは名古屋に稽古場を持つ東西一流の邦楽家による演奏会「第36回チャリティー朝日邦楽会」が8月19日、東区の中電ホールで開かれました＝写真。



<主な演目と出演者は次の皆さん>（敬称略）

現代箏曲「風紋」梶田昌艶▽小唄「将棋」錦文喜央▽長唄「蛙」杵屋三太郎▽端唄「蓬莱」富鶴富子▽長唄「綱館」杵屋勝哉▽小唄「恋ざんげ」稲舟妙寿▽義太夫「奥州安達原」川地重幸▽三曲「三つ恋慕」今井勉▽小唄「苗売り」橘津多▽長唄「秋の色種」杵屋勝桃▽小唄「涼み舟」春日とよ恵▽常磐津「三世相錦繡文章」常磐津一巴太夫（人間国宝）

## その他の事業

### 朝日社会福祉賞（東京）

06年度の朝日社会福祉賞（朝日新聞社主催）は、各界から推薦いただいた候補を、本社内に設けた選考委員会で慎重に審議した結果、次の3件に決定いたしました。07年2月8日、中央区の朝日新聞東京本社で贈呈式を行い、正賞のブロンズ像と副賞1件200万円が贈られました。受賞者の業績は朝日新聞紙上に掲載されました＝写真左から。



▽北海道・帯広十勝地域での精神障害者の社会復帰支援を推進した功績

門屋充郎さん

▽筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者として社会啓発に尽くした功績

松本茂さん

▽長年にわたり自殺予防のボランティア「いのちの電話」の発展に尽力した功績

斎藤友紀雄さん

### 西部朝日福祉助成金（九州・沖縄・山口）

地域の福祉向上に取り組んでいる小規模福祉作業所やボランティアグループなどの活動を支援する06年度の「西部朝日福祉助成金」は、夏季が九州、山口、沖縄の14団体に491万円を、冬季は福岡県内の4団体に60万円を贈りました。福祉助成金は毎年、年末・年始に実施している「朝日ふれあい募金」を財源にしています。

夏季の助成金の申込団体募集は2月26日付の本紙朝刊の社告でスタートしました。4月9日の締め切りまでに124団体から応募がありました。2次にわたる社内選考と各県の社会福祉協議会や朝日新聞西部本社の総・支局の協力で調査を実施し、14団体が選ばれました。6月25日付朝刊特集面で、その活動を紹介しました。贈呈式は福岡県分を6月27日に西部本社で、その他は各県庁所在地の朝日新聞総局で行いました。

贈呈の14団体と主な購入機器は次の通りです。

【山口】エルマーの会（岩国市・菓子など包装室の改修費）▽友愛センター（長門市・デジタルカメラと付属品）【福岡】ミニミニサロン（久留米市・カラオケセットほか）▽劇団きらきら（志免町・舞台衣装ほか）▽テープ音訳の会（田川市・パソコンほか）▽共生の里（行橋市・耕運機ほか）▽はまゆう共同作業所（水巻町・工業用ミシンほか）【佐賀】佐賀県難病支援ネットワーク（佐賀市・災害時における難病患者の行動マニュアル作成費）【長崎】マザーワート（佐世保市・中古自動車）【熊本】トライハウス（熊本市・畳製造用作業台）【大分】はっぴい（別府市・倉庫《ヤードタイプ》）【宮崎】要約筆記ゆうゆう（宮崎市・プロジェクター、スクリーンほか）【鹿児島】春山松葉会（鹿児島市・演芸用紅白幕・手品用品）【沖縄

県】津嘉山ティガネーの会（南風原町・調理器具各種）

冬季は長年にわたって地道な社会福祉活動を行っている団体を継続的に支援するための助成で、福岡いのちの電話（福岡市）▽北九州いのちの電話（北九州市）▽福岡県交通遺児を支える会北九州総支部（同）▽福岡県交通遺児母の会（同）の計4団体に贈られ、07年2月8日、朝日新聞西部本社で贈呈式を行いました。

西部朝日福祉助成金の財源である「朝日ふれあい募金」は12月1日から07年1月31日まで受け付けました。郵便振替や朝日新聞西部本社、福岡本部、総局・支局、朝日新聞販売所（ASA）への持参など、期間中九州・山口の皆さまから寄せられた募金は737件、総額504万8985円に達しました。

## 川畠成道福祉施設等訪問プログラム「生命（いのち）の輝き」

国際的に活躍する視覚障害者のバイオリニスト川畠成道さんが、コンサートに来ることが困難な人たちにも生のクラシック演奏とお話を楽しんでもらい、音楽のもつ魅力や不思議さを知ってもらいたいと04年度から始められたプログラムです。障害者施設やホスピス、老人ホーム、養護学校、少年院などを対象に、朝日新聞紙上で希望施設を公募し、06年度は、北は北海道から南は福岡県まで全国21カ所の学校、施設などで実施しました＝写真。

演奏とお話による約1時間のプログラムでは、グノーのアベ・マリアやバッハのアリア、サラサーテのチゴイネルワイゼンなど一般の人にもなじみのある名曲が演奏されました。また、子ども病院では、自身が小学生の時米国で入院中に音楽ボランティアの演奏に励まされた思い出などを、養護学校では夢をあきらめないことの大切さなどを語られ、川畠さんならではの素晴らしいバイオリンの音色とともに、対象者に合わせたトークも感動をよびました。日頃、ほとんど表情のないお年寄りの顔が明るく輝いたり、重度重複障害の子どもがリズムをとるように体を揺らしたりする姿、またホスピスでは、多くの涙ぐむ患者さんや家族の姿が見られ、周りの人たちの涙も誘っていました。



い出などを、養護学校では夢をあきらめないことの大切さなどを語られ、川畠さんならではの素晴らしいバイオリンの音色とともに、対象者に合わせたトークも感動をよびました。日頃、ほとんど表情のないお年寄りの顔が明るく輝いたり、重度重複障害の子どもがリズムをとるように体を揺らしたりする姿、またホスピスでは、多くの涙ぐむ患者さんや家族の姿が見られ、周りの人たちの涙も誘っていました。

06年度訪問先一覧

日時	訪問先所在地・名称	訪問先種別
06年5月13日	福岡市・村上華林堂病院	ホスピス
06年6月3日	東京都千代田区・SJS患者会	難病患者会
06年6月6日	静岡県浜松市・聖隷三方原病院	ホスピス
06年6月7日	静岡県伊豆の国市・静岡県立東部養護学校	養護学校(肢体不自由)
06年6月11日	松山市・松山ベテル病院	ホスピス



06年6月20日	北海道千歳市・北海少年院	少年院
06年8月23日	東京都板橋区・心身障害児総合医療療育センター	重症心身障害児・者施設
06年8月24日	東京都清瀬市・信愛病院ホスピス	ホスピス
06年9月4日	兵庫県川西市・市立川西養護学校	養護学校(知的障害)
06年9月4日	兵庫県宝塚市・はんしん自立の家	身体障害者療護施設
06年9月5日	大阪府柏原市・修徳学院	児童自立支援施設
06年9月5日	和歌山市・和歌山県立盲学校	養護学校(盲学校)
06年9月7日	横浜市・訪問の家・朋	知的障害者通所更正施設
06年9月19日	千葉県市原市・市原学園	少年院
06年9月21日	東京都渋谷区・駒沢生活実習所	知的障害者通所更正施設
06年10月11日	横浜市・神奈川県立こども医療センター	子ども病院(長期療養型)
06年10月29日	長野県小布施町・新生病院	ホスピス
06年11月12日	埼玉県所沢市・暮らしネットえん	高齢・障害者訪問介護事業
07年1月28日	東京都立川市・スターホーム	老人保健施設
07年3月11日	栃木県益子町・美里学園	知的障害者更正施設(入所・通所)
07年3月14日	北海道旭川市・旭川盲学校	養護学校(盲学校)

また、4月15日には、川崎市のミュージア川崎シンフォニーホールにおいて、「生命の輝き」訪問プログラムの周知と運営資金づくりを目的として、チャリティーコンサートが開かれました。グリークの「ソナタ第3番」をはじめ、ドボルザークの「ユモレスク」「スラブ舞曲第2番」、ガーシュインの「サマータイム」など珠玉の名曲が披露され、約1500人の聴衆を魅了しました。

## ジャワ地震救援募金

5月27日にインドネシアのジャワ島で発生したM6.2の地震は、死者5000人を超える大災害となりました。

当事業団は30日から6月末までの1カ月、朝日新聞社と協力して被災者救援募金を呼びかけました。朝日新聞読者のみなさまをはじめ、全国各地から支援が寄せられ、締め切り後到着分も含め、926件、1455万5520円に達しました。集まった寄金はすべて日本赤十字社を通じて、被災者救援にあてさせていただきました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。

## ホームページの活用

07年1月にホームページ (<http://www.asahi-welfare.or.jp/>) のリニューアルを行いました=写真。



新しいホームページはインターネット利用者の年齢や身体、利用環境等に関係なく、機能を使いやすくする「アクセシビリティ」を重視した作りになっています。NPO法人ハーモニー・アイとともに、障害のある方々や高齢者のみなさんにご協力をいただき、音声読み上げソフトとのマッチング、各種レイアウト、文字の大きさや色調などの調整を繰り返し行いました。さらにインターネットを通して各種催事の参加申し込みを受け付けるなど、新しい取り組みも始めました。また、社会福祉に関するニュースへのリンクの掲載、依頼のあった福祉団体の催しの案内など新しいコンテンツの提供も始めました。

月間ページアクセス数は06年3月の約1万7000件でしたが、07年3月には3万2000件以上と増加しています。今後とも、ぜひご活用ください。

## 朝日福祉ガイドにDVDビデオ登場

朝日福祉ガイドにDVDによる新シリーズが加わりました。「自閉症の子どもの自立課題」の全3巻シリーズで、第1巻「自立課題の選び方」、第2巻「自立課題の作り方」、第3巻「自立課題のできあがり」です＝写真。初回作成の500セットは1月の発売後約2週間で完売、急ぎ追加製作するほど好評を得ました。

また、従来のTEACCHプログラムのVTR版もDVD化しました。定価はVTR版、DVD版とも同価格の3000円に据え置きました。今後もDVDによる新シリーズを計画していますので、ご期待ください。



## おもな後援・協賛・協力事業一覧表

日程	催事名		主催者名	会場
<b>東京事務所</b>				
4/14～4/16	第2回 ワールド シニア ゴルフ レディースオープン選手権	後援	NPO 法人日本ブラインドゴルフ振興協会ほか	太平洋クラブ御殿場コース
4/24	「若さの栄養学」春の講演会	後援	財団法人若さの栄養学協会	きゅりあん
4/28～30	第35回記念 日本車椅子バスケットボール選手権大会	後援 助成	日本車椅子バスケットボール連盟 ほか	東京体育館
5/2～5	第30回記念 全日本ろう社会人軟式野球全国大会	後援	全日本ろう社会人軟式野球連盟	雁ノ巣球場 (福岡市)
5/4～6	吃音ワークショップ2006 in 東京・高尾の森 「言友会創立40周年記念全国大会」	後援	全国言友会連絡協議会ほか	高尾の森わくわく ビレッジ
5/5～11	平成18年度(2006年度)児童福祉週間	協力	厚生労働省ほか	
5/27	日本リウマチ友の会第46回全国大会	後援	リウマチ友の会	鹿児島サンロイヤルホテル
6/7～11	第21回全国聴覚障害者写真コンテスト	後援	全日本ろうあ連盟	市民ギャラリー(静岡市)
6/9	日本聾話学校チャリティー映画会	後援	日本聾話学校	日比谷公会堂
6/10～11	第22回 DPI 日本会議全国集会大阪大会	後援	NPO 法人DPI 日本会議ほか	国際障害者交流センタービッグ・アイ
6/24	第18回 クウォーターズクラブチャリティーコンサート	後援	クウォーターズ クラブ	紀尾井ホール
7/1～2 26～27	第55回創立記念「関東聾学校陸上競技大会」および「バレーボール大会」	後援	関東聾学校体育連盟	静岡県愛鷹広域公園
7/1	目白大学夏季公開講座「高機能発達障害の子どもの生活ーその困難性と支援」	後援	目白大学教育研究所	目白大学
7/11～17	第48回慈彩会展	後援	慈彩会	日本橋三越本店
7/15	第10回電動車椅子サッカー関東大会	後援	関東ブロック電動車椅子サッカー協会	彩の国くまがやドーム
7/18～23	第21回療育音楽指導者養成研修会	後援	東京ミュージック・ボランティア協会	新宿・小平ほか
7/22～23	日本自閉症協会第19回全国大会	後援	日本自閉症協会ほか	岐阜グランドホテル

7/25～31	第3回 池田輝子ICT奨学金(日本点字図書館)事業	後援	日本点字図書館	YMCA(マレーシア)ほか
8/4～7	第26回 全国ろう学生の集い	後援	2006年全日本ろう学生懇談会ほか	宇都宮コンセーレ
8/22～24	第57回 全日本少年野球大会	後援	厚生労働省ほか	ひたちなか市民球場
8/27	母と子の日帰りレクリエーション	後援 助成	NPO法人交通遺児等を支援する会	さがみ湖ピクニックランド
8/27～29	第33回 全東京ろう社会人軟式野球秋季大会	後援	全東京ろう社会人軟式野球連盟	北区中央公園球場 ほか
9/2	第2回ユニバーサルキャンプin八丈島	後援	NPO法人ユニバーサルイベント協会ほか	東京都八丈島・ 底土キャンプ場周辺
9/15	第43回「東京都老人クラブ芸能大会」	後援	東京都老人クラブ連合会	東京厚生年金会館 大ホール
9/16	第5回 精神障害者就業支援中央セミナー	後援	日本てんかん協会	障害者職業総合センター
9/21	第9回 全国精神障害者団体連合会・全国大会浦河大会	後援	NPO法人全国障害者団体連合会ほか	北海道・ 浦河町文化会館
9/24～25	第32回みんなの音楽会と認知症講演会	後援	東京ミュージック・ボランティア協会	浴風会大ホール
9/27～29	第33回 国際福祉機器展 H. C. R 2006	協賛	全国社会福祉協議会ほか	東京国際展示場「東京ビッグサイト」 東展示ホール
9/27	日本点字図書館 秋のチャリティー映画会	後援	日本点字図書館	なかのZERO
9/28	第36回朗読録音奉仕者感謝の集い	後援	鉄道弘済会ほか	弘済会館
9/30	きょうされん 第29回 全国大会 in えひめ	後援	きょうされん	愛媛県県民文化会館 ほか
10/1	第19回全国障害者将棋大会	後援	全国障害者将棋大会実行委員会	川崎市中小企業婦人会館
10/1	ピポ・ユニバーサル駅伝	後援	NPO法人コミュニケーションスクエア21	明治神宮外苑聖徳 絵画館広場前道路
10/4～9	第19回福祉MY HEART美術展	助成	NPO法人マイハート・インターナショナル	青梅市立美術館
10/18	第18回「国民の健康会議」	協賛	全国公私病院連盟	ヤクルトホール
10/28	第38回チャリティーバザー	後援	愛隣会	愛隣会構内建物



10/29	第7回てんかんセミナー	後援	日本てんかん協会群馬県支部	群馬県社会福祉総合センター 8階大ホール
10/31~11/6	日本手芸作家クラブ 第50回新作・チャリティー展	後援	日本手芸作家クラブ	池袋三越 7階催事場
11/3	交通遺児等を支援する会 第3回チャリティーバザー	後援	NPO 法人交通遺児等を支援する会	新宿住友ビル 三角広場
11/3~4	第15回 全国ボランティアフェスティバル ぐんま	協賛	第15回全国ボランティアフェスティバル推進協議会ほか	ぐんまアリーナほか
11/4~5	第10回 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会	後援	大阪聴力障害者福祉事業協会ほか	国立オリンピック記念青少年総合センター
11/5~11	日本編物協会 創立55周年記念事業 展示会及びチャリティーバザール	後援	日本編物協会	東京交通会館
11/9~10	第39回精神障害者家族大会長野大会	後援	全国精神障害者家族会連合会ほか	長野県民文化会館
11/10	共同募金運動60年記念 平成18年度全国社会福祉大会	協賛	厚生労働省ほか	日比谷公会堂
11/11	第27回全国歯科保健大会	後援	厚生労働省ほか	ブリックホール
11/11	競い合い、助け合うコンサート in 東京	協賛	視覚障害者支援総合センター	杉並公会堂 大ホール
11/12	障害者医療問題全国ネットワーク 第6回シンポジウム	後援	障害者医療問題全国ネットワーク	国立オリンピック記念青少年センター
11/15~19	第11回 土と色—ひびきあう世界— 世田谷展	後援	世田谷美術館	区立世田谷美術館 区民ギャラリー
11/18	滝乃川学園本館修復のためチャリティー 「天使のピアノへのいざない—デュオ・コンサート」	後援	滝乃川学園「天使のピアノへのいざない—デュオ・コンサート」実行委員会	紀尾井ホール
11/18	第3回 本間一夫文化賞	後援	日本点字図書館	ビックボックス
11/20~22	第60回 全国児童養護施設長研究議会	後援	全国社会福祉協議会ほか	大阪国際会議場
11/24~29	第4回東アジア美術交流祭	後援	NPO 法人世界芸術文化振興協会、 中国文学芸術界連合会	テレコムセンター ビルアトリウム
11/25	正秋バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル	後援	東京光の家	日野市民会館 大ホール
11/25	目白大学秋季公開講座「メディアと教育～健全な情報社会の構築をめざして」	後援	目白大学教育研究所	目白大学

12/2	駒場シンフォニック21 慈善演奏会 “駒場の第九2006”	後援	駒場シンフォニック21	東京オペラシティー コンサートホール
12/3~9	平成18年度「心の輪を広げる障害者 理解促進事業」	後援	内閣府ほか	
12/4~8	総合福祉センター「弘済学園」園生の 作品展示・療育相談会「ぼくにもでき る展」	後援	鉄道弘済会ほか	JR東京駅丸の内 南口ドーム
12/8~10	第6回全国障害者芸術・文化祭おきな わ大会	後援	厚生労働省ほか	沖縄県立武道館ほ か
12/16	国際協力 風の会 東京 チャリティー コンサート	後援	国際協力風の会東京	カメラアプラザ
12/20	青少年と共に歩む会「憩いの家」資金 バザー	後援	青少年と共に歩む会	日本橋高島屋8階 催場
12/21	第55回東京都社会福祉大会	協賛	東京都ほか	都庁第一本庁舎5 階大会議場
12/22	交通遺児等を支援する会「交通遺児家 庭の越年助成金」	助成	NPO 法人交通遺児等を支援する会	
12/24	第4回 本間一夫記念 日本点字図書館 チャリティーコンサート～天羽明恵ソプ ラノ・リサイタル	後援	日本点字図書館	東京文化会館 小ホール
12/27	ユニバーサルコンサート	後援	東京芸術音楽協会	東京芸術劇場 大ホール
1/28	第21回東京都中途失聴・難聴者の集 い	後援	NPO 法人東京都中途失聴・難聴者 協会	前進座劇場・ 吉祥寺
2/6~11	第10回 ほっとinふなばし芸術祭	後援	ほっとin船橋芸術祭実行委員会	船橋市民ギャラリ ー
3/3	第52回 耳の日記念行事後援	後援	日本耳鼻咽喉科学会	有楽町朝日スクエ ア
3/3	メンタルヘルスの集い（第21回日本 精神保健会議）	後援	日本精神衛生会	有楽町朝日ホール
3/24	秋川流域障害保健福祉研究実践発表会	後援	秋川流域障害保健福祉研究実践発 表会実行委員会	あきる野ルピアホ ール
<b>大阪事務所</b>				
4/1~5/31	06年度地域保健福祉研究・サラリーマン （ウーマン）ボランティア活動助成	後援	大同生命厚生事業団	大同生命厚生事業 団
4/11~5/22	家庭看護実習教室	後援	大同生命厚生事業団	大同生命大阪本社 メモリアルホール

4/26～12/3	第16回自然観察インストラクター養成講座	後援	大同生命厚生事業団	府立環境情報センター環境プラザ、クレオ大阪西
4/1～'07/3	第42回電話相談ボランティア養成講座	後援	関西いのちの電話	博愛社 5階会議室
通年	大阪交通遺児を励ます会の活動支援助成	後援	大阪交通遺児を励ます会	
4/8	これからの自閉症支援	後援	NPO 法人・BON	大阪社会福祉指導センター
4/11	「父と暮らせば」上映会	後援	大阪パイロットクラブ	大阪市中央公会堂
4/16	ハンセン病の今を問う パート4	共催	ハンセン病問題を考える尼崎市民の会	尼崎市・園田苑
4/20	バリアフリー2006	後援	大阪府社会福祉協議会ほか	インテックス大阪
4/23、5/14	新人キャンプカウンセラーの募集	後援	朝日キャンプ	大阪市立青少年センター会議室
4/29、5/5～7	「キャンプ指導者講習会」「家族的野外活動学校」	後援	大阪府キャンプ協会	大阪市立伊賀青少年野外活動センター
5/1～'07/3	ソーシャルワーカー養成課程	後援	京都国際社会福祉協力会	京都国際社会福祉センター
5/12	「夢・ドリーム実現へ」チャリティーコンサート	後援	大阪府肢体不自由者協会ほか	NHKホール
5/21	全腎協35周年・法人設立10周年記念全国大会	後援	全国腎臓病協議会	大阪国際会議場
5/25	「若さの栄養学」春の講演会	後援	若さの栄養学協会	大阪産業創造館 6階会議室E
5/27	第24回日本ライトハウスチャリティコンサート	後援	日本ライトハウス	ザ・シンフォニーホール
5/27	淀川河川敷「シジミの潮干狩り」	後援	NPO 法人・officeノーマライゼーション	淀川河川敷
5/27、28	第1回堺国際ツーデーマーチ	後援	堺市、朝日新聞社、日本ウオーキング協会他	堺市を中心とした大阪南部地域
5/28	第13回共生・共走りレーマラソン大会	後援	第13回共生・共走りレーマラソン大会実行委員会	花博記念鶴見緑地
6/3	第10回「共に生きるコンサート」	後援	「共に生きるコンサート」実行委員会	箕面市立メイプルホール
6/4	第13回マインドエアロビクス	後援	NPO 法人H・P・S・A	なみはやドーム サブフロア

6/1、7/23、 8/15～17	NPO法人BON「自閉症の人たちの余暇 支援～サマープログラム」	後援	NPO 法人・BON	大阪社会福祉指導 センター
6/16	第56回施設従事者激励会	後援	大阪民間社会福祉事業者共済会	大阪「松竹座」
6/17	自閉症の子どもたちの「遊びの広場」と 「ママパパミーティング」	後援	NPO 法人・BON	大阪社会福祉指導 センター
6/18	大学生キャンプボランティア「自閉症の余 暇支援」	後援	大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか	大阪府立青少年会 館
6/27～28	第56回近畿児童自立支援施設野球大 会	後援	和歌山県、近畿児童自立支援施設 協議会	紀三井寺球場・琴の 浦総合運動場
7/8	第7回大阪精神障害者連絡会総会	後援	大阪精神障害者連絡会	アピオ大阪
7/8	「NPO法人こころの子育てインターねっと 関西」第21回フォーラム	後援	NPO 法人こころの子育てインターね っと関西ほか	大阪人間科学大学 庄屋学舎
7/22	福祉の就職総合フェア2006 in osaka	後援	大阪府、大阪府社福協ほか	大阪府立体育会館
7/23	講演会「忘れかけた心をあなたに」	後援	NPO 法人 Compass Tokyo Japa n	阪急グランドビル会 議室
7/24～8/19	2006福祉ちょっと体験スクール	後援	大阪市社会福祉協議会	大阪市内、自然の家 (奈良県)
7/24～8/19	2006実感ボランティア・夏場所	後援	大阪市社会福祉協議会	大阪市内
8/29～31 9/7～10	「2006夏ナイスハートバザール IN マイカ ル茨木」「2006夏ナイスバザール IN イト ーヨーカドー」	後援	大阪府授産事業振興センター	8/29～マイカルサテ ィ茨木店 9/7～イトーヨーカド ー東大阪店
7/24～28	2006年度子供の城障害児教育夏期連 続講座	後援	子供の城協会	市内公文教育会館 地下ホール
7/24～29	第 27 回子どもたちの賛歌	後援	大阪養護教育諸学校造形教育研究 会	大阪府立現代美術 センター
7/26、27	平成18年度老人介護セミナー(第27回)	後援	大阪府医師会	大阪府医師会看護 専門学校
8/5	第12回すいた共生・平和のつどい 「ええじゃないか平和夏祭り」	後援	すいた共生・平和のつどい実行委 員会	ぷくぷくワールド(吹 田市)
8/17～22	第23回土と水と緑の学校	後援	アジア協会アジア友の会	新宮市高田公民館
8/18～20	自閉症児キャンプ	後援	大阪府青少年活動財団	大阪府立総合青少 年野外活動センター
8/19、9/24	「認知症高齢者へのコミュニケーション技 法セミナー」	後援	NPO 法人・コミュニケアネットワーク	大阪市立総合生涯 学習センター
8/20	第 1 回堺脳損傷研修会	後援	堺脳損傷協会	堺市・堺市民会館・ 小ホール



8/22～25	「2006年度多文化こども交流キャンプ」	後援	関西テレビ青少年育成事業団ほか	国立沖縄青少年交流の家ほか
8/24	第55回近畿児童福祉施設スポーツ大会	後援	近畿児童養護施設協議会	舞州アリーナ
8/25～27	2006年度・吃音親子サマーキャンプ	後援	サマーキャンプ実行委員会、日本吃音臨床研究会	滋賀県立荒神山少年自然の家
8/26～27	ファインふれあいマリンキャンプ	後援	大阪府地域福祉推進財団	和歌山県白崎海岸
9/9～10	第12回社会福祉研究交流集会	後援	第12回社会福祉研究交流集会実行委員会	佛光大学・紫野キャンパス
9/10	第47回大阪手をつなぐ育成会大会	後援	近畿手をつなぐ育成会連絡協議会ほか	大阪府立青少年会館
10/5～11	あみものニットフェア・2006年度	後援	ファッショングループSUMIRE	近鉄百貨店上本町店
10/14～15	くつき・森と里山フォーラム2006	後援	インターフェイス有限責任事業組合	森林公園「くつきの森」やまね館
10/15	第34回全大阪ろうあ者文化祭	後援	大阪聴力障害者協会ほか	大阪市舞洲障害者スポーツセンター
10/22	ファインエアフェスティバル2006	後援	大阪府立障害者交流促進センターほか	大阪府立障害者交流促進センター
10/29	第7回誕生日フェスタ	後援	誕生日ありがとう運動本部	神戸生涯学習支援センター
11/12	桑名正博・チャリティーライブ	後援	病気や事故などによる中途障害者を支援する・らしんばん友の会	豊中市民会館 大ホール
11/12	第30回福祉まつり	後援	第30回福祉まつり実行委員会	総合福祉施設「関目学園」と周辺
11/13～14	第5回「長島愛生園・邑久光明園交流研修会	後援	大阪府社会福祉協議会	岡山県長島愛生園、邑久光明園
11/14	第7回大阪救護施設合同文化事業	後援	大阪救護施設合同文化事業運営委員会	太閤園 (大阪市都島区)
11/16～21	脳卒中者友の会近畿連合会「リハビリ海外旅行・ローマ」	後援	脳卒中者友の会近畿連合会	イタリア・ローマ市内
11/18	第42回肢体不自由児・者を支援するチャリティーバザー	後援	大阪肢体不自由児者父母の会連合会	京橋駅前
11/20～22	第60回記念全国児童養護施設長研究協議会	後援	大阪府社会福祉協議会児童施設部会	大阪国際会議場
11/23	大阪YMCA第12回チャリティーラン2006	後援	大阪YMCAほか	万博公園
11/25	第42回肢体不自由児・者を支援するチャリティーバザー	後援	大阪肢体不自由児者父母の会連合会	府立青少年会館(大阪府中央区)

11/25、26	キャンプワークショップ	後援	大阪府キャンプ協会	長居ユースホテル
11/25、12/2	男性のための看護教室	後援	大同生命厚生事業団	大同生命大阪本社 メモリアルホール
11/27	平成18年度大阪府社会福祉大会	協賛	大阪府社会福祉協議会ほか	NHK大阪ホール(大 阪市中央区)
11/3～12/2	第30回チャリティー画展(日曜画家)	後援	日曜画家協会	マイシティオアシス
12/2	重症心身障害児と補助犬育成支援のた めのチャリティーコンサート	後援	もっと気楽にバリアフリーなコンサ ート事務局	阿倍野区民ホール
12/7	「若さの栄養学」秋の講演会	後援	若さの栄養学協会	大阪産業創造館
12/7～12	第26回「障害のある子どもに学ぶ図工 展」	後援	大阪市小学校教育研究会養護教育 部ほか	大阪市長居障害者 スポーツセンター
12/8	2006年大阪ふれあいキャンペーン	後援	大阪ふれあいキャンペーン実行委 員会	南海難波駅前、JR 大阪駅前、JR京橋 駅前ほか
12/9	第2回堺脳損傷研修会	後援	堺脳損傷協会	堺市民会館 小集会室
12/9～11	第15回明日香青陽窯陶芸教室／アサヒカ ルチャー奈良社外陶芸教室・チャリティーパ ザー	後援	明日香青陽窯陶芸教室、アサヒカ ルチャーセンター奈良	やまと郡山城ホール 展示室
12/6～9	第13回ノーマライゼーション「絵画・創作 展」	後援	ノーマライゼーションクラブ	大阪市立総合生涯 学習センター
1/14	大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う会	後援	大阪知的障害者育成会	KKRホテル大阪
1/8	重症心身障害児施設すくよか・発達障害 療育セミナー	後援	大阪府障害者福祉事業団	SAYAKAホール(大 阪狭山市)
1/13	SWJO ニューイヤーコンサート 神戸 2007 ホープ	後援	SWJO 神戸実行委員会	神戸酒心館ホール
1/18	第24回ふれあいの街・チャリティーパザ ール	後援	大阪府社会福祉協議会	高島屋堺店 (9階催事場)
1/21	第26回みんなで作るコンサート	後援	第26回みんなで作るコンサート実 行委員会	西宮プレラホール
1/29	第2回福祉の就職フェア in Osaka	後援	全国社会福祉協議会ほか	マイドームおおさか3 階展示場
2/1、2	06年度知的障害者地域職業自立啓発 会議(セミナー)	後援	大阪市知的障害者育成会	アピオ大阪 (市立労働会館)
2/4	精神障害と社会を考える啓発事業	後援	「精神障害と社会を考える」啓発事 業実行委員会	中之島中央公会堂
2/8～14	ナイスハートパザール IN マイカル茨木	後援	大阪府社会福祉協議会	マイカルサティール茨 木

2/13	第49回公衆衛生大阪大会	後援	大阪公衆衛生協会ほか	大阪病院年金会館
2/17	「筆子・その愛」池田上映	後援	「筆子・その愛」池田上映実行委員会	池田市民文化会館 アゼリアホール
2/17、18	チャリティエイドOSAKA 2006	後援	西日本電信電話株式会社	クリスタ長堀 水時計広場
2/24	第17回「春をよぶみんなのコンサート」	後援	春をよぶみんなのコンサート実行委員会	門真市民文化会館 ルミエールホール
2/24	素のままフェスタ2007	後援	フェスタ2007実行委員会	豊中市ローズ文化ホール
2/25	就労問題を考える府民のつどい	後援	大阪難病連	アピオ大阪
3/2～4	平成18年度大阪府障害者スキー教室	後援	大阪府障害者スポーツ振興協会ほか	ハチ高原スキー場
3/5～3/8	第22回肢体不自由児者の作品展	後援	大阪府肢体不自由者協会ほか	大阪国際交流センター
3/8～13	シニアのためのハワイツアー	後援	大阪 YMCA	米国・ハワイ州
3/18	劇団「ひっぽ」ワークショップ	後援	劇団「ひっぽ」	神戸市立 生田文化会館
3/24	「障がい者自立支援フォーラム2007 ～障がい者・支援者ともに出合いの場を」	後援	大阪府行政書士会	大阪産業創造館
3/25	講演会「忘れかけた心をあなたに」	後援	NPO 法人・Compass Tokyo Japan	毎日新聞社 オーバルホール
<b>西部事務所</b>				
5/3～4	第44回チャリティー大茶会	後援	茶道裏千家淡交会北九州支部	小倉井筒屋パステルホール
5/21	第44回北九州市障害者スポーツ大会	後援	北九州市、北九州市障害者スポーツ協会ほか	本城陸上競技場ほか計3会場
数回	チャリティーカラオケ発表会	後援	西日本カラオケ連合会、藤由会ほか	北九州市内ほか
6/3	第24回北九州精神障害者家族会連合会総会	後援	北九州精神障害者家族会連合会	ウェルとばた
7/21～24	第27回脳性マヒ児のための母親研修キャンプ	後援	福岡あゆみの会	やすらぎ荘
8/6～9	第51回在宅肢体不自由児海の療育キャンプ	共催	福岡県、福岡県肢体不自由児協会	福岡県立少年自然の家 「玄海の家」
9/7	第1回北九州市精神障害者バレーボール大会	後援	北九州市精神障害者スポーツ協会	北九州市障害者スポーツセンター

9/9	第6回交流キャンプ	協力	ごろりんハウスキャンプ実行委員会	ふれあいの里北筑後
9/10～11	第21回ふれ愛のドライブ旅行	後援	北九州市身体障害者福祉協会 自動車部会	山口県湯本温泉(湯本観光ホテル西京)
9/17	平成18年度 母子・父子家庭、寡婦ふれあい体育祭	協力	北九州市、北九州市母子寡婦福祉会	北九州市立総合体育館
11/5	第17回全国ふうせんバレーボール大会	後援	北九州市、日本ふうせんバレーボール協会ほか	北九州市立総合体育館
11/10 12/10	第54回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	福岡県肢体不自由児協会ほか	福岡市など福岡県内主要都市にて
11/23	秋だ！スポーツだ！みんな集まれ！2006大運動会	後援	北九州市聴覚障害者協会ほか	穴生ドーム
12/10	第9回北九州市手話フェスティバル	後援	北九州市聴覚障害者協会ほか	北九州芸術劇場大ホール
1/7～8	第19回BOSSチャリティーテニストーナメント	後援	国際スポーツ振興	九州国際テニスクラブ
2/2～6	第25回肢体不自由児・者の美術展	後援	福岡県肢体不自由児協会ほか	小倉井筒屋本館8階
<b>名古屋事務所</b>				
4/30	第17回ナゴヤチャリティーマラソンフェスティバル	後援	名城オールランナーズクラブ	庄内緑地公園(名古屋市)
5/11他	第3回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市瑞穂公園野球場ほか
5/14	講演会「思春期に視点を当てて」	後援	子どものためのあいちAAC研究所	ウィルあいち(名古屋市)
5/14他	平成18年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会	安城市体育館ほか
5/19他	第9回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2006	後援	名古屋国際見本市委員会	ポートメッセなごや(名古屋市)
6/18他	平成18年度自閉症・児のための支援セミナー	後援	日本自閉症協会愛知県支部	朝日ホールほか
6/24、25	第17回東海聴覚障害者体育大会	後援	東海聴覚障害者連盟	一宮市木曾川体育館ほか
7/9	第23回愛知県聴覚障害者大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	岡崎市民会館
7/20他	第23回福祉施設絵画展	後援	名古屋市、市児童養護連絡協議会	児童福祉センター(名古屋市)ほか
7/25～7/30	第35回聴美会	後援	中部聴力障害者美術同好会	名古屋市市民ギャラリー
8/17～23	第21回三重県心理リハビリテーション連合認定キャンプ	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿センター



8/23～8/28	第34回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	愛知県老人保養ホーム永和荘
9/18	「市民フォーラム～ありがとう！いのちの贈りもの」	後援	NPO法人日本移植者協議会	朝日ホール
9/10	国際アスペルガー一年記念セミナー名古屋会場	後援	NPO法人アスペ・エルデの会	名古屋市総合福祉会館
9月他	第58回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会	愛知県内
10/7	生き生き長寿フェア2006	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園 (大大府市)
9/10	第51回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市公会堂
9/10～12/10	第54回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県青い鳥医療福祉センター
10/21	子育て支援のための愛知県助産師会公開シンポジウム	後援	愛知県助産師会	朝日ホール
9/23	第30回愛のフェスティバル	後援	名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉会館
10/28	研修会「私たちの地元はどうなるの？」	後援	全国精神障害者地域生活支援協議会	朝日ホール
10/24	第54回愛知県社会福祉大会	後援	愛知県社会福祉協議会	愛知県体育館
11/18	第34回三重県医療講演会	共催	三重県重症心身障害児(者)を守る会	四日市市総合会館
12/3	第46回愛知県身体障害者福祉大会	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合	豊川市文化会館
12/5～12/10	第41回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、市身体障害者福祉連合会	名古屋市民ギャラリー矢田
12/17	知聴協再建33周年記念企画	後援	知多地区聴覚障害者協議会	アイプラザ (半田市)
1/20	映画「心の杖として鏡として」上映と講演会	後援	名古屋市精神障害者家族会連合会	名古屋市天白文化小劇場
2/18	第5回聴覚障害者の集いと第29回名古屋市手話祭	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	ウィルあいち (名古屋市)
3/4	第25回耳の日記念 聴覚障害者と県民の集い」	後援	愛知県聴覚障害者協会	津島市文化会館

# チャリティー美術展に出展いただいた皆様

(敬称略、順不同)

## 【日本画】

【あ行】相嶋崇人、相羽ユキ、青田賢蔵、青沼朱美、青野健、赤井春水、赤沢嘉則、赤羽根一司、穂月明、秋本幸一、浅野忠、浅野ヒデ、足利満雄、小豆澤禮、小豆島良耳、安達英志郎、阿部一雅、天野耕造、荒井孝、荒井美智、荒木孤人、荒木靖子、有賀明文、有馬柏鳳、安斎義郎、安藤心象、安藤徹、安藤康行、飯尾剛史、飯田小夜子、飯沼英忠、池田薙仔、池田正明、池田眞澄、石踊紘一、石踊達哉、石川節人、石崎昭三、石田幸誠、石田武、石塚青篁、石永皓一郎、石原拓雄、石本俊一、板垣青仁、板谷澄子、市川保道、市野鷹生、市野晴美、市橋豊美、伊藤嘉晃、伊藤香城、伊藤紫虹、伊藤タカ子、伊藤紘、伊藤保、伊藤獨、伊藤はるみ、伊藤光男、伊藤三春、伊東美巳、伊藤元子、伊藤由純、稲熊万栄、稲元実、井上明敏、井上憲齋、井上清治、INOUE 青煌、井上耐子、井上北斗、井上洋子、猪熊佳子、今井佳寿女、今井珠泉、今井武久、磐城佳子、岩崎巴人、岩崎美代子、岩田三枝、岩波昭彦、岩原良仁、岩本富雄、岩本峯斉、植田清子、上原桂子、上村淳之、上村典子、鶴飼千佐子、臼井治、薄波靖子、内田広己、内田政美、内山尚己、烏頭尾精、宇野正二、梅岡徳子、梅津道雄、浦上義昭、江川敦志、江川照美、江口佳寿子、江尻治泰、榎本光甫、蝦名芳枝、江本克己、遠藤隆稔、王荻地、大河内久男、大嶋英子、太田圭、大竹紫水、太田小晴、大塚和、大塚千聡、大月紅石、大野廣子、大野幹彦、大橋治郎、大森運夫、大森幹雄、大矢時保、大矢十四彦、大矢紀、大山鎮、大山忠作、大矢眞弓、岡川晴美、岡田郁子、岡田有功、岡信孝、岡本彩湖、岡本巴、小川国亜起、小川啓文、小川瞳、奥村千鶴、奥村美佳、長永富雄、落合青光、落合初美、故・越智和心、折式田生子

【か行】影浦鉄州、檜下稔、春日あけみ、片柳勁、片山宏、加知満、勝田幸男、桂田京司、嘉藤大峻、加藤哲男、加藤眞恵、加藤美恵子、加藤美代三、加藤佳子、角田梅光、金子輝彦、兼島聖司、加納芳枝、神内生光、亀山秀景、加門俊二、嘉門町子、川合和子、河合重政、河合佳郎、川北一雄、川越篁治、川崎マリ子、川島睦郎、川島木清、河津胖子、河部樹誠、川辺隆啓、河村沙希、河本正、神林采希、神林久子、菊川三織子、菊池治子、岸野圭作、岸本篤子、北島次代、北原雅眉瑠、北原龍太郎、喜多均、北村一二三、清永弥生、北山義浩、木村恵子、木村友彦、木村光宏、金泰伸、金原保則、楠暁子、工藤甲人、久野千代子、久芳道信、久保吉郎、久保朱美子、久保見幸夫、久保嶺爾、倉田立美、倉田富美、倉地千枝子、黒澤正治、黒沢吉蔵、黒田年子、黒光茂明、小池みさ子、小泉淳作、郷倉和子、香西坦子、香野ルミ子、小金井絢子、國分敬子、国府克、小島光径、小寺礼三、後藤紳也、後藤普、後藤純男、後藤葦、後藤芳世、粉川洛木、小林東雲、小林濟、小林六博、小林裕子、小俣英之助、小谷津雅美、近藤ミヤ

【さ行】齋藤陽、斎藤和、斎藤宗、榊原尚子、坂倉由一、坂本綾子、坂元洋介、佐久間頭一、櫻井拙朋、櫻井基晴、笹川和也、佐々木経二、佐々木裕而、笹本正明、佐治満澄、佐藤勝彦、佐藤晨、佐藤孝義、佐藤直子、佐藤啓美、佐藤叔、佐藤良助、里見顕伸、猿橋幸治、澤田季未子、沢戸和子、澤山輝彦、潮見冲天、品川成明、篠崎美保子、芝龍郎、澁澤卿、島田隆司、島田智博、清水史郎、清水達三、志村正、下川辰彦、下川立夏、下島洋貫、下田義寛、霜鳥忍、白石美枝子、真浄光葉、陣内一土、菅墨水、菅谷伏瑳子、杉谷彩光、杉山華仙、杉山律夫、鈴木彰、鈴木溪舟、鈴木竹柏、鈴木夏江、鈴木至夫、鈴木美津子、鈴木喜家、須田絢子、周藤美穂、関根将雄、千住博、染谷聡之、楚里清

【た行】田井久江、高岡秀造、高木白雲、高木元子、高木良子、高越甚、高橋新三郎、高橋裕子、汰伽波志喜魚、高畑郁子、瀧沢巨森、田口愛子、田口専山人、竹内胤勝、武田州左、竹田隆、武田三義、竹中幸生、竹中白梅、竹村敏、田島奈須美、田島初男、多治見早苗、田代邦子、田中重造、田中竣、田中瑞芳、田中智恵子、田中照子、田中基美、棚橋文子、田辺ノブ子、谷口蕙香、谷口なほみ、田宮栄子、田村仁美、多和田清美、千村俊二、月居和子、月村恵紅、辻本有二郎、津田勉、土屋雅裕、筒井耀也美、角田範子、露木恵子、樋田洋子、東条光顕、堂野夢酔、堂本阿岐羅、堂本元次、遠山幸男、徳川和美、戸田英二、戸田みどり、殿南直也、富田国峰、富永一昌、友松昭子、鳥山武弘

【な行】内藤華岳、永井繁男、永井正御、中尾一郎、中岡友子、中川脩、長崎莫人、中澤静、中島潔、中島千波、中篤虎威、永田耕治、永田実子、中谷温男、中庭隆晴、中野貴雄、中野嘉之、仲林敏次、中村雅雲、中村壽、中村宗弘、永森一郎、永森信一郎、那波多目功一、成田環、新堀栄介、新堀作子、新美葉子、仁木寿美子、西冲清琳、西澤知江子、西田明峰、西村勝廣、西村光人、西村真紀、西山英子、西脇繁華、沼本三郎、野方翠芳、野原真澄

【は行】長谷川郁子、長谷川保枝、服部倫子、服部誠子、服部守弘、羽瀧尚、浜上俊和、濱田昇児、濱田松陽、浜田泰介、早川裕子、林幸子、林孝彦、林田啓江、林武吉、林千代子、林芳辰、林正明、林美枝子、原武子、原田巧、稗田一穂、日置宏輔、日景博、樋口鎮吉、日比野光雄、平岩洋彦、平尾秀明、平澤誠幸、平田桜堂、平田春潮、平山郁夫、廣石碩田、弘永きぬえ、福井時子、福王寺一彦、福島實、藤井康夫、藤沢古葉、藤谷和春、伏見実郎、藤本久美、藤原重夫、藤原志保、藤原早子、二川和之、二村洵光、太尾芳生、紅山幸水、星尾正治、堀江春美、堀川えい子、堀越保二、本間正英

【ま行】前川恵一、前田幹雄、前本利彦、馬驍、榊田靖夫、馬瀬里子、間瀬武、町田泰宣、松生歩、松尾敏男、松尾浩子、松倉茂比古、松崎良太、松下和代、松下勝正、松下宣廉、松下園江、松永明雄、松葉蘇山、松原秀伸、松室加世子、松本啓、松本進、松本哲男、松本実、的場弘司、真野尚文、丸尾玉琳、丸尾久子、三浦絵衣子、三上俊樹、三沢英伍、水江東穹、水澤弘恵、水谷勝子、水野收、水野一昭、水野本光、三谷青子、三井桜秀、満田竹水、皆川千恵子、南義信、箕田圭白、箕輪翠香、三村伸絵、三宅美代子、三宅和光、宮下壽紀、宮田記朱、宮郷敦子、宮本幹太、宮本脩子、宮本和胡、三輪晃久、三輪昭、村井玉峰、村井葉子、村田花陽、村田晴彦、村田林藏、村中秀男、本橋富夫、桃野夢子、森岡和子、森島扶美子、森田幸子、森英明

【や行】矢澤貞子、安川綾、安川眞慈、安田育代、安田外喜子、安永省三、谷中武彦、柳績、山木繁蔵、山木戸采香、山口溪華、山口広峰、山口豊泉、山口義明、山下まゆみ、山田伸、山本恭子、山本静香、山本しず子、山本真一、山本真也、結城天童、油野由美子、横山萬里、吉岡三樹子、吉田悦朗、吉田祥子、吉田多最、吉田昌代、吉永さと子、吉村年代、吉家研二、依田有立、四田淳三

【わ行】若林碩南、和田洸珀、渡辺章雄、渡邊英子、渡辺修渡舟、渡邊幸子、渡辺富栄、渡邊美喜

## 【洋画・版画】

【あ行】鬚嘔、相川昭二、相田一夫、饗庭昌貞、相原吉夫、青江健二、青木一美、青木義照、青木三郎、青木昶沙枝、青木美知枝、青木洋子、青沼茜雲、赤井良子、赤穴宏、秋田谷愛子、秋富浩蔵、秋元幸茂、秋吉みすず、阿久津正志、明吉美智子、浅井清貴、浅井欣哉、浅井光男、浅井義弘、浅賀昌子、麻田博子、浅野昇三、浅野修、浅野輝一、浅野由紀子、安食慎太郎、芦田喜代恵、遊馬賢一、東直樹、東弘孝、麻生征子、足立一夫、安達茂人、安達康夫、足立亮一、渥美静子、阿南英行、阿部盛有、阿部直昭、阿部信行、阿部晴美、安部英夫、天川冴子、天津恵、天野和夫、あまのしげ、天野吉則、雨森陽子、綾部好男、新井苑子、新井康須雄、荒木泰、有田暁子、有田守成、有村隆雄、有吉明子、安藤公一、安東菜々、飯泉幸子、飯星正幸、飯盛康子、家田聖子、家田非左子、五百住乙人、猪飼淳、井狩好、池上壮豊、池田礼子、池田定巳、池田清明、池田龍雄、池田洋子、池間英治、池本長蔵、池山阿有、恵俊彦、井阪仁、井澤幸三、石井敏之、石川幸子、石川すみ、石川世始子、石倉豊、石黒秀治、石阪春生、石澤久夫、石田聖子、石田隆、石田礼子、石根三千代、石野容三、石橋武夫、石原章吾、石原ミチオ、泉地靖雄、泉富美、居関金一、居関光雄、伊勢谷圭、磯部徹男、故・井田照一、板垣千鶴子、板倉美智子、井田繁、伊丹重男、市尾哲、市川光雄、市古肅亮、市村一、井手典子、出村幸代、伊藤郁、伊藤岳、伊藤和義、伊藤清和、伊藤修一、伊藤順子、伊藤純子、伊藤昭蔵、伊藤隆、伊藤高義、伊藤利彦、伊藤秀男、伊東博子、伊藤宏、伊藤弘之、伊藤文男、伊藤万几子、井堂雅夫、伊藤康夫、糸田玲子、稲垣朱実、稲垣考二、稲垣龍雄、稲垣敏彦、稲垣宥、稲富康男、稲葉桂、稲嶺成祚、井上勇、井上勝江、井上圭史、井上憲一、井上慎介、井上利哉、井上礼子、猪口公子、井口由多可、伊庭新太郎、井藤雅博、今獅々貴美子、今永安雄、今村昭寛、入江一子、入江観、岩池和代、岩井紀子、岩切岑泰、岩崎雄造、岩島周一、岩瀬郁夫、岩田明生、岩田視司、岩田茂、岩田司、岩田哲夫、岩田知幸、岩谷康世、岩永敬三、岩野正隆、岩原須佐子、岩淵晃三、岩本かづえ、岩本忠利、イ・ワヤン・シーラ、鶴居町子、上垣和子、植木

美代子、上木伸之、上葛明広、上嶋スミコ、上島秀明、上尚司、上住寿夫、植田彰子、上田彩加、上田毅八郎、上田敏和、上田肇、上田春雄、うえだひろし、上田ますみ、植月正紀、上野憲一、上野千代子、上野理男、上村光夫、浮城智恵子、鶴沢敏子、臼井恵之輔、碓井たか子、薄久保友司、宇高龍、宇田川宣人、宇田喜久子、内田如風、内田浩子、打田幸男、内海柳子、宇野亜喜良、宇野義行、生方純一、梅木英治、梅村孝之、梅村徹、梅本幹雄、浦上栄一、浦川彰子、浦田周社、浦野和穂、栄永大治良、江上寿夫、江口孝、江崎邦夫、江添栄一郎、榎本多恵子、江袋かや、江本繪門、江本佳寿子、えもときよひこ、遠藤健之助、遠藤晴夫、王前一馬、大石つね子、大江孝、大岡立、大柿了一、大川浩市、大口邦子、大熊峻、大隈武夫、大澤一佐志、大島辰子、大島幸夫、大谷哲生、太田久、大津英敏、大塚敏雄、大附晋、大津鎮雄、大歳克衛、大西生余子、大西弘之、大野孝泰、大野昌之、大場再生、大橋光夫、大場博、太平洋、大淵繁樹、大森重夫、大森良三、大山富夫、大矢良治、岡崎紀、岡崎紀子、岡貞徳、岡田俊一、岡田徹、岡田久春、岡田全良、岡千秋、岡泊水、岡村敦子、岡本正尹、岡本キクエ、岡本尚子、岡本竜之、小川恒雄、小川清子、小川馨生、小川幸紅、小川周二、小川博史、小川盛雄、沖田幸和、沖田廉平、沖中勝則、奥田喜一、奥田きく子、奥谷博、奥谷全弘、奥田みえこ、小口滋郎、小口卓也、奥村憲、奥村聰臣、奥山義人、奥山普、尾崎功、尾崎淳子、尾崎ゆき子、尾崎斎晃、尾崎良二、長田昇、納健、尾澤達也、小沢眞弓、尾島守、小関通、小田島えい子、織田廣喜、織田義郎、越智節昇、越智雄二、乙丸哲延、尾中真理、小野仁良、小野寺節子、小野知久、小原キク、小原稔、尾松直、面矢元子、折橋杉郎、折本美祢子、園城寺建治、恩田秋夫

【か行】開田風童、垣見久子、景山憲、影山捷司、加古千恵子、笠井誠一、梶浦寿布、柏岡惠理、梶島基嗣、梶田達二、梶原章、加生幸彦、春日井正、糟野勝美、糟谷清子、粕谷良雄、加瀬友一、片倉季未江、片山昭弘、片山治之、片山弘明、加藤勲、加藤聡、加藤助八、加藤精子、加藤大博、加藤武夫、加藤哲英、加藤十三郎、加藤トオル、加藤信子、加藤日出男、加藤ヒロ子、加藤正明、加藤茂外次、加藤吉春、加藤美彦、門脇正弘、金子貞子、金子玲子、金光昭明、加納光於、壁下孝、神内五十鈴、上所幹彦、上田保隆、神谷幸子、神谷正海、加茂紘、辛島一誓、加覧裕子、河井一郎、川井一義、川合みち子、川口輝夫、川島かつ子、川島幸子、川澄正一、河内成幸、川浪保、川波義和、河西昭治、河西忠雄、川西祐三郎、河野宗之蒸、川野裕一郎、川原比瑛子、河辺一周、川辺忠孝、川雅吉、河村雅文、河村憲一、河村斗世子、川村浩章、神野立生、神戸文子、木浦寛治、菊池郁子、菊地正男、菊地洋二、喜澤のり子、岸田淳平、岸田夏子、岸野昭、岸浩、木嶋ちさ加、貴嶋ユミ、喜田川昌之、木谷利江、北野隆祥、北原悌二郎、北見隆、北村尚久、木田安彦、北山茂、北山達哉、橋田政明、木寺淳二、鬼頭恭子、鬼頭輝三、城所祥、城戸義郎、木下實之、木下広唯、樹林雅生、木原寿夫、木原晴夫、木村桂子、木村茂、木村静雄、木村信之、木村秀夫、木村秀樹、木村正、木村正志、木村優博、木本牧子、清田雄司、木脇康一、金月しょう子、日下賢二、日下里美、日下直樹、日下部寛、草壁隆、草野直己、葛迫幸平、楠崇子、くすもとかずこ、楠本孝、久世紘、久世瑠璃、杏名華智、工藤孝生、國安珣子、久保孝雄、久保田政子、久保輝秋、熊谷吾良、熊谷睦子、雲居立雄、倉田政子、蔵野美佐子、倉持正、倉本勝博、栗田政勝、栗原喜依子、栗牧慶次、栗山直子、車戸美智子、黒川彰夫、黒川祐企憲、黒木郁朝、黒木邦彦、黒木トシ子、黒木宏、黒木良典、黒沢信男、黒田秀方、黒田富紀子、黒田勝、黒田満里子、黒田保臣、黒柳弘行、桑島春彦、桑田謹次、小池かよ、小石豊蔵、小泉喜代次、小泉正彦、小泉元生、小泉守邦、上坂善彦、甲谷武、河野穰而、河野由起子、河本和子、郡桂子、古賀章、古賀猛、小暮真望、小阪謙造、小阪弘子、小崎侃、小島敬三郎、小島直子、五島まさを、小島遊之、小菅康愛、小瀬垣宏郎、後藤昭夫、後藤精弥、小浪春枝、小西治男、小早川協右、小林昭子、小林恵子、小林敬子、小林修一郎、小林千枝、小林政嗣、小林雅英、小林満夫、小林八重子、小林裕児、小林義司、米谷政敏、小柳晟、小柳幸代、小柳吉次、小山成、古山保夫、近藤昭彦、権藤信隆、近藤義行

【さ行】犀川愛子、斎藤吾朗、斎藤薫代、斎藤孝弘、斎藤千川子、斎藤徳次、斎藤秀夫、斎藤光子、斎藤由比、サイトウ良、佐伯喜三郎、佐伯浩、酒井章帆、酒井英利、坂口典孝、坂口寛夫、坂口文夫、坂谷和夫、坂爪厚生、坂中功一郎、酒見綾子、阪本基義、坂本唯市、坂本直、坂本よしこ、さきやあきら、佐久間あき子、佐久間捷人、佐久間努、佐久間嘉明、佐久間義江、桜井寛、桜井貞夫、桜井陽彦、桜川洋子、佐光亜紀子、笹英子、佐々木馨、佐崎紘一、佐々木貞夫、佐々木澄江、佐々木多美枝、佐々木友幸、佐々謙二、佐竹稔、佐藤潤、佐藤一成、佐藤勝信、佐藤カツヤ、佐藤華余子、佐藤

忠彦、佐藤富美子、佐藤良紀、佐藤義光、佐野千津子、佐野比呂志、佐野稔、猿渡士郎、澤井あさみ、澤辺茂男、澤山和民、塩飽和子、塩川佑子、塩田みはる、塩野谷洋子、塩見正、志賀源吾、鹿野富子、史煌、静健子、七里和子、品川工、志野和男、篠崎和子、柴田昭、芝田キク、柴田賢治郎、芝田耕、柴田美智子、柴田祐司、芝教純、柴原雪、柴宮忠徳、柴山静穂、芝芳雄、渋谷由紀子、島泉、嶋谷卓之、嶋谷美鈴、島州一、志摩じゅん、嶋田明子、島田鮎子、島田加寿子、島田安雄、嶋津俊則、嶋貫佑一、島橋宗文、島實、島村恵子、清水敬由、清水亟働、清水新也、清水鐵夫、清水鉄彌、清水正教、清水佳子、下井修二、下川とよ子、下世古悦子、下園由莉、下田正次、下田悌三郎、下谷二助、下田弘紀、庄司栄吉、正田壤、白石輝明、白石道夫、白井史朗、白井文江、白川順子、白坂介明、白崎明、白鳥三郎、白山扶士子、新宅光男、新富正弘、水藤澄子、菅孝、菅谷吉雄、菅沼鉄王、菅沼正則、菅原洸人、杉浦温子、杉浦鐸夫、杉浦晴美、杉浦ふみ、杉浦正美、杉田明維子、杉田英雄、杉野立一、杉村勇、杉村美文、杉本澄男、杉山重雄、杉山英子、杉山元次、鈴木慧子、鈴木貞子、鈴木隆俊、鈴木田俊二、鈴木奈緒、鈴木延雄、鈴木廣、鈴木福男、鈴木政輝、鈴木幹夫、鈴木睦美、鈴木幸雄、須田敏夫、須藤愛子、鷺見康夫、住永篤子、角谷清和、諏訪部陽甫、瀬尾克己、瀬川昌宏、関綾子、関口貴美、関口静子、関拓司、関本弘三郎、世古剛、瀬古正勝、銭谷誠、世良臣絵、芹生芳郎、世利徹郎、左右木商博、相馬貞夫、添田定夫、園田真理子、園山幹生、祖父江弘幸

【た行】太佐寿一郎、大門正忠、田浦信勝、高井道夫、高浦雅子、高木政彦、高沢正利、高田保雄、高野恭子、高橋脩、高橋一正、高橋一善、高橋重吉、高橋達男、高羽清司、高原智子、高部多恵子、高松健太郎、高松政子、高森明、高柳裕、多賀谷無人、高山晃、高山みどり、高谷洋一、田川知子、滝沢直次、滝滋、瀧秀水、瀧田依子、宅田忠正、田口貴久、田口正子、田口雅巳、竹内重行、竹生節男、竹下國雄、竹中喬子、竹中稔量、竹村和夫、竹村忠一郎、竹村克男、竹山敏子、田籠篁、田坂長子、田坂ゆたか、田崎末満、田澤茂、田島征彦、多田すみえ、多田晴義、立木昭男、立花淳一、立花たから、辰将成、館内美智子、楯岡和子、田所満雄、田中敏夫、田中ひとえ、田中宗雄、田中喜一、田中芳照、田中良、田中良平、田中令子、田辺新吾、谷川泰宏、谷口和正、谷健太郎、谷田穎郎、谷本暁雄、谷本ためひろ、田伏勉、玉井久美子、玉置昇、タマガワ千恵、玉木英治、玉谷明美、玉谷優、玉山昌克、田村純悠、田村富美子、田村正美、田村正幸、田屋幸男、俵山庸作、丹阿弥丹波子、地井紅雲、知久正義、知念正文、千原稔、地引恭子、茶畑和也、中條壽巳、通天・櫻井洋美、塚田清、塚田讓、塚原ヨリ子、塚本英一、塚本吉廣、津川純子、築地進、辻憲、辻公紀、辻親造、辻司、津田勝利、土嶋敏男、筒井政子、都築頭、堤慶、角田元美、壺井進二、坪井孟幸、坪田政彦、坪山由起、津留崎晴男、鶴田新平、鶴田政一、鶴房健蔵、鶴見雅夫、鶴山好一、手塚静雲、寺井徹、寺井壽一、寺沢清司、寺沢順子、寺沢拓也、寺司勝次郎、寺田勝彦、寺西進三郎、寺本勉、土井邦晃、東方達志、遠山源吾、戸狩公久、外川攻、故・鶴田幹、徳田多智子、徳永考衝、徳増学、戸高明義、外処旭、土味川楡奈、富澤尚美、富田利雄、富田文雄、富張広司、富安昌也、友成晴雄、登山悦子、豊永為利、鳥越加代子

【な行】中井一誠、長井功、永井忠雄、永井ひろし、長井宏之、長尾和、中神英臣、中川正博、中桐康夫、長澤すみ江、長澤卓重、中沢知房、中嶋国博、中島大三、中島千恵、中島裕司、中嶋美瑛子、中島光幸、中島由夫、永澄幸子、中田順子、中谷健三、長富博子、中西文彦、中西良招、中根寛、中根正治、中野治朗、なかのよういち、長濱伶子、中林忠良、仲俣昭吾、永見明良、中村郁夫、中村英、中村一雄、中村一人、中村吉伽、中村啓子、中村剛、中村晃子、中村輝行、中村博、中村光幸、中村百合、中村陽一、長森聰、仲安銀蔵、中山三郎、中山正、中吉照雄、名坂有子、名嶋憲児、那須野栄、那須日都夫、七原正勝、生井京子、並木スバル、榎崎重視、榎原秀樹、成田禎介、成田真澄、成瀬光男、難波忍、西井義晃、西井宏、西尾成之、西貝和子、西川篤、西嶋俊親、西田藤三郎、西田亨、西塚芳子、西野一郎、西野嘉齋、西埜幸治郎、西部弘子、西村壽郎、西村純子、西村富彌、西村美代子、西山徹、西山久生、新田由紀子、二村裕子、丹羽和子、貫名獅郎、抜井亀良、塗師祥一郎、沼尾雅代、沼末男、納富国郎、根岸英、野口忠行、野久保由美子、野沢春子、野田哲也、野田富三郎、野田好子、能仲ヤツヲ、野見山暁治、野村亜紀子、野村京子、乃村豊和、乗兼広人

【は行】萩原和子、萩原栄文、橋本忠夫、橋本美智子、長谷岩友、長谷川和子、長谷川貞夫、長谷川純、長谷川正義、長谷川忠廣、長谷川仂、長谷川平男、長谷川正子、長谷川安信、長谷謙三、畑中孝喜、服部讓司、馬場一郎、馬場重臣、



浜口大蔵、浜口美和、濱田進、浜田知明、濱田弘康、濱哲郎、濱本恵一、浜本幸男、早川栄子、早川義孝、早川勝、林家隆、林健造、林孝三、林茂樹、林静一、林壽男、林寛志、林正子、原省象、原田彰夫、原田和泉、原田克己、原田泰治、原田たかし、原田到留、原田幸夫、原田嘉徳、原三佳恵、半澤満、東浦好洋、日賀野兼一、樋口貞男、樋口洋、日高昭二、兵藤和男、兵藤寛司、平井美恵子、平磯彰、平井智子、平井弘之、平岩郁郎、平尾倫子、平川富貴子、平沢文一、平田逸治、平田達也、平野昭子、平野哲夫、平野洋吉、廣岡清武、広瀬範、広瀬通秀、広田和典、広田雅久、廣津龍伍、深津静男、福井ひろみ、福家省造、福岡幸子、福岡通男、福田兼松、福田恭子、福田繁雄、福田牧子、福田陽子、福田好克、福永紀子、福原満江、福満よさ美、福本圭叡子、福本まさ子、福山紀美子、藤井軍三郎、藤井多鶴子、藤井勉、藤井泰治、藤井祐二、藤崎恒頼、藤田慶次、故・藤田西洋、藤谷進、藤田豊、藤浪成喜、藤村サツ子、藤村弘子、藤本正男、藤森兼明、藤森悠二、藤原慶子、二見彰一、武藤初雄、舩坂芳助、船本清司、冬島大二郎、プライアン・ウィリアムズ、古川恂、古川タク、古川治和、古川秀昭、古野紀征、古畑久文、降矢組人、別府忠雄、帆足ゆり、保ヶ渕静彦、星功、保科浩一、星野美智子、細川進、細田洋子、細谷久美子、堀田昭爾、堀井聰、堀内幸豊、堀江優、堀江良一、堀尾一郎、堀太郎、堀千寿子、堀博喜、本多しず子、本田絃代、本多正勝、本田義夫

【ま行】前川寿々子、前島隆宇、前田樹男、榎利光、牧野美代子、まきのやよい、榎原慶喜、卷山昌宏、正木茂、榎木高、真砂貞二、正本嘉、マサル・W、間下弘、増井清、増田栄子、増田陽一、町田譽曾彦、松井茂樹、松井叔生、松井三希央、松井由紀子、松浦正博、松浦安弘、松尾隆司、松尾猛省、松樹路人、松崎道子、松澤茂雄、松島順子、松島弘、松代光正、松田貴美子、松田圭人、松田昭八、松田澄夫、松田魏、松谷慶子、松田登、松永諄子、松永知久、松野行、松野俊雄、松橋功雄、松原政祐、松原美代子、松村和紀、松村光秀、松室重親、松本昭彦、松本旻、松本茂樹、松本次郎、松本年晃、松本遥江、松本明也、松家昌、間中敏子、真野岩夫、馬淵鈴美、間宮末子、真弓俊郎、丸田隆則、丸畑豊、丸山勝三、丸山今朝三、三浦勝治、三浦恒祺、三浦敏和、三浦史麿、三浦勉、三木辰夫、三木義尚、三雲希志子、水谷綾子、ミズテツオ、水野伊津子、水野澄子、水野照子、水野尚、水野一、水野春子、水野保雄、水村喜一郎、溝渕泰史、三谷祐幸、南純、南幸男、源尊磨、三柘明子、三村精志郎、宮川洋一、宮木薫、三宅四郎、宮崎淳、宮崎進、宮崎浩行、宮下直子、宮下実、宮田翁輔、宮田三郎、宮田昌則、三藪邦彦、宮本弘子、宮本裕之、宮下由夫、宮山博司、三好準治、三吉雅、三輪修、向井梅逸、向山僚一、武藤正美、村井君子、村井成好、村井洋子、村岡顕美、村上新一郎、村上秀樹、村上峯子、村瀬京平、村瀬利弘、村田伊佐夫、村山孝夫、村山容子、村山弘、村山陽、毛利弘子、元永定正、本橋雅美、百瀬貞子、森康次、森勇、森一郎、森岡完介、森公司、森茂子、森下ヒロ子、森島勇、森真吾、森田昭雄、森田眞、森田正孝、森田幸宏、森長武雄、森文男、森本計一、森本有一、守谷好美、門前由弘

【や行】八尾紀美子、八木時子、八木穂、八島正明、安井寿磨子、安井正子、安居素子、保田治、安富信也、安福葉子、弥富節子、柳沢健、柳瀬俊泰、矢野喜久男、矢萩武三志、八尋隆徳、矢部聡、山内滋夫、山尾才、山形佳代子、山岸用之介、山口剛生、山口幸平、山口精之助、山口隆夫、山口孝雄、山口ひろみ、山口美佐子、山崎昭男、山崎清子、故・山崎博、山崎幹雄、山下啓介、山下恒子、山下毅、山下弘喜、山下弘文、山下幸夫、山田嘉一郎、山田彊一、山田恭子、山田琴子、山田幸見、山田茂樹、山田正二、山田精一、山田宗輔、山田典男、山田享、山田倫子、山田博司、山田嘉彦、山寺重子、山根須磨子、山之内弘、山本亞稀、やまもと悦子、山本恵美、山本虎雄、山本文彦、山本正英、山本光生、矢柳剛、行元昭子、湯谷厚、横井三郎、横内襄、横尾茂、横地洋司、横山和男、横山皓一、横山申生、横山敏明、横山良美、横山了平、吉井爽子、吉池弘安、吉岡伎世子、吉岡一、吉岡治美、吉川サキ子、吉城弘、吉坂みよし、吉田緑、吉田清光、吉田淳一、吉田照男、吉田敏男、吉田正樹、吉田光彦、好永良子、吉野清、吉松八重樹、吉村美令由、吉村安子、吉本満雄、芳山貞子、代情房子、四本祐司、よでん圭子、米倉正弘、米倉泰民、米澤俊、米田整弘、米満大九郎、米山秀雄、了正聖宝

【わ行】若尾真一郎、若杉不死身、脇幹夫、わたせせいぞう、渡辺明、渡辺一夫、渡辺祥行、渡辺卓美、渡辺達正、渡邊てるお、渡辺とめ、渡邊弘、渡辺正夫、渡邊妙法、渡辺幸男、渡辺良雄、渡辺芳文、渡辺良一、和田行雄、渡会純价、渡紀美子

## 【工芸】

【あ行】相羽鴻一郎、青木九仁博、青木挙、青木龍山、青柳一夫、青山幸子、青山鉄郎、青山禮三、赤沢露石、明石庄作、赤毛敏男、秋野宏和、秋山一夫、浅蔵五十吉、浅野勝、浅原千代治、東正之、東好昭、阿諏訪勝代、与勇輝、安達章、足立直子、安達雅一、新歓嗣、新佳三、阿部眞土、阿部祐工、天野達夫、雨宮彌太郎、新井吉雄、新垣勉、荒川達、荒木秀樹、荒木広、荒木幹二郎、嵐一夫、荒牧昭賜、有田俊明、有松進、有光武元、安藤和久、安藤光一、安藤敏彦、安藤則義、安藤日出武、安藤博允、安藤百利行、井尾建二、猪飼祐一、壹岐幸二、池内浄治、池上栄一、池島玲子、池田瑠子、池田晨太郎、石井視子、石川満、石川裕子、石崎光四郎、石田征希、石田武至、石野泰造、石野充信、石橋裕史、石山静男、石山駿、伊豆蔵幸治、泉公土郎、和泉俊昭、泉幹男、井関和代、伊勢崎淳、伊勢崎紳、伊勢崎創、伊勢崎満、磯部晃、井高帰山、市川想人、市川博一、市川正美、市川龍仙、市野悦夫、市野元祥、市野元和、市野茂良、市野省三、市野信水、市野哲次、市野年成、市野豊治、市野弘之、市野雅彦、市野勝、一宮現、一宮侑、一瓢斎、糸井康博、伊藤彰、伊藤敦子、伊藤一暉、伊東ウタ、伊東慶、伊藤憲一、伊藤公洋、伊藤倭、伊藤赤水、伊藤美月、伊藤峯子、伊藤優、伊東祐一、伊藤良典、伊藤渡、井戸川豊、稲垣太津男、稲垣幹夫、稲嶺盛吉、稻荷作、井上数夫、井上國男、井上浩一、井上萬二、井上泰秋、井上康、井上康德、井上楊彩、井上佳久、井上るり子、井ノ口万里子、今井清秀、今泉今右衛門、今井紀明、今井博子、今井政之、今西方哉、今村博、故・井村嘉代子、伊村彰介、伊村徳子、井村まゆみ、岩井香楠子、岩男元彦、岩瀬健一、岩田健、岩田鉄山、岩本修一、岩本孝志、岩本哲也、上島あい子、上江洲茂生、上田直方、上田あぐる、上田菊明、植竹敏、上田寿方、上田哲也、上江田ひとみ、植村順一、故・魚住法光、鶴飼真知子、浮田武司、後迫奉文、後田和孝、宇田川玄翁、内堀敏房、内村多恵子、内村文子、内村幹雄、内村由紀、内山政義、宇野徹、梅本鈴一、浦上光弘、浦林章雄、漆畑登、永楽善五郎、江口勝美、江口康成、榎田勝彦、榎本香里、榎本喜世子、江本みち子、大泉讚、大井正則、大井美智子、大上巧、大河内泰弘、大川正洋、大国丈夫、大久保友博、大倉貞義、大倉真汝、大塩玉泉、大塩昭山、大塩正義、大嶋久興、大城一夫、大城孝栄、大城哲、大須賀選、大角幸枝、太田和明、太田和孝、太田公典、太田圭、太田剛速、太田潤、太田孝宏、太田丈雅、太田哲三、太田富隆、太田秀隆、太田貢、太田光廣、大槻昌子、大根草路、大野晃幹、大野耕太郎、大野誠二、大野秀起、大橋聡子、大橋敏彦、大橋裕、大場匠、大樋勘兵衛、大樋朔芳、大樋長左衛門、大樋年朗、大平和正、大平孝昭、大村道山、大村禎一、大湾美枝子、岡澤伸之、岡田謙三、緒方修一、岡田親彦、岡田秀明、岡田裕、岡村美和、岡本篤、岡本雲山、岡本研作、岡本作礼、岡本信也、岡本白水、故・岡本碧山、岡本佳子、小川健次郎、小川興、小川武雄、小川長楽、小川二楽、小川文齋、荻内善晴、荻原守彦、奥田浩堂、奥村公規、奥村繁豊、奥村万知子、奥山峰石、小倉健、小椋範彦、桶谷洋、大古田久太郎、尾西楽斎、小野次雄、小野寺去水、小野寺玄、小畑裕司、帯谷宗英、尾張裕峯

【か行】海江田建志、加賀瑞山、角谷英明、角谷征一、各見政峯、各見飛出記、隠崎隆一、加古勝己、鹿兒島成恵、鹿島和生、梶原茂正、片岡宏幹、片山政一、片山晴比古、片山雅博、勝尾青龍洞、香月美德子、勝田友康、勝田文博、勝田保子、勝田玲子、桂寛、加藤永司、加藤益男、加藤錦雄、加藤清之、加藤錦三、加藤溪山、加藤敬也、加藤賢司、加藤孝造、加藤幸兵衛、加藤晃栄、加藤五山、加藤作助、加藤惇、加藤宣、加藤嵩、加藤尊也、加藤健、加藤忠雄、加藤天平、加藤唐三郎、加藤土史路、加藤土代久、加藤肇、加藤仁香、加藤博一、加藤允、加藤正也、加藤益浩、加藤美土里、加藤元男、加藤康景、加藤佑、加藤陽児、加藤嘉明、加藤令吉、加藤廉平、金重晃介、金重利右衛門、金森伸郎、可児一広、金子信彦、金子認、兼田知明、兼田昌尚、加納義光、金子節子、樺澤健治、可部美智子、鎌田幸二、神尾和子、神谷英介、上山紅子、神谷理筋子、亀井幸一、亀井勝、加守田太郎、栢野紀文、唐木尚勇、川井明子、川井明美、河井喜代子、河合誓徳、河合竹彦、河井透、河井敏孝、川合正樹、川上清美、川上力三、川喜田敦、川北浩彦、川北良造、河口純一、川口保規、川崎孝二、川崎珠、川崎鳳嶽、川崎靖子、川崎靖英、川崎淑子、川島久万代、河島伝十郎、川尻浩史、河内國平、川手敏雄、河野榮一、川野恭和、河端一海、川端近左、川端文男、川原和夫、川淵直樹、神崎宗昭、神崎継春、神崎正英、神戸保明、神戸義憲、菊池昭、菊地弘、岸園山、岸本久泉、岸本謙仁、北大路泰嗣、北岡秀雄、北口夢石、北出星光、北

出不二雄、北野勝彦、北村堅治、北村昭斎、北村英昭、吉向孝造、吉向松月、吉向蕃斎、衣川俊仁、木原恭子、君波延昌、木村玉舟、木村宏造、木村素静、木村徳人、木村展之、木村宜正、木村昌、木村雅子、木村将人、木村充良、木村萌子、木村盛和、木村盛伸、木村盛康、木村好博、喜代志松治、清水六兵衛、吉良博、金城唯喜、金城敏昭、金城敏男、金憲鎬、草場勇次、工藤茂道、国村広志、久野勝生、久野半右衛門、久場政一、久保修、久保田保義、久保満義、熊谷光峰、熊谷智久、熊谷保興、熊本栄司、熊本喜一、栗林一夫、黒井慶雲、黒井千左、黒岩卓實、黒田光楽、黒田正玄、黒田暢、黒田儀男、黒野丈治、桑原みさ雄、桑山圭洋、郡司島玲子、元田五山、鯉江敏弘、鯉江廣、小出甚吉、幸崎達彦、高鶴華山、高鶴元、高鶴大、厚東建信、厚東孝明、河野玄容、神山清子、神山直彦、神山易久、古賀賢治、國領東齋、小島憲二、小嶋克山、小嶋茂夫、小嶋太郎、小島弘、小谷多美子、小峠葛芳、後藤順、古藤隆司、後藤照代、小西陶蔵、小西朋子、小西博雄、小橋川清次、小橋川太郎、小林一雄、小林一富美、小林潤呼、小林東洋、小林浩、小林弘幸、小林文一、小林貢、小林理恵、小松克丸、小松幸代、小南吉彦、小室幸雄、小谷内和央、小柳種圃、小山喜平、小山耕一、小山貴由、児山由美子、近藤功次、近藤しゅうじ、近藤精宏、近藤高弘、近藤知子、近藤潤、近藤光男、今野春雄

【さ行】齋木勲、齋藤明、齋藤龍也、齊藤則行、齊藤裕子、西念秋夫、佐伯守美、阪井舜、坂井修、酒井甲夫、酒井田祐右衛門、坂井貂聖、坂井教人、坂井博樹、酒井博司、酒井芳樹、榊原啓司、榊原勇一、坂倉新兵衛、坂田甚内、坂本達哉、坂本俊人、笹岡基三、佐々木厚、佐々木嘉一、佐々木啓子、佐々木省司、佐々木二郎、佐々木強、佐々木悠紀子、佐々木禅、笹山芳人、佐藤和彦、佐藤恵吉、佐藤走波、佐藤善助、佐藤喬、佐藤巧、佐藤二三子、佐藤泰子、佐藤亮、佐土浩一、佐野寛、鮫島豊、皿谷緋佐子、皿谷実、沢田嘉予子、沢田重雄、沢田豊山、志田英男、篠田義一、篠田武雄、篠田雍昭、柴岡紘一、柴岡信義、柴垣六蔵、柴田厚志、柴田育彦、柴田好明、芝山吉邦、島岡達三、島田緋陶志、島田文雄、島常信、島袋常明、島袋常秀、島本悠次、清水一二、清水潮、清水潤、清水醉月、清水千代市、清水黎子、志村ふくみ、祝嶺恭子、庄村健、白石家門、白幡明、城間栄順、城間光雄、新庄貞嗣、神農巖、水津和之、末次観節、末吉清一、杉井杉陽、杉浦文泰、杉江明美、杉江善次、杉本貞光、杉本睦子、鈴木藏、鈴木勝詞、鈴木環、鈴木健司、鈴木五郎、鈴木三成、鈴木茂至、鈴木爽司、鈴木貴詞、薄田浩司、鈴木量、鈴木富雄、鈴木直喜、鈴木美貴子、砂田正博、角田新蔵、諏訪蘇山、関光輪、世良公男、曾我阿嬉子、十河慶子、曾根芳之

【た行】大丸北峰、平良恒雄、平良敏子、高明、高井進、高江洲康次、高岡久美子、高権成、高田湖山、高取八山、高取八仙、高橋彰、高橋佐門、高橋惇一、高橋春斎、高橋新六、高橋広道、高橋政男、高橋光三、高橋楽斎、高橋和三郎、高原邦彦、高原卓史、高間眞、高見勝代、高森誠司、多賀谷哉明、滝川幸志、滝口和男、瀧口喜兵衛、瀧下幸悦、田口克司、武石和春、竹内眞三郎、武腰潤、武腰敏昭、竹下三和子、竹島覚二、竹田忠生、武田敏男、竹之内彬裕、炬口佳枝、武村豊徳、竹村繁男、田島明、田代亮秀、多田光宏、伊達陽一、田中員之、田中光謙、田中忍、田中清山、田中紀子、田中教克、田中美奈子、田中悠子、田中良昭、田中源彦、田邊竹雲齋、谷川省三、谷川菁山、谷川仁、谷川峰雄、谷口玄、谷口幸二、谷口祥八、谷口正典、谷清右エ門、谷野明夫、谷本あけみ、谷本洋、田沼春二、田畑陽右、田畑博民、田原陶兵衛、田原弓、玉置保夫、玉木弘一、玉那覇有公、玉村松月、玉村登陽、田村幸夫、田山精一、丹野敏子、力石俊二、中条照子、沈壽官、塚田光弘、塚原三千勝、塚村剛、塚本健三、塚本司郎、塚本治彦、塚本満、佃和枝、佃秀實、辻勤之、辻田岳秀、辻常陸、土田育弘、土谷道仙、土田友湖、土屋典康、筒井修、筒井辰也、都築青峰、都築信雄、堤圭一、堤周一郎、恒岡光興、坪島士平、出口榮二、出口清廣、出口直美、手塚隆、手塚央、寺井恭、寺池静人、寺田みのる、寺本守、照井一玄、照屋佳信、天坊昌彦、土居恭司、戸出克彦、十多茶留侯、徳澤守俊、徳田明美、徳田八十吉、徳淵サヨ子、戸田守宣、戸津圭之介、渡名喜はるみ、豊住和廣、豊場惺也

【な行】直野由利子、長井一範、永井恒夫、永井優、長江哲男、中尾彰秀、中尾英純、中臣一、中尾恭純、中垣忠夫、中川進、中里重利、中里太郎右衛門、中里壽、中沢洋子、中島翁助、中嶋喬、中島卓、中島宏、中島保美、中島悠紀夫、中田一於、永田穂波、中田呂尚、中塚佐一、中根秀介、中野郁子、中野一政、長野恵之輔、長野末吉、中野陶痴、中野正道、中野亘、長嶺亨子、中村恵美子、中村眞一、中村真瑞、中村清六、中村節夫、中村東洗、中村伸子、中村秀昭、中村文夫、中村フミ子、中村雅明、中村實、中村豊、中本輝朋、中山亮、成良仁、名和章、難波好陽、難波誠治、新野素子、

新美吉昭、西浦武、西悦子、西岡良弘、西尾茂、西尾瑞舟、西川實、西田秋雄、西田真也、西田安光、西正道、西村源治、西村徳二郎、西村直城、西村優、西山勇、西山正、二十歩文雄、根崎隆博、納富晋、野坂和左、野坂康起、野崎賀代子、野崎恒伸、野嶋峰男、野田東山、延原勝志、乗松建行、乗松俊行

【は行】萩井一丘、萩井一司、迫二郎、橋上土牛、橋口昌子、羽柴良一、蓮田修吾郎、蓮善隆、長谷川勇、長谷川文陽、長谷川豊、秦蔵六、羽田登喜男、波多野善蔵、波多野英生、羽田登、波多野正典、畑辺玄機、服部倭文子、服部峻昇、花田和彦、花輪滋實、羽石修二、馬場弘吉、馬場真右エ門、馬場巧子、羽原一陽、浜田晋作、濱中月村、早川収、林恭助、林小六、林正太郎、林清治、林寧彦、林亮次、速水史朗、原清、原田一步、原田拾六、原田隆峰、ピーター・ハーモン、稗田寿炎、比嘉恵美子、東田茂正、東直人、樋口大桂、樋口博、樋口ヨシノ、久岡冬彦、久田邦男、人見啓一、日野田崇、平井浩子、平沢登、平田秋平、平野祐一、平山清隆、廣澤益次郎、広沢葉子、広瀬さちよ、広田優美子、深川巖、福井由美、福岡琢也、福郷徹、福島清文、福島寛子、福島善三、福田喜重、福田参平、福田晴夫、福田芳朗、藤井敬之、藤岡周平、藤城清治、藤田潤、藤田雅子、藤田良平、藤塚松星、藤村州二、藤原和、藤原敬介、藤原謹、藤原陶臣、藤原均、藤原史暁、藤原楽山、船生宗暘、冬木偉沙夫、冬柴文廣、武用君彦、古居美智子、古堅幸雄、古里博久、古瀬堯三、古田好孝、古谷徹、古家喜義、ペアティル・ペアソン、紅里桃江、帆足まおり、外尾憲次、星野亨芥、細見華岳、保立剛、堀江祥山、堀口正子、堀俊郎、堀直子、堀野証嗣、堀浩子、本郷大田子、本江敏彦

【ま行】前川電光、真栄城興茂、前田篤志、前田泰昭、前田安孝、前野智博、前端雅峯、前端春斉、前史雄、正宗千春、味舌隆司、眞清水蔵六、増田重幸、増田昌弘、松井康陽、松尾重利、松尾潤、松尾博之、松崎健、松下昌司、松下広樹、松嶋弘、松平順彦、松永トシ子、松野汀留子、松林正人、松村拓夫、松本為佐視、松本学、松本勝哉、松本佐一、マツモトタカシ、松本達弥、松本政昭、松本正雄、松本昌樹、松元洋一、松本良夫、丸田修一、丸田隆彰、丸田延親、丸田宣政、丸山勝義、三浦殊鈴、三木表悦、水野敬子、水野古麦、水野澤三、水野守山、水野静仙、水野銘一、水野教雄、水野真澄、三田村有純、光行洋子、美藤康夫、皆川隆、宮川佳子、宮川香雲、宮川香齋、宮川弘尚、宮城須美子、宮宅淪进、宮崎祐輔、宮崎芳郎、宮里守、宮田豊、宮田亮平、宮地生成、宮地陶博、宮部友宏、宮本知忠、宮本直樹、三輪雅章、美和隆治、迎里正光、棕原佳俊、武藤信吾、夢童由里子、村井一郎、村上東市、村瀬玄之、村瀬寛、村田肇一、村山明、室瀬和美、室町勝廣、室山治郎、目黒威徳、毛利百合子、モーガン・ルイス、桃崎孝美、百田暁生、森一蔵、森一宗、森伊呂久、森一洋、森勝資、森克徳、森川賢道、森里秀夫、守繁徹、森下育郎、森下要三、森準一、森大雅、森多佳子、森田文雄、森田芳伯、森丁斎、森陶岳、森陶山、森村竹芳、森本英助、森泰司、森脇文直、門田篁玉

【や行】屋我平尋、矢鋪與左衛門、安田佳代、安田龍彦、安田如意、安田全宏、矢内齊、柳澤保範、矢部篤郎、山内厚可、山内一生、山内米一、山上憲一、山口堅造、山口重信、山口秀太郎、山口宏夢、山口正文、山崎昭、山崎崑、山崎きん、山崎豊、山下公敏、山下玉枝、山田和、山田和俊、山田耕作、山田孝蔵、山田進二、山田勢児、山田正博、山田みどり、山田美彌子、山田義明、山田義孝、山近剛、山出守二、大和潔、大和努、大和敏男、大和信昭、大和稔、大和保男、大和祐二、大和吉孝、大和義昌、山中辰次、山西路子、山根義秋、山本唯与志、山本出、山本修、山本眞輔、山本潯陽、山本象成、山本務、山本信子、山本雄一、山本竜一、弓戸好孝、湯村京子、横石臥牛、横山登士子、横山直樹、横山尚人、吉賀將夫、吉川修身、吉川千香子、吉川則行、吉川博治、吉川正道、吉川水城、吉川幸寿、吉末都子、吉田きみ子、吉竹広子、吉竹弘、吉田定子、吉田純子、吉田隆、吉田浩通、吉田美統、吉田喜彦、吉富貞雄、吉富文代、吉村美子、好本宗峯、吉本正、米沢久、米田万太郎

【わ行】若尾経、若尾利貞、若尾誠、若子千年、脇田宗孝、脇本定三、湧田弘、和田照明、和田桐山、渡辺朝子、渡辺勝竹斎、渡辺聡、渡辺琢哉、渡辺溥子、渡辺雅志、渡辺松華、和田一人、渡久兵衛

## 【書】

【あ行】赤江華城、浅井機山、綾村捷子、新井光風、新屋敷春雷、飯高和子、飯沼天光、石田雙碩、石飛博光、石本法子、泉雪華、稻垣菘圃、岩田文堂、内山玉延、宇山栖霞、江口幹城、江口大象、榎倉香邨、大石三世子、大河内暁水、大

河内仙嶽、太田義久、大塚抱節、岡美知子、小川東洲、小倉國幹、尾崎邑鵬、恩地春洋

【か行】笠原草風、樫本桑牛、加藤泰子、加藤裕、門寺秋葉、鐘ヶ江勢二、川俣溪石、喜多松琴、北大象、木村唐羊、栗原蘆水、黒田賢一、黒野清宇、小島寿、五代梨舟、後藤秀園、後藤汀鶯、小伏竹村、小山素洞

【さ行】坂元隆南、佐々木可翠、座馬井邨、島田雨城、清水研石、師村妙石、杉江芳子、杉岡華邨、鈴木春朝、鈴木桐華、須藤松閑、関根薫園、園山硯峯

【た行】高木聖鶴、高木大宇、田口尹基子、竹中青琥、田中光穂、田中蘆雪、種村山童、樽本樹邨、津金孝邦、土屋陽山、鼓芳石

【な行】中井史朗、中川裕皓、中島宗皓、中野南風、中野北溟、中林露風、中村秀峰、中村天香、成瀬映山、西迫翠峰、

【は行】花田峰堂、半田一真、東山一郎、秀島踏波、廣實泉城、廣田百合子、福羽節子、藤岡都逕、藤嶋峻峯、法元康州、星弘道、甫田鶏川、堀場凶南、本間正雲

【ま行】牧野鳳仙、増永広春、松永豊秀、三浦思雲、水嶋山耀、宮崎葵光

【や行以下】山中秋邦、吉永秀峰、吉村宣枝、渡邊笙鶴

## 【宗教家・著名人】

【あ行】赤江瀑、赤川次郎、浅井與志雄、網代智等、足立大進、吾妻ひでお、新井満、有馬頼底、飯塚大幸、市川博一、市田ひろみ、稲垣宗久、稲畑廣太郎、稲畑汀子、植田まさし、上村貞郎、永六輔、江上泰山、榎木孝明、遠藤実、大岡信、大野玄妙、小澤一雄、小沢昭一、尾関宗園

【か行】片岡省念、片岡仁左衛門、桂春団治、金子兜太、加来徳泉、川津祐介、河村立司、神波東嶽、岸徹心、北見けんいち、衣笠祥雄、工藤直子、黒柳徹子、河野太通、五條順教、児玉清、小林桂樹、小林太玄、小林隆彰、小堀光詮、小堀卓巖、小松玄澄、小山幸容

【さ行】さいとう・たかを、斎藤始子、堺屋太一、酒井雄哉、坂田藤十郎、狭川宗玄、故・佐野大義、澤大道、三遊亭圓歌、三遊亭金馬、ジェームス三木、茂山千作、下村瑞晃、笑福亭仁鶴、新川和江、杉良太郎、千玄室、千宗左、千宗室、千宗守

【た行】高田明浦、高田良信、多川俊映、瀧藤尊教、田中恭一、谷川浩司、ちばてつや、趙治勲、陳舜臣、辻和雲、筒井寛秀、坪井俊映、東海大光、東條仁哲、常盤勝範、戸部けいこ

【な行】中原誠、中村梅之助、中村富十郎、中村文峰、野々村玄龍、則竹秀南

【は行】長谷川大眞、長谷川大道、羽生善治、ヒサクニヒコ、久田宗也、日野西光尊、福山諦法、藤子不二雄<sup>㊤</sup>、伏見誓寛、藤本義一、古川薫、堀内宗心、堀江漆子

【ま行】前田孝道、前田昌道、松岡悠風、松久保秀胤、松長剛山、松原泰道、松本壽郎、水木しげる、水谷八重子、水森亜土、光本幸子、嶺興嶽、宮坂宥勝、森清範、森光子、守屋弘斎

【や行以下】八代亜紀、やなせたかし、山藤章二、雪丸令敏、能山宗忠、米長邦雄、林海峰、渡邊恵進



## ご寄付をいただいた皆様

---

朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた06年度の寄付金は、総額2億8379万372円にのぼりました。寄付金は朝日新聞の読者や学校、企業、医療機関、団体・グループなどからお届けいただいたほか、多額の遺産をご遺族や遺言執行人を通じてお寄せいただきました。また、朝日福祉募金には朝日新聞社員、OBの皆様にご協力いただきました。皆様からの寄金はこの事業報告書でご報告させていただきましたように、幅広い福祉事業に役立たせていただいております。ご寄付をいただいた皆様は次の通りです。(敬称略、順不同)

※匿名希望の方は掲載を省きました。

### 【一般寄付】

＜北海道＞鈴木重設、小野弘美、発寒中央病院、桜井内科胃腸科

＜宮城県＞日野洋子、狩野保平

＜秋田県＞花田金美

＜福島県＞阿部勇、星熊雄

＜茨城県＞茨城放送「チャリティー・ベル基金」、忍冬(すいかづら)、奉刻会、鈴木芳、筑西広域イベント実行委員会、花のあとろゑ・ヒロキ教室一同、寺田達

＜栃木県＞植木誠也、中村武弘、エーエスエー栃木中央社員一同、石川輝雄税理士事務所

＜群馬県＞清水五郎、静雅彦、根岸八郎、大塚通高、吾妻郡旅館有志

＜埼玉県＞ホンダ開発労働組合、小島浩、武蔵野木彫会、遠藤靖夫、岩田豊司郎、ASA狭山ヶ丘・小手指、柴田眞樹、山根克己、田林晃、中村満夫、さいたまNPO市民助葬会、山崎美智子、渡辺慎夫、吉川弘志、協同商事コエドブルワリー、熊谷商工会議所青年部、東リース、本庄東高等学校生徒会、西武台高等学校保護者会後援会、暮らしネット・えん、中山哲證、久保田徳子、埼玉ウオーキング協会、奥田幸子、緑川豪男、石井従道、鶴澤たに子、蚊の涙二世志願者、東海林英二、河内利雄、山崎美知子、高橋次郎、石川全代

＜千葉県＞三稲總業、千野輝雄、越口栄信、唐木田卓司、阿部和義、天野昌紀、佐藤道雄、小川裕、竹内達、石原正太郎、岸栄輔、三枝清純、森下昇、楽天地天然温泉法典の湯、橋本正夫、八千代シアタークラブ、天野高男、矢作浪、今裕之・久子、三橋暢裕、ちば興銀「小さな親切」運動推進本部、小さな親切運動ちばぎん支部、小川みつ、高岡信男、東京湾横断道路、朝日カルチャーセンター千葉、中原久美子、岡村登美子、橋宏、吉野愛子

＜東京都＞内藤一水社、東京鳩居堂、新館アラスカ、福井一彦、森田秀夫、大宅洋子、大銀座落語祭実行委員会、ファイザー、クロネコファミリーコンサート事務局、ヤマトホールディングス、朝日新聞新館9階募金箱、多摩南部朝日会(町田ブロック)、貞広加津子、原田積善会、本浄寺、国分寺・国立ブロックチャリティー映画祭収益金、ASA府中中河原、鈴木弘、稲生綱政、湯島針灸院、伊藤齊、香川杏二、小島正治、松岡重男、南栄之助、安江育代、飯田正衛、島井新一郎、多比良勉、筒井清、寺田眞文、中江利忠、山住美津子、中尾聰子、中村邦彦、名取光広、三角偉友、持田政彦、山田正治、国府田七郎、田村直彦、窪田悦郎、海老沢俊彦、佐伯武夫、谷本英次、中村雅俊、朝日興発旧友会ご一同、朝日新聞新宿東ステーション、渡部通英、斉藤益三、佐藤敏郎、渡辺淳、浅見薫子、村井丕子、高橋勤、

日根野妙子、清水太一、岡野喜久子、田宮貞和、宮村正廣、小さなかけ橋合唱団一会員、ASA北阿佐ヶ谷、ASA武蔵野三鷹ブロック「男たちの大和」上映会、天野徹、吉祥女子中学・高等学校淑美会、渡辺猛、日本編物協会、エフイージーなごむ会、池上由美子、水野園、山内成将、武井桂子、中初江、加藤幸雄、東滝俊二、中村義則、日上操、江東観光、山岸律子、実践桜会家政科会、中村斐子、橘ダンススクール、日本手芸作家クラブ、若山貞二郎、坂田年、宇井あきら、龍生華道会、朝日トップス社員会、質屋21協同組合、羽田完・エミ子、本多武、中野内満也、小野いずみ・めぐみ、キューピーAD会、種山恵也、根岸周、渡辺伎美、小嶋茂、上野学園、矢島羊依千、棚橋美喜子、秋吉敏子 60周年記念チャリティーコンサートを応援する会、田中喜久子、大塚修、まるやま、学芸大学東口商店街振興組合、小さなかけ橋合唱団、安室礼三、東京都トラック協会多摩支部、朝日東京プリンテック、日本コントラクトブリッジ連盟、石川三朗、故嶋崎晴子遺言執行者司法書士本多興輝、専修大学附属高校、関岡武次、増田豊、山脇学園中学高等学校、ASA高輪、守安克二、佐々木敏裕、新日本石油労働組合本社支部、新日本石油労働組合東京支部、竹内一夫、鎌田直子、小池祥雅、山岸駿介、杵勝会

＜神奈川県＞三縄みどりチャリティーコンサート実行委員会、斎藤宗寿、由井平和、岩崎勇一、ASA三ツ境南部、ASA汐入、ASA東浦賀、小宮末雄、近藤玲司、手島温子、徳永修一、ASA長津田、小澤太郎、佐藤光秀、加藤勝久、戸田繁雄、新井敏文、山下雅雄、ASA溝ノ口南部、秀野一将、ASA鷺沼、ASA鷺沼東部、磯山浩、渡辺克己、小沢初江、慶応義塾高等学校ライブラリークラブ、野本麻美子、佐々木政美、鶴岡武、松井義亨、会田春菜、高口湧太郎・颯太郎、細谷正二・洋子、神奈川県少林寺武道競技連盟、渡辺和夫、木村成一、三和看護婦家政婦紹介所、パナケーア、ミキプルーン剣持グループ有志一同、長島チャリティー新年会、K・S、光峰陶遊会、m・m、三島牧夫、細谷正二、仮名子、相州海老名東柏太鼓、新免五郎、相馬ミキ、エイワ、ネルソン・テニス・クラブ、君和田正夫、岡安昭吾、碓井敏道、小松弘子

＜新潟県＞大津裕、丹羽正之

＜石川県＞一輝星国際学園

＜山梨県＞嶋崎紀代子

＜長野県＞望月正子、洞澤茂、黒住敬之、田村清隆

＜岐阜県＞長良高校コーラス部・長良合唱団、熊谷八重子、小林正典、伊藤正夫、吉田繁美

＜静岡県＞日野昌徳、吉川正宏、服部浩、和田寛、片山偉三男、中山静枝、清水敏江、静岡県高等学校野球連盟、大嶋正章

＜愛知県＞角谷由則、山田美智子、加藤重範、朝日新聞総合住宅展示場ハウスプラザ岡崎、原口愛子、青島鍵一、H・S、田村潔、竹中辰夫、松野辰弥、伊藤隆之、松本照子、山内拓男、堀江宏輝、高柳泰世、名古屋深雪会、河合甲子、掘場英也、長縄広宣、とうふ処「吉本」、加古善英・善輝、名古屋文理大学短期大学部自治会、内海紀章、藤本鷗舟、伊藤健、尾関博、名古屋美術商共同組合名古屋美術青年会、ローソン平針西店従業員一同、八龍子、中山チヨ子、斎木清治、渡辺武夫、大園徹、石木荐夫、橘捨治、加藤肇・このみ・嵩徳・もも、正司文夫、山口昭光、春日井正、神谷一嘉、高橋昭彦、森村宜高、在日米国商工会議所中部支部、松本秀男、天野邦保、永田喜子

＜三重県＞日本バプテスト宣教団津豊ヶ丘キリスト教会、谷口光茂、富田高良、米山すみ子、萩原豊子、盆栽友人趣味の会、水谷鎮至、榎本広江、坂井邦子

＜滋賀県＞植村良雄、滋賀ゴルフ倶楽部・代表取締役社長中島壽博、辻寅建設、西河稔

＜京都府＞石川喜一郎、大隈靖彦、京都百貨店協会、聖母学院中高等学校生徒会、寺村重郎、西陣織工業組合、濱田一夫、山川道雄、山田健一、吉村幸夫、ラクセーヌ専門店会

＜大阪府＞廣橋修司、堀昭一、ASA堺西、饗庭隆、アサコムホール・チャリティーカレンダー展、朝日新聞浪速販売、アサヒタロウ、足立誠太郎、尼崎久栄、朝広大阪OB会、朝日新聞広告局投釣クラブ、朝日新聞香里園寮自治会、石井秀利、石塚達、石脇コミュニティクラブ、居場満、歓喜会・辻尚司、岩崎テル、上田孝之、O・Z、おいおい、大阪工業大学高校生徒会、大阪コスモスライオンズクラブ、大阪南看護学校2004年度生一同、岡田敏行、岡村淑子、岡本安季人・正恵、奥田ゆき美、遠里小野婦人の会代表堅田八千代、萩原永美子、太佐光弘、大阪市信用金庫、大阪深雪会、大阪府レクリエーション協会・朝日民踊大会実行委員会、大川哲次、開成教育セミナー、関西美術家連合、柄崎和孝、北前行男、北山章夫、木原幸代、近鉄タクシー、近鉄百貨店、近鉄百貨店阿倍野店、京セラコミュニケーションシステム(株)大阪事業所、楠宗一、久保心子、クラウンタクシー旭本社営業所、クラウンタクシー東住吉本社営業所、桑田洋太郎、グレース幼稚園、京阪童謡の会アイリス、京阪百貨店守口店、月輪寺・榎本智照、T・K、小峰聖子、斉藤弥寿夫、阪田道子、佐々木綾子、佐田順子、サンディ、堺国際ツアーマーチ参加者募金、島田照子、清水勇、下出喜久子、下原信好、新日本石油労働組合関西支部、人生道場、神野恵、M・S、杉浦幸弘、聖愛幼稚園、星翔高校生徒会、全日本不動産協会大阪府本部・不動産保証協会大阪府本部、總田賢治・剛志・純次、そごう心齋橋本店、創建、T・T、T・Y、竹田津永昌、武林明、田崎廣子、田中信一郎、高島屋大阪店、大丸大阪心齋橋店、大丸大阪梅田店、辻久子、寺岡修、戸室常一、土居利夫、百目鬼主計、永井クリニック、懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう会場募金、中島正幸、西田稔、西村友紀子、西村徹、西日本電信電話大阪グループ、大阪コピーライターズ・クラブ、日曜画家協会、能楽協会大阪支部、はいはい、浜田節子、阪神百貨店、大阪パイロットクラブ、平佐国武、福山章紀、藤田一、伏谷魁、深田隆三、細田泰嗣、Y・M、松井繁、松本耳鼻咽喉クリニック松本健、三浦茂子、都島区PTA協議会、宮坂修、民族芸能アンサンブル若駒、やいやい、八木黎子、山本勝治、大和梱包・中山、弓場慈子、龍和会 加龍宗智、W・N、和田信矢

＜兵庫県＞佐野信三、黒住晶子、道又央、井上壽子、岩根良三、伊藤通、稲庭達華麗なるヴァイオリン入場者募金、上野弘子、カトリック日生中央教会、甘露寺、ガールスカウト兵庫県第29団、川西市NEW HEIG会、日下宏昭、久保木一郎、クリコ、グループつくしんぼ、近藤嘉宏ピアノファンタジー入場者募金、近藤嘉宏ピアノコンサート入場者募金、佐々木隆嗣、サンライズ・ASA高羽、柴田寛、真生園有志一同、晋真会ベリタス病院、昭和29年卒夙川小学校永田学級有志、住野耕一、鈴木敏男、田中誠一朗、田中勉・友輝子名曲プロムナード入場者募金、大丸神戸店、辻慶太郎、出口美保子シャンソン入場者募金、D・Y、中村年延、畑繁満里子、平尾清、廣辻逸郎、廣村進、古川清、佛立寺婦人会、ペルシャンパレス、本田路津子コンサート入場者募金、M・H、六車智香ソプラノ名曲の花束入場者募金、森隆一、矢野尾峻、ラ・フルール・ド・有子教室、和田産婦人科医院

＜奈良県＞陶芸教室「明日香青陽窯」、伊沢依子、NPO法人CompassTOKYO Japan、大西内科医院、川畑宗一、岸田米夫、田口貴昭、T・Y、中村伶子、奈良文化女子短大付属高校、野村進、日根文男、安井良道住職と檀信徒有志

＜和歌山県＞エミレーツ航空クルー一同、小向由紀子、竹中信夫、福住輝雄、光定内科・待合室一同、和歌山近鉄百貨店、和歌山県土地家屋調査士会

＜鳥取県＞鳥取朝日広告社

＜岡山県＞石口浩一、上杉富美江、馬越悟士

＜広島県＞石井美智子、柿本正廣、中村耕也、村上益夫、倉石幸子、丸井弘子

＜山口県＞井上等、伊藤光夫、上田通、吉広嘉市、原田泰彦、堀田洋一郎、兼田幸兒、原田巖・初称、西村至博、下関郷土学習会、大島喜代子

<香川県>K・S、高松南局消印某

<愛媛県>真鍋新

<福岡県>鮎川正幸、多田毅、玉谷省三、成重喜徳、法泉寺、角野齊胤、澁江有恒、高橋増次郎、竹藤寛、畑邊正治、波多野昌二、安村佐恵子、田畑親、波止君美、日原五郎、鶴木克己、渡辺正、朝日新聞苅田販売店、谷口幸子、阿川琢磨、伊東正雄、加来勉、中原武、苅野隼人、横田チヨ子、大和武政、大北正、進貞人、宮本静子、五十嵐力、井上商会、松本久、中村恒之、久和秋雄、原三信病院、朝日カルチャーセンター福岡教室受講生一同、朝日広告社、ASA苅田・ASA南行橋、伊豆丸カツ子、釜口国夫、大谷英憲、カラオケ大正琴藤由会、観山荘ゴルフ会・懇親会、北福朝日会、恵祐会、交通事故被害者組合、茶道裏千家淡交会北九州支部、第一警備保障、高砂熱学工業九州支店、チャリティー西日本歌謡交流大会、トウペディップアート協会九州支部、中山照子、西日本カラオケ連合協議会、ハウジングプラザ片江、日朝裕子、平川慧海、北九州市専門職団体、ふるや酒店、邑本クリーニング工場、森口純子、山口銀行北九州支店、読み聞かせの会「おとぎぞうし」

<佐賀県>志村孝甫、豊田俊明、佐賀朝日広告社

<長崎県>草野宣明、黒崎勇

<熊本県>河島重雄、熊丸茂

<大分県>中島英雄、吉松忠徳、玉田正富

<宮崎県>アーチ学習館、長峰栄子、大石桂二

<沖縄県>琉球逸品会

### 【ふれあい募金】

<北海道>鈴木重設、小野弘美、荒ひろみ、高木昭一、桜井智康

<青森県>田中誠治

<岩手県>橋本繁三

<秋田県>斉藤信幸、花田金美、成田隆雄

<山形県>大竹勝雄、岩淵慎助、堀三隼

<茨城県>縦山診療所、瀧石久徳、辻葉子、荻原奉祐、佐藤任司

<栃木県>木村功記、福田仁、植木誠也、及川武紀、手塚正志、西沢隆次

<群馬県>大沢誠、静雅彦、鈴木憲一、矢作正夫、山口新聞舗、布施正美、ASA前橋西部

<埼玉県>山田渚、岩田豊司郎、佐々木富雄、田代稔、島田クリニック、横田俊二、四元徹志、坂本金市、吉村重華、大東外科医院、宮本正、古谷信雄、中村健一、ASA大宮中部、本強矢整形外科病院、野口英昭、金子千侍、早川隆、小室保尚、田林晃、名越啓史、宮本薫、工藤謹也、フルカワ、日鼻靖、清水誠治、ASA大宮西部、ASA与野本町、ASA指扇

<千葉県>小金沢毅、佐藤道雄、古川喜一郎、馬場勇次、佐藤信二、森田昭信、高木医院、梶原敬、三枝清純、板井節子、石井従道、矢野剛、石地辰興、武下敏雄、平成会、越口栄信、山野井憲司

<東京都>飯田滋、佐藤静夫、朝日新聞新宿東ステーション、古賀力、豊ヶ丘新聞センター、清水澈、木野村幸彦、小島靖、清水満、飯田正衛、大澤金政、筒井清、渡部通英、堀江和夫、福原正三、中嶋善仁、宇野昭二、森学隆、高尾知道、持田政彦、並川淳一、武蔵野台病院、中尾聰子、内藤利勝、田宮貞和、五十嵐篤男、大城尚史、浅野明子、浅見薫子、村井丕子、若山麻美、平川恒久、佐藤重光、富村憲一、白井貞子、中山良英、松田三樹雄、山住美津子、小田原耕三、田村直彦、保谷厚生病院、椿弥一、阪本英雄、大多和彦一、松村幸司、山口英男、本橋常彦、扇大橋病院、蔵方宏昌、瀬木邦久、岡本茂久、

望月紘一、渡辺明、富田香、ASA恋ヶ窪、高橋勤、水永浩二、山中一夫、中島和子、沼沢良樹、藤田千尋、近藤進、多比良勉、富士病院、大村俊雄、山田正栄、有田孝久、黒須誠、朝日新聞小平東部、ASA成城南、渡辺淳、牧野憲聖、横町武昌、日根野妙子、ユニオン歯科医院、田辺眼科、斎藤益三、小池浩、佐々木胤郎、酒枝康郎、鎌田昭次、中村邦彦、鎌田直子、大木豊治、田村清明、吉利宏

＜神奈川県＞ASA相模野野村新聞店、古川隆三、米川武夫、松本隆美、家本誠一、ASA朝日新聞片瀬、ASA逗子、ASA鎌倉中部、ASA池上、ASA衣笠、朝日新聞厚木東部、山田昌生、ASA東浦賀、ASA汐入、佐藤新聞店、ASA厚木愛甲、笠本洋一、磯野喜美子、岩本紀子、亀田芳子、平田キヨ、松田久美子、福永省三、代田治彦、桑原季六、ASA相模原南口、ASA相南、金田東治、田中和夫、ASA三ツ境南部、溝江達也、大高是、小沢太郎、八十田敏男、手島温子、厚木西部、厚木中央、ニュースセンターあかもと、浅場馨、ASA上永谷、東長正、富岡瑞子、飯塚義朗、林明德、藤原清人、小野宗男、石丸照子、浅場馨、ASA腰越、ASA上大岡南部、ASA日野町、ASA笹下、ASA生田、ASA弘明寺、清水夏江、内田克明、ASA上大岡社員一同、桜井祐二、鈴木弘一、鈴木清一、仁平邦男、岡村雅生

＜新潟県＞丹羽正之

＜山梨県＞湯本星華

＜長野県＞望月峻成、望月正子、洞澤茂、塚田修、笠原忠夫

＜岐阜県＞水口和子、伊藤正夫、下出きよ子、工藤学而、蜂須賀昭子、佐藤孝充、加々美孝、加藤健彦、杉山正気、岩佐清、吉江研一、白川裕基、安福嘉則

＜静岡県＞渡辺幸一郎、川村碩彬、寺田鼎、多々良幸子、和田寛、菅ヶ谷純弘、富山文男、船越澄枝、松下道雄、吉川正宏、龍神美穂、日野昌徳、稀代幸雄、岩本和雄、望月武治、篠原利男、秋田辰彦、中野直樹、中山静枝、三倉正時、吉田三毅夫、佐野勉

＜愛知県＞森田興二、小川麻子、中村新三、山崎旦、織田義人、水藤貞子、早川祥子、新美和夫、志賀捷浩、高本知、高柳泰世、高津本布、山中寛紀、前田洋、安藤政男、松尾俊三、青木茂、中田武彦、小林進、斎藤洋子、佐藤和之

＜滋賀県＞植村良雄

＜京都府＞浅田照夫、土井潔、阿部野竜正、古玉宏、小谷澄子、畑一、河辺昭徳、岡田安弘

＜大阪府＞切通良昭、北野馨、永井正志、土井甲子郎、弓場慈子、後藤和彦、小森忠光、渡辺良子、田口鐵男、松永芳枝、石井秀利、四方朋子、高安健、円尾クリニック、三杉進、山本哲夫、杉田勝洋、山田俊雄、宮岡邁、西村徹、高橋仁子、岡本健治、東田みち代、小林幸多、アエバクリニック、津本清次、廉林幹司

＜兵庫県＞道又央、谷順、柴垣昌史、森滋郎、梅田和子、和田産婦人科医院、平尾清、福田田鶴子

＜奈良県＞石崎直司、宮崎新嗣

＜和歌山県＞松谷鷹太郎、馬淵義也、森庸亮、青松会職員一同

＜島根県＞小野宏、山口俊行

＜山口県＞門山尚貴、岡基子、山根喜美、長門一ノ宮病院、高松恵美子、河野俊貞、安藤允人、宇野義昭、光内美恵子、織田哲至、井上等、藤沢ハヤ子、三井清、川邊睦子、早田武、河本眞龍、湯田自動車学校生徒職員一同、原正昭、吉広嘉市、石田三郎、岡崎博友、梶原誠一、赤川悦夫、並川宏、佐島廣一、伊藤経亮、山原五月、中原一雄、潮浩、牛尾博昭、小泉和夫、平野東光、松崎浩司、和田鵬亮、武居稔博、高山晋洋、河口俊子、宮本甫子、片岡逸、倉増誠彦、小泉清子、佐々木隆義、岡原壽典、秋田香栄子、山田孟、津次悠紀子、清水勇雄、大西徹、末次清、岩田雪枝、松岡典子、幸本勝子、伊藤洋子、宮



川祥一、木村猛雄、渡辺満彦、上甲悠治、櫃本裕三、明倫小学校児童会、堀田洋一郎、明林寺、吉村内科医院スタッフ一同、三島義幸、柴田丈夫、原俊雄、西辻知生、河上和洋、河上勲、大島喜代子、定近サチ、小見山藤子、上田通、広重清子、藤本裙子、斉藤民助、平田鐘大、隅田茂生、原田泰彦、木村巖、松本哲夫、小田嘉彦、森永美智子、竹内清海、稲川芳雄、山根惇、白水玄勇、岡崎邦臣、徳山小学校ボランティア委員会、神徳翁甫、宇野雪子、岐山小学校児童会、佐藤警、徳山養護学校、日置農業高校生徒会、深本良一

<福岡県>成富義幸、桑名純恵、平田利栄、山本清子、坂本嘉之、山家内科医院、石原タロー、和田康彦、森重和好、蔵本一郎、樋口幸生、佐々木正雄、久志本日出子、高橋晶子、原陽一、中村千鶴子、有田雅子、稲永清泰、日高義之、大澤ハツエ、中島乃婦子、原田素行、日高孝枝、山口くに、白石徹、渋江有恒、梅津法、雪竹清弘、前田紀道、伊藤千枝子、波多野昌二、塩塚春生、末吉楠雄、鬼塚正十四、荒木康良、西生寺護持会、嘉多山直人、小住和徳、松原建彦、平野敏弘、(株)坪井商店、平田澄徳、黒田哲玄、前川一之、小林泰稔、木村俊夫、弥永耕一、米倉昭史、内田トキワ、浅井修平、林田一也、井上継郎、尾橋吉郎、角野斉胤、吉田守男、國府敏男、山田稔、植田務、占部久、池田敦子、池上康稔、中村薫、蒲池徹志、岩崎健治、大西純一、吉永正人、原口元夫、秋枝蕭子、苺田ロータリークラブ一同、西園昌久、池本武士、中村卓郎、山下勝己、田中強、上田英敏・キヨコ、里村知宣、有吉通泰、長谷川恭子、姫野健、土居麗子、原田ヨシ子、宗田利明、梅谷敬哲、山本哲夫、安西アイ、森本隆芳、池島信二、城戸傳、八田次郎、田端一敏、柿添富久子、村上歯科医院スタッフ一同、青沼茜雲、向笠洋三、大野清、荻本策一郎、畑邊正治、金光教若松教会信徒会ニコニコバザー、磯矢昭三・洋子、前野恵子、平松隆壽、吉田並世子、松延彰友、平田淑子、原トモ子、中村洋子、竹内サキ子、中村貢、柴田慎子、佐田正武、本田俊励、平原政幸、佐野武・百合子、今本文徳・久美子、栗原公足、岡本和代、加治久昭、小嶋房江、植田朋子、淵上鯉一、竹藤寛・宣子、中牟田恭子、緒方覚、藤見是、鶴木克己、光井幾蔵、牟田芳子、多川洋子、浅原進午、真島敬一郎、堀瑠星・鈴蘭、大林るり子、井上洋子、池尻直幹、佐々木清、阿川琢磨、安藤倫子、天満紀子、樋口佐和子、岩永知勝、鴨川隆彦、平祐二、伊豆統一郎、中山照子、藤島八重、山際久子、今林昭、實藤正利、池田加寿子、渡邊千鶴子、西明義晃、倉竹一知、佐々木愛子、小宮俊秀、布施龍次、西田昭子、安西義孝、今村寿和、志波為市、吉村仁三郎・照子、石田俊彦、三井茂生、井上雄二、伊藤綾、恒富誠・みずほ、油絵屋大哲、上田さくら、有角義一郎・智子、福岡春子、田中均、古沼ひろ子、高橋一心、日野喜美男、小倉教会ハッピー会、村上由美子、玉谷誠一、藤井百合蔵、川原洋治・幸子、古賀哲二、白石逸郎、明治学園小学校児童会、谷崎眞行、小石純也・真理子、吉永淑子、小山田秀子、井上静子、片山健吉、増留純人、金光教中間教会信徒会、松本久臣、横田郁夫・永子、光富慎吾、高嶋晋一朗・悠生、黒木裕子、長野宏子、朝日メディアテック社員御一同、福岡国税局有志一同、香月きょう子、石崎正和、久原伊知郎、丹下重則、手嶋秀子、松木俊正、井上敬次・てる、熊谷次郎、山下新一郎、光安如成、木村喜久郎、五貫敏枝、常盤薬品(株)北九州支店社員御一同、中原武、井上直哉・祐毅・麻衣子、宮本邦生、至栄、森本洋輝・あかね、ASA苺田、朝日カルチャー文章教室、朝日新聞西部印刷部OB連絡会、朝日新聞福岡販売、飯塚聖母幼稚園ほし組、一甲眞、今井俊二、上杉倬生、上野敏彦、遠藤信重・ひろみ、大里南市民センター、大田絹枝、大村公人、岡田良一、風師山早朝登山会、梶務、加生幸彦、金丸嵩、川崎浩子、北九州市身体障害者福祉協会自動車部有志、北九州市立年長者研修大学校穴生学舎、北九州まちづくり応援団、北福岡日会日豊支部、木村庄吾、旧朝日新聞お花の会、九州国際テニスクラブ、仰星学園高校、藏永知彦、倉本恵美子、栗山太、久和千夏・真澄、河内山寛、古賀ミネ子、国際ソロプチミスト北九州東、小熊坂静子、国領真三、芝尾伸子、自由ヶ丘高校、食同楽、第1回チャリティー歌自慢大会、第137回海外雑学セミナー参加

者一同、第40回プラスフェスティバルインニューイヤー募金箱、竹内俊次・逸子、竹中久、田中時雄、千々和武子、千代レディーススクールアカデミー、土川勝美・恪子、鶴田多賀子、トピカ、長崎申代、中荘俊、成重まり子、南画グループ「豊犀会」、畠中保實、濱中隆吉、林田乙次郎・美子、樋口澄子、日比生隼斗、姫路秀明、福岡吹奏楽連盟、福島新生、福留京子、藤崎良之、ヘルスメイト丸山、保坂久子、宮島なずな・すずな、メタルアート創造の森、森下さやか・亜耶、矢野スミ子・光博、山岡光孝・芳恵、吉村正博、米田勇、六田市雄、和田歩佳、和田京子、渡邊誠仁・伸恵・優希野

<佐賀県>豊田俊明、石井倫平、武田清子、志村孝甫、片瀨陽一、口石將博、杉原茂樹、市丸はる子

<長崎県>百田眞瑛彦、澁谷統壽、黒木虎明、中尾カスミ、原本康雄、草野宣明、石野徹、中尾静子、後田敏子、高野星次、塩敏雄、牟田義人、高岡願生、阿南貞雄、大坂渥巳、犬養順子、大塩義行

<熊本県>中村修、宮田和子、岡山洋二、竹中研治、志方栄吉、比企亮介、平田正男、森本政幸、坂田サチ子、熊丸茂、藤田英介、蓮田太二、宮崎邦介、鈴木一臣、松本勵子、澤村正純、樽海友希、山本博昭、米満弘之、本村久子

<大分県>岩永知子、成安聖司、河野なみ子、岩崎修二、西森靖生、神戸信之、原嘉徳、野上和恵、山崎福男、藤本保、安倍一江、椋園ミヨ子、石崎邦彦・圭子、松成満男、丹羽瑛、丸谷美智子、有田眞、佐々木伸子、佐藤トシ子、山本宏子、矢永英子、平野政五郎、麻生孜、ASA日出、ASA犬飼、清末正洋、吉岡正子

<宮崎県>井上清美、松崎史夫、前田昭久、佐保成一、青木宏、塚田嘉也、長峰栄子、赤池義昭、ASA宮崎大塚、畑中勇

<鹿児島県>田原睦郎、木村龍一郎・理、高城節守、久木田康、田辺元、上山陸三、高橋浩一、今給黎尚典、湖城ビル、平田つや子

## 【朝日福祉募金】

<北海道>斧泰彦、高城フサエ、野崎勝、堀隆徳、山村哲雄

<宮城県>日野洋子

<福島県>阿部勇

<茨城県>粕谷日出夫、宮崎千勝、稲木泰生

<栃木県>宮田実

<埼玉県>山田恵男、宝明美男、吉田成村、村岡美佐男、大島昭義、戸田勝男、中島竹二、小林佐千雄、中村満夫、遠藤靖夫、木之本圓、山田郁夫、蓮田育郎

<千葉県>野村誠二、池田守、岩間正雄、桑折勇一、唐木田卓司、林常蔵、本多斌、三石昭、吉田年太郎、菊原睦夫、石原正太郎、植草光春、田辺昇一、都丸司、岸栄輔、天野昌紀、山内幸夫、中村糾造、小川裕、小倉皓三郎、田口久雄、藤井富一、豊田明、津田四郎

<東京都>光藤政雄、星野富栄、三角偉友、三浦昭彦、飯田孝一、奥田利男、浜田隆、細川洋一、寺田真文、大木穆彦、清水太一、中沢昌子、石井哲次郎、堀鐵蔵、田中駒夫、内山鶴雄、野本登、南栄之助、小島正治、佐伯武夫、鏑木進、国府田七郎、村野坦、鈴木弘、柳瀬静子、藤田実、森三郎、上野晴夫、横川渉、番場清、高橋恒雄、菱沼幸次、近藤和恵、伊藤斉、栗原裳哉、米良哲、竹内實昭、伴亘、高橋茅香子、森暁雄、壁谷道明、中江利忠、久保田龍二、岸田隆秀、宮澤恭人、谷義郎、西脇保孝、渋谷富業、小笠原将・典子、諸寿子、宮内繁、柴田琇一、小野恵夫、名取光広、小勝竹雄、酒井寛、藤村綽男、本橋陽子、菊地育三、窪田悦郎、池辺史生、奈良昌一、作間英明、田辺東平、亀井正雄、吉澤忠一、崎川洋光、小林頼重、大東昇

<神奈川県>川辺和夫、瓦田信彦、佐々木光明、碓井敏道、菱沼保幸、岩崎勇一、春日廣之助、中島善範、熊倉一郎、石原嘉博、伊東義雄、永嶋東樹、小宮末雄、浜田正治、上野清子、鷗森一夫、大堀末雄、尾崎昭雄、中尾英一、岡安昭吾、君和田正夫、沖研三、小杉弘、小竹一弥、小林朝貴、大野出穂、斎藤宏民、江幡清、喜久村繁、磯山浩、香西宏昭

<新潟県>佐々木賢介

<山梨県>秋山紀勝

<長野県>横地泰英、小坂健介、宮沢東洋雄、吉田卓治、師岡恒司

<岐阜県>池田勝、小林正典、野村増男、長谷川弘

<静岡県>白井茂、真杉高之、笈川満夫、鈴木益民

<愛知県>松川静雄、水野清、山口徹、伊藤隆之、田村潔、山本浅夫、小林昌雄、中島功、竹中辰夫、青島正次郎、河合甲子、池田亨、上阪堅一郎、横須賀弘、蒲田春雄、西村光明、三浦豊、林弘、松本照子、堀昌義、伊藤幹男、中生加康夫、松野辰弥、山田美智子、竹腰義光、蟹江大作、安藤広、荒川敏夫、池田信之、杉本宗孝

<三重県>西垣秀男、日比文雄、柴田弘義、田口和夫、竹内宏行

<滋賀県>田沼進、石原鐵雄

<京都府>北村芳一、内野清

<大阪府>森本健蔵、磯田博孝、上田輝雄、井原邦夫、多湖校、成澤讓、広沢茂保、揖藤章、渡辺、宮坂修、市場屋邦雄、細川福義、本郷康夫、辻野美治、松井繁、高橋徹、辻義雄、藤野昌也、武林明、桑田洋太郎、永田勇、上田和郎、中尾英樹、橋本文夫、辻治、北前行男、沢井東月、川人泰、天津裕、坊農義胤、佐藤勉、西田卯一、嶋倉宏、川崎旬江、青木正夫、梅原寿春、中島正典、調枝潮、人見善三郎、渡里洋亮、山田吉男、渡辺勝彦、下原信好、福岡昭、永田佑、中尾菊子、杉浦幸弘、藪内良宣、宮田徹、石崎勝義、土居利夫、藤野キクエ、橋田長、滝本隆治

<兵庫県>渡辺茂樹、宮本清和、中江義雄、佐々木隆嗣、田口久恭、鈴木敏男、小西孝彦、吉田清実、渡辺貞昭、長谷川敏郎、金沢清弘、根岸清、麩山美代子

<奈良県>八木一夫、前田健治、谷義郎、日比野正信、吉識希一、酒井基雄、大槻義教

<鳥取県>矢谷啓、角田光範

<岡山県>吉田鉄夫、香川勝美

<広島県>栗田康雄、山田豊司

<徳島県>小畑光正

<愛媛県>合田治二

<福岡県>中村恒之、飯田守人、熊谷新、久和秋雄、深野繁子、玉谷省三、島田利雄、田畑親、雌熊二三雄、堀益一、梶原美恵子、前田稔、橋詰勇、野口貢、水上平吉、佐保肇、並波真、成重喜徳、永田泰徳、池田暁彦、長野實、金子隆彦、中村治雄、植村噩爾、池田斉、並波真二、大塚明子、丸野了、向川雅樹、今井真澄、木下京子、藤崎良人、藤尾且一郎、小原秀俊、松本和三、前田奉一郎、大木昭幸、河村寅明、豊田茂行、内山健治、河口道子、大久保主税、平松輝子、森脇巖、竹原則昭、梶谷忠夫、畑富彦、日朝高晴、倉本和美、長治良知、城島伸介、久野達明、谷口幸子、浜田幸市、喜島卓己、森幸十、日高毅、宮崎冬樹、井上敦子、豊永久美、日高寛、光田稔、山本英雄、徳山雅夫、曾根愛子、藤巻義範、松本富士夫、保永惇治、田尾美智代、野原勲、山本重美、城野八重子、本城孝昭、三小田功、上野芳範、福智山登、松本盛二、清水慶太郎、黒川五郎、城戸弘宗、大和武政、取違芳弘、岩並正夫、熊野嵐、永田諫也、野上智宏、久川敬三、向英男、黒谷次郎一、苅野隼人、石田明男、加治屋三郎、奥村博一、丸

山隆志、福吉三代子・未紀子、中村進一、浦橋正男、畠田一、田島栄次、奥平成男・弥公土、原田満洲夫、日原五郎、佐藤郁男、栗原悟、水ノ江正、高村広、秋成府左治、高巢真澄、木村弘、柏木昭二、扇谷範可、山本浩巳、目原清嗣、有馬律生、藤原辰生、富永守、中原肇哉、江島幸子、園田和子、川村健治、津田健介、井本武彦、安沢俊彦、小崎哲也、毛利弥生、段野晝雄、副島恒彦、福田宏行、中尾研輔、池田実男、岡村紀郎、内田満寿、中野俊雄、斎藤保、松本弘、安部忠吉、橋口義博、豊田尚弘、横田千ヨ子、山下幸子、桑原純、木村賢示、中村忍、原岡加寿栄、野口正路、豊田秀子、池野美都子、古庄三喜男、奥野豊、中美穂子、山田義明、行武邦彦、山下春子、辻守、吉浦満夫、岩田光雄、友井滋

<長崎県>永田耕作

<熊本県>花房篤司、有馬護宏

<大分県>吉松忠徳、友松功一、宮本隆偉、柳瀬陽之助、岡本誠

<宮崎県>井上公宏

<鹿児島県>桐明桂一郎

## 朝日福祉ガイドブック・DVD・ビデオ案内

### ◆朝日福祉ガイドブック◆

【送料】1冊=180円 2~3冊=250円 4~5冊=300円 (6冊以上はお問い合わせください)

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 『自閉症の人たちを支援するということ』<br>定価 800円 | TEACCHプログラムの最高責任者ゲーリー・メジボフ教授が自閉症の障害と同プログラムの内容について分かりやすく解説。 |
| 『自閉症のひとたちへの援助システム』<br>定価 500円  | TEACCHプログラムの実践事例を豊富な写真とイラストで紹介しながら、同プログラムを日本でいかに生かすかを提案。   |
| 『きみといっしょに』<br>定価 500円          | 全国のLD児を持つ親たちが、LD児への理解や付き合い方をまとめた手引。Q&Aと推薦する相談・診断機関などを掲載。   |
| 『くるまいす-第3改訂版』<br>定価 300円       | 車いすの種類や構造、基礎的な介助方法やポイントをわかりやすく解説。公共交通機関の利用についてもふれています。     |
| 『障害者のホームライフ・改訂版』<br>定価 500円    | 障害者の新しい生活のかたち・・・プライバシーを尊重して暮らすグループホームのつくり方を制度や事例をもとに解説。    |
| 『障害者の自立生活センター』<br>定価 500円      | 自立生活運動の拠点としての日本的な自立生活センターをどのように作り、運営するかを解説。各地の実例も紹介。       |
| 『私のまちを福祉のまちに』<br>定価 500円       | 住みよいまちづくりを目指すコミュニティーボランティアの手引。各地の取り組みを事例で具体的に紹介。           |
| 『このまちに暮らしたい』<br>定価 500円        | 生まれ育ったまちで暮らしたい、という重度障害者の希望に沿った地域での生活を支援するシステム、活動事例などを紹介。   |
| 『ころばぬ先の杖』<br>定価 500円           | 加齢とともに骨のもろくなる病気である骨粗しょう症の予防法や、早期発見、最新の治療法を図表やイラストを使って解説。   |
| 『新・お年寄り家庭介護のポイント』<br>定価 500円   | 家庭介護のポイントや工夫が、やさしい言葉で語りかけるように書かれた名コラム集。朝日新聞家庭面連載に加筆。       |
| 『これで安心！おもらし対策』<br>定価 500円      | 高齢化とともに、大きな関心事になっている失禁を克服し、快適な生活が送れるようイラストで解説。便利な介護用品も紹介。  |



『子育てに迷っているママのために』 定価 500円	子どもの育て方がわからない、自信が持てないというお母さんを対象に5つのテーマで開催した講演会をまとめたもの。
『新・川崎病がわかる本改訂増補版』 定価 500円	乳幼児を中心に発病する原因不明の川崎病について症状、特色、療養上の注意、相談窓口など最新の情報を加えて解説。
『小児ぜんそくは治る』 定価 500円	小児ぜんそくを正しく理解し、どのように予防し、治していくかを最も新しい知見を折り込みながらわかりやすく解説。

## ◆朝日福祉ガイドDVD／ビデオ◆

### わかる・できる！ 親と教師のための —自閉症の子どもの自立課題— 全3巻

DVD版のみ 各巻定価4,800円(3巻セット 13,500円)

第1巻『自立課題の選び方』 (64分)	自閉症の子ども一人ひとりに合わせた自立課題を作るために、どのような視点で課題を選べばよいのか、分りやすく解説。
第2巻『自立課題の作り方』 (59分)	自閉症の子ども一人ひとりの評価によって選んだ自立課題を実際に作ります。70例を事例集として収録。
第3巻『自立課題のできあがり』 (49分)	課題を実施し、さらに再評価をしながら、一人でできる自立課題として完成させます。15例を事例集として収録。

### —自閉症児の治療教育シリーズ(米国ノースカロライナ大学のTEACCHプログラム)—

DVD版、ビデオ版 定価3,000円

『自閉症児の明日のために』 —TEACCHのねらいと考え方— (49分)	TEACCHプログラムの全体像をセラピストの立場から紹介。日本の自閉症の人たちを援助する上で何が必要かを示唆。
『親のためのTEACCHプログラム』 (68分)	TEACCHプログラムの家庭での援助の実際を具体的に紹介。親の立場で実践できるようにわかりやすくまとめました。
『教師のためのTEACCHプログラム』 (67分)	教室やスケジュールの設定、親との連携など、学校や施設、作業所などで自閉症の人たちに関わる教師や指導員の参考に。
『青年期・成人期のTEACCHプログラム』 (56分)	学校卒業後の就職や居住、余暇の過ごし方など、青年期・成人期の自閉症の人たちへのTEACCHプログラムを紹介。

『自閉症の治療教育』

(60分)

ビデオのみ

全米自閉症児親の会の様子や、米国ノースカロライナ州の自閉症の療育への取り組みを紹介。

『TEACCH』

(90分)

ビデオのみ

TEACCH部で行われている一週間にわたる教師のための訓練セミナーの様子を詳しく紹介。

—ダウン症児のための赤ちゃん体操—

(各30分)ビデオのみ

ダウン症の赤ちゃんの発育に合わせて、楽しい音楽で行う体操。生後2カ月から2歳位までの赤ちゃんに。

4巻セット 15,000円【送料込み】

★お申し込み・お問い合わせ★

ご希望の方は電話かFAX、電子メールで下記までお申し込みください。

(タイトル名、数量、送り先、電話番号を明記)

またホームページから直接申し込みもできます。

朝日新聞厚生文化事業団 朝日福祉ガイドブック・ビデオ係

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 郵便振替 00130-1-9166

TEL: 03-5540-7446 FAX: 03-5565-1643

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

# 朝日新聞厚生文化事業団のあゆみ

---

## 人間尊重の原点に立って

朝日新聞厚生文化事業団の設立のきっかけは、1923（大正12）年9月1日の関東大震災の被災者救援活動です。朝日新聞社は全国から寄せられた義援金や食糧、生活用品を被災者に配り、震災の翌年末には「歳末同情週間」（現在の「歳末助け合い」）を主催し、紙面キャンペーンや街頭募金をはじめ、美術家や作家などの協力を得た「色紙・短冊即売会」（現在の「朝日チャリティー美術展」）を催しました。これらの寄金を食糧や衣料品にかえて生活に困る人々に贈りました。

その後、世界的な経済恐慌で生活困窮者が増え、社会問題が続発したため、28年1月に「社団法人朝日新聞社会事業団」を大阪朝日新聞社に創設しました。「歳末同情週間」の寄金で生活困窮者に慰問袋や無料診療券、常備白米券を配布し、出世資金の貸し出し、農繁期託児所の開設、水上生活者のための無料診療船巡航などを実施しました。学校に弁当を持参できない子どもたちの「欠食児童給食運動」キャンペーンは現在の学校給食のきっかけとなりました。大阪に公衆衛生訪問婦協会を設立、保健・育児など多岐にわたる活動はわが国の保健師制度の基礎を築きました。

第2次大戦後は、戦災者や引揚者への家庭常備薬、衣料品の配布、傷病兵慰問などの援護事業から始まりました。廃虚の中での明るい話題は、49年9月にインドのネール首相から贈られた象「インディラ」の「移動動物園」でした。半年間で東日本18都市を回り、子どもたちの笑顔を取り戻しました。

52年に社会福祉事業法が制定され、朝日新聞社の東京、大阪、西部各本社にそれぞれ独立の社会福祉法人を設け、「朝日新聞厚生文化事業団」と改称しました。63年には大阪事業団の名古屋支部が独立し、全国展開事業とともに地域福祉事業の推進に着手しました。

戦後の復興とともに本格的な福祉事業への取り組みが始まり、大阪に「アサヒ生駒山キャンプセンター」を開設、児童養護施設の中学生修学旅行や福祉施設で暮らすお年寄りの温泉旅行も始まりました。54年8月に第1回の「朝日夏季保育大学」が開かれ、56年2月から始まった「この子たちの親を探そう」運動は、戦争で生き別れた親子146組の対面を実現しました。ハンセン病の正しい理解と患者支援ために「大阪ハンセン病協力会」を設立、「アサヒベビー相談室」が大阪、名古屋のデパートで開設し、大学医学部による全国の無医地区診療など医療と公衆衛生事業にも力を注ぎました。59年9月の伊勢湾台風、64年6月の新潟地震では被災地に朝日診療車が出動、被災者救護にあたり、全国からの救援物資を配布しました。

高度経済成長とともに事業を拡大。愛知県梶島の「アサヒキャンプセンター」、千葉県保田海岸の「朝日臨海福祉センター」、大分県九重高原の「朝日高原福祉センター」を開設。各所では福祉施設の子どもや障害児のキャンプ事業が始まり、また激増する交通遺児家庭の支援活動や視覚障害学生の奨学金制度を創設しました。

障害者や難病患者の支援も本格化し、電動タイプライター、電動車いすの贈呈・普及キャンペーンを展開しました。福祉のまちづくりを進める「車いす市民交流集会」や障害者の海

外旅行の先駆けとして注目された福祉先進国を訪ねる「車いすヨーロッパの旅」も始まりました。これらの参加者の多くが、障害者自立生活運動の中心となりました。また、「朝日ボランティア奨励金」「朝日福祉設備助成金」（８６年に「朝日福祉助成金」に統合）を相次いで創設、各地でボランティア講座を開くなど草の根福祉活動の支援を進め、寝たきり、認知症（痴ほう）高齢者の問題に対応する「アサヒ老人家族相談室」も開設しました。

８１年の国際障害者年には「障害者の自立を考えるシンポジウム」を全国で開催し、ノーマライゼーション思想を基にコミュニケーション・プリンターや手書き電話、福祉電話装置『ふれあい』などの贈呈運動を展開しました。精神障害者医療・福祉先進国の欧米５カ国に視察団を派遣、日中平和友好条約締結１０周年記念の「日本・中国車いす市民友好相互交流」を実施しました。

また、自閉症の支援システム「TEACCH（ティーチ）プログラム」に着目、米国ノースカロライナ大学から講師を招請した研修会を開き、ガイドブック、ビデオを制作、頒布するなど本格的な普及活動を開始しました。同時に学習障害児（LD）の理解を進める公開相談会や深刻な社会問題となった青少年の「ひきこもり」問題を考えるシンポジウムも各地で開きました。手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進をはかる「全国高校生（大学生）の手話のスピーチコンテスト」は８４年にスタート、「手話の甲子園大会」として定着しています。９１年からの「アジア障害者の１０年」にあたり、全国の障害者施設、団体と協力してタイ、ベトナム、カンボジア、フィリピンなどの障害者に車いすを贈る運動を展開、現地の障害者が働く車いすの製作、修理工場を設置しました。

一方、８３年のアフリカ飢餓救援キャンペーンをはじめ国内外で起こった災害に対応、救援募金を呼びかけてきました。９１年には「チェルノブイリに光を」キャンペーンを開始、広島、長崎の赤十字病院で被災地の子どもを診療、医師が被曝（ひばく）治療の研修をしました。

未曾有（みぞう）の大災害となった９５年１月の阪神淡路大震災では、救援拠点の「朝日ボランティア基地」を開設、高齢者や障害者への緊急援助をはじめ、仮設住宅世帯、アジアからの留学生支援、震災遺児支援など多岐にわたる活動を行いました。この実績は、０４年の新潟県中越地震でも生かされ、被災者の心のケアをはかる独自事業を展開しました。

東京、大阪、西部、名古屋で独立して活動してきた各事業団は、２００１年４月１日に合併、新たに「社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団」として発足しました。新事業団はこれまで築き上げてきた信頼と実績をもとに、多様化するニーズを的確にとらえ、人間尊重の原点に立って「共に生きる社会」の実現をめざした先駆的な事業を推進してまいります。

# 収支計算報告書

## 2006年度 収支計算報告書

(2006年4月1日～2007年3月31日)

(円)

収 入		支 出	
項目	金額	項目	金額
受取利息配当金収入	2,534,510		
寄付金収入	283,790,372		
<b>事業活動収入</b>	<b>287,707,997</b>	<b>事業活動支出</b>	<b>189,672,895</b>
児童福祉事業	2,513,192	児童福祉事業	4,053,580
障害者福祉事業	19,737,210	障害者福祉事業	28,512,390
高齢者福祉事業	1,733,000	高齢者福祉事業	2,183,876
福祉啓発推進事業	899,560	福祉啓発推進事業	1,427,028
医療と公衆衛生	3,511,459	医療と公衆衛生	3,818,533
チャリティー美術展	166,823,641	チャリティー美術展	79,814,775
チャリティー事業	71,924,045	チャリティー事業	47,965,400
朝日キャンプ	4,169,060	朝日キャンプ	5,970,248
朝日福祉ガイド(DVD他)	16,096,830	朝日福祉ガイド(DVD他)	11,017,065
その他の事業	300,000	その他の事業	4,910,000
<b>事業活動外・特別収入</b>	<b>3,560,760</b>	<b>事業活動外・特別支出</b>	<b>15,488</b>
		管理費	30,292,911
		人件費・社会保険料	119,282,533
		次期繰越活動収支差額	238,329,812
<b>合計</b>	<b>577,593,639</b>		<b>577,593,639</b>

## 理事・評議員名簿

(理事 9人 監事 2人 評議員 19人) 2007年4月1日現在

理事長	坂東 愛彦	朝日新聞厚生文化事業団理事長(専任)、朝日新聞社常勤顧問
常務理事	佐々木敏裕	朝日新聞厚生文化事業団常務理事
理事	中嶋 充洋	愛知みずほ大学大学院教授
同	江草 安彦	社会福祉法人旭川荘理事長
同	山田 昭義	社会福祉法人A J U自立の家常務理事
同	佐方 紀子	社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団常務理事
同	橘 優	財団法人朝日新聞文化財団常務理事
同	清田 治史	朝日新聞社役員待遇・事業担当(事業本部長兼務)
同	池田 守	朝日新聞厚生文化事業団事務局長
監事	関岡 武次	社会福祉法人至誠学舎立川理事長、元東京都福祉局長
同	花木 亮二	朝日新聞信用組合理事長
評議員	吉原 健二	財団法人厚生年金事業振興団理事長
同	戸塚 政男	元東京都社会福祉事業団常務理事
同	炭谷 茂	財団法人休暇村協会理事長、前環境事務次官、環境福祉学会副会長
同	佐々木正美	川崎医療福祉大学特任教授
同	窪田 悦郎	社会福祉法人こどもの国協会副園長
同	中嶋 充洋	愛知みずほ大学大学院教授
同	江草 安彦	社会福祉法人旭川荘理事長
同	山田 昭義	社会福祉法人A J U自立の家常務理事
同	佐方 紀子	社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団常務理事
同	橘 優	財団法人朝日新聞文化財団常務理事
同	粕谷 卓志	朝日新聞社東京本社編集局長
同	中島 俊明	朝日新聞社グループ戦略本部長
同	清田 治史	朝日新聞社役員待遇・事業担当(事業本部長兼務)
同	坂東 愛彦	朝日新聞厚生文化事業団理事長(専任)、朝日新聞社常勤顧問
同	佐々木敏裕	朝日新聞厚生文化事業団常務理事
同	池田 守	朝日新聞厚生文化事業団事務局長
同	山崎 正弘	朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長
同	成重 博美	朝日新聞厚生文化事業団西部事務所長
同	植田 幹夫	朝日新聞厚生文化事業団名古屋事務所長



## 《お問い合わせ先》

### ■本部・東京事務所

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

TEL03(5540)7446 FAX03(5565)1643

□郵便振替…口座番号「00130-1-9166」

□銀行振込…三井住友銀行新橋支店 普通「303668」

### ■大阪事務所

〒530-8211 大阪府大阪市北区中之島3-2-4

TEL06(6201)8008 FAX06(6231)3004

□郵便振替…口座番号「00910-9-14990」

□銀行振込…三井住友銀行大阪本店営業部 普通「3766992」

### ■西部事務所

〒803-8586 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1

TEL093(563)1284 FAX093(563)1287

□郵便振替…口座番号「01580-0-7682」

### ■名古屋事務所

〒460-8488 愛知県名古屋市中区栄1-3-3

TEL052(221)0307 FAX052(221)5453

□郵便振替…口座番号「00890-2-57697」

※ご寄付に際して朝日新聞厚生文化事業団が振込料金を負担する「郵便振替用紙」をご希望の方は ご請求下さい。銀行振込の場合は事前にご連絡下さい。

※各地の朝日新聞支社、総局、支局でもお受けします。

※寄付金は所得税法、法人税法による寄付金控除が認められております。

### 朝日新聞厚生文化事業団職員名簿（2007年4月1日現在）

#### ■本部・東京事務所

事務局長 池田 守  
次長 島田佳津比古  
総務経理担当次長 大塚 憲一  
事業課長 福田 年之  
管理課長 池谷 澄子  
小倉 玲子  
野崎 貴士  
中村 宣人  
宇山 智美

#### ■大阪事務所

事務所長 山崎 正弘  
次長 松永 勉  
事業課長 中村 茂高  
脇 敬子  
山家 聡  
柳沢佐和子

#### ■西部事務所

事務所長 成重 博美  
次長 坂東美喜子

#### ■名古屋事務所

事務所長 植田 幹夫  
参与 山田 篤  
中久木俊之  
高木 明子

ホームページで福祉情報を発信しています

アドレス <http://www.asahi-welfare.or.jp/> アサヒ・コム (asahi.com) から入れます。

「2006年度 事業報告」

2006年4月 1日から

2007年3月31日まで

社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

